

学会発表

Titles of Speeches at Scientific Meetings etc.

合田幸広：機能性関与成分の定義を考える
日本アントシアニン研究会第6回研究会 (2017.7.26)

合田幸広：定量NMRの基礎と日本薬局方での利用
日本薬剤学会物性フォーカスグループセミナー2017,
(2017.8.4).

合田幸広：レギュラトリーサイエンスから見たEFEの
医薬品化
第34回和漢医薬学会学術大会 (2017.8.27)

古谷裕人^{*1}, 山野井喜隆^{*1}, 河野徳昭^{*2}, 木内文之^{*3},
合田幸広, 袴塚高志, 新井一郎^{*1}, 川原信夫^{*2}: 国際調
和に向けた各国薬局方の比較研究—日本薬局方と中国薬
典における生薬の成分定量法の総合的比較—
日本生薬学会第64年会 (2017.9.9)

^{*1} 日本薬科大学
^{*2} 医薬基盤研薬用植物資源研究センター
^{*3} 慶應大学薬学部

山野井喜隆^{*1}, 古谷裕人^{*1}, 河野徳昭^{*2}, 木内文之^{*3},
合田幸広, 袴塚高志, 新井一郎^{*1}, 川原信夫^{*2}: 国際調
和に向けた各国薬局方の比較研究—日本薬局方と中国薬
典における代表的生薬の成分定量法の比較—
日本生薬学会第64年会 (2017.9.9)

^{*1} 日本薬科大学
^{*2} 医薬基盤研薬用植物資源研究センター
^{*3} 慶應大学薬学部

合田幸広：機能性表示食品の表示と機能性表示食品
日本食品化学学会第33回食品化学シンポジウム
(2017.10.13)

大野眞^{*1}, 山路誠一^{*1}, 石内悠美子^{*1}, 新井一郎^{*1}, 寺
林進^{*2}, 酒井英二^{*3}, 三宅克典^{*4}, 合田幸広, 川原信夫^{*5},
飯田修^{*5}: 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究 (第
5報)
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 日本薬科大学
^{*2} 横浜薬科大学
^{*3} 岐阜薬科大学
^{*4} 東京薬科大学
^{*5} 医薬基盤研薬用植物資源研究センター

石内悠美子^{*1}, 山路誠一^{*1}, 大野眞^{*1}, 寺林進^{*2}, 酒井
英二^{*3}, 三宅克典^{*4}, 合田幸広, 川原信夫^{*5}, 飯田修^{*5}:
日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究 (第5報)
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 日本薬科大学
^{*2} 横浜薬科大学
^{*3} 岐阜薬科大学
^{*4} 東京薬科大学
^{*5} 医薬基盤研薬用植物資源研究センター

合田幸広, 小出達夫, 細江潤子, 内山奈穂子, 杉本直
樹, 近藤加奈子^{*1}, 村林美香^{*1}, 藤谷敏彦^{*1}, 小野誠^{*2},
小林謙吾^{*2}, 藤峰慶徳^{*3}, 横瀬俊幸^{*3}, 岡本寿美子^{*4},
大藤克也^{*4}, 長谷部隆^{*5}, 浅井由美^{*5}, 江奈英里^{*5}, 菊
池純子^{*6}, 清田浩平^{*6}, 藤田和弘^{*6}, 牧野吉伸^{*7}, 八十
歩直子^{*7}, 小幡泰子^{*7}, 山田裕子^{*8}, 鈴木裕樹^{*8}, 三浦
亨^{*8}, 水井浩司^{*8}, 末松孝子^{*9}, 朝倉克夫^{*9}: 日本薬局
方化学薬品を対象としたqNMRとマスバランス法の比較
とqNMRの経済的利点
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 武田薬品
^{*2} 第一三共
^{*3} 大塚製薬
^{*4} 中外製薬
^{*5} エーザイ
^{*6} 塩野義製薬
^{*7} 富士フィルム
^{*8} 和光純薬
^{*9} 日本電子

吉田寛幸, 竹内洋文^{*}
「吸入剤関連試験法について」
第17回日本薬局方に関する研修会 (2017.04.11)

^{*} 岐阜薬科大学

吉田寛幸, 有賀直樹^{*}, 堀内始^{*}, 白井明子, 阿部康弘,
伊豆津健一, 松原健^{*}, 林達之^{*}, 合田幸広: 吸入粉末
剤の空気力学的粒子径評価における相対湿度の影響。
日本薬剤学会第32年会 (2017.5.13)

^{*} 東亜薬品

照屋慶太^{*}, 吉田寛幸, 福澤薫^{*}, 郡司美穂子^{*}, 阿部康

弘, 伊豆津健一, 米持悦生*, 合田幸広
 フロースルーセル溶出試験法における試験液の脱気が製
 剤の溶出性と水流プロファイルへ及ぼす影響.
 日本薬剤学会第32年会 (2017.05.12)

* 星薬科大学

阿部康弘, 吉田寛幸, 伊豆津健一, 合田幸広: 医療用医
 薬品最品質新情報集 (ブルーブック) の作成とWeb公
 開.
 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会
 (2017.5.20)

吉田寛幸, 阿部康弘, 伊豆津健一, 合田幸広: 公的試験
 機関による後発医薬品の品質確保への取り組み: リスベ
 リドン内服液およびガベキサートメシル酸塩注射用の品
 質評価.
 医療薬学フォーラム2017 (2017.7.2)

伊豆津健一: ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動
 について.
 第14回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム
 (2017.7.18)

吉田寛幸: 医薬品の生物学的同等性評価に関する最近の
 話題 - Biowaiverを中心に -.
 第14回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム
 (2017.07.18)

伊豆津健一, 阿部康弘, 吉田寛幸, 合田幸広: 化学合成
 ペプチド医薬品の同等性評価法の動向.
 レギュラトリーサイエンス学会第7回学術大会
 (2017.9.8)

井上雅己*¹, 鎌田春彦*², 阿部康弘, 堤康央*³, 角田慎
 一*¹

TNF/TNFR2 シグナル制御機構におけるアミノペプチ
 ダーゼP3の新規シグナル伝達分子としての役割.
 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2017.10.14)

*¹ 神戸学院大学

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

*³ 大阪大学

吉田寛幸, 阿部康弘, 伊豆津健一, 合田幸広: 医療用医
 薬品最新品質情報集 (ブルーブック) の作成とその活用
 方法の提案.

日本薬剤師会第50回学術大会 (2017.10.9)

阿部康弘, 吉田寛幸, 伊豆津健一, 合田幸広: ジェネリッ
 ク医薬品品質情報検討会におけるカベルゴリン錠の溶出
 性評価.
 日本医療薬学会 第27回年会 (2017.11.4)

伊豆津健一, 阿部康弘, 吉田寛幸, 合田幸広: 皮下注射
 モデル環境下におけるタンパク質熱変性の検討.
 熱測定討論会 (2017.11.5)

阿部康弘, 吉田寛幸, 伊豆津健一, 合田幸広: 国立衛研
 薬品部第一室における平成28年度収去試験—試験品目数
 増への対応について—.
 第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

浅原初木*¹, 伊豆津健一, 上川和寿*², 軽部郁雄*³, 佐々
 木淳子*⁴, 三浦義之*⁵: ICH Q12施行に向けてのCMCの
 機会.
 日本PDA製薬学会第24回年会 (2017.11.11)

*¹ グラクソ・スミスクライン

*² 武田薬品工業

*³ 大正製薬

*⁴ 住化分析センター

*⁵ 武田テバファーマ

吉田寛幸: 第十七改正日本薬局方第一追補における吸入
 剤関連試験法の概要.
 第9回 粉末吸入剤研究会シンポジウム (2017.11.30)

伊豆津健一: ICH M9 の動きと国内でのBCSバイオ
 ウェーバー適用への課題.
 日本薬剤学会・前臨床開発/経口吸収フォーカスグルー
 プ合同合宿討論会 (2017.12.7)

吉田寛幸: 日本薬局方における吸入剤関連試験法の概要
 について.
 平成29年度 試験検査センター技術研修会 (2017.12.14)

伊豆津健一: 「生物学的同等性試験の動向」.

立命館大学創剤研究・製剤技術研究コンソーシアム2017
 年度合同研究会 (2017.6.2)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 菅野仁美, 合田幸広: 市販経皮吸
 収型製剤のコールドフローの評価.
 日本薬剤学会第32年会 (2017.5.11)

Tamaki Miyazaki, Yukio Aso, Yukihiro Goda :
Feasibility of benchtop X-ray diffractometer to detect
unintentionally crystallized APE in matrix-type
transdermal patches without opening the outer bag.
2017 AAPS Annual Meeting (2017.11.12)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 菅野仁美, 合田幸広 : イミダプリ
ル塩酸塩錠の保存安定性試験.
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.22)

宮崎玉樹, 菅野仁美, 阿曾幸男, 合田幸広 : 市販ツロブ
テロールテープのコールドフロー特性の比較.
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

島村りえ*, 小出達夫, 久田浩史*, 井上元基*, 深水啓
朗*: 製剤均一性評価における透過ラマン分光法の適用
に関する研究.
日本薬剤学会第32年会 (2017.5.11)

* 明治薬科大学

伊藤雅隆*, 秦欣森*, 坂本知昭, 濱田賢作*, 山野昭人*,
野口修*: テラヘルツ分光法及びX線CTを用いたOD錠
の吸湿性評価.
日本薬剤学会第32年会 (2017.5.11)

* 東邦大学

大瀧高志*¹, 田邊佑太*², 小瀧隆史*¹, 三浦賢*¹, 池田
幸弘*¹, 小出達夫, 深水啓朗*²: 低波数ラマン分光用プ
ローブを用いたCocrystalの製剤製造中*in-situ*モニタリ
ング.
日本薬剤学会第32年会 (2017.5.13)

*¹ 武田薬品工業 (株)

*² 明治薬科大学

井上元基*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: プロ
ーブ型低波数ラマン分光器によるコクリスタル形成のモニ
タリング.
日本薬剤学会第32年会 (2017.5.13)

* 明治薬科大学

井上元基*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: プロ
ーブ型低波数ラマン分光器によるコクリスタル形成のモニ
タリング.

日本薬剤学会第32年会 (2017.5.13)

* 明治薬科大学

Inoue M*¹, Hisada H*¹, Koide T, Carriere J*², Heyler
R*², Fukami T*¹: In situ Crystallization monitoring
using probe type low frequency Raman spectroscopy.
PSWC 2017 (2017.5.22)

*¹ Meiji Pharmaceutical University

*² Ondax Inc.

坂本知昭: 医薬品の革新的製造技術の進展及び最新の品
質保証における分光分析の役割と展望.
平成29年度日本分光学会年次講演会シンポジウム.
(2017.5.23)

Sakamoto T., Sasaki T.*¹, Chikuma T., Katori N., Goda
Y.: Study on influence of physicochemical property
of an active pharmaceutical ingredient against THz
spectrum: Example of CNS stimulant.
IRMMW-THz 2017 (2017.8.29)

* Shizuoka University

坂本知昭, 佐々木哲朗*, 知久馬敏幸, 香取典子, 合田
幸広: 抗マラリア薬のテラヘルツスペクトルに対する計
測時温度が与える影響.
第78回応用物理学会秋季学術講演会 (2017.9.6)

* 静岡大学

秋山高一郎*, 堀田和希*, 坂本知昭, 高橋宏典*, 合田
幸広: 広帯域THz-ATR計測を用いた医薬品の結晶化モ
ニタリング.
日本分析化学会第66年会 (2017.9.9)

* 浜松ホトニクス

佐々木哲朗*¹, 坂本知昭, 大塚誠*²: 高周波数精度連続
波テラヘルツ分光吸収スペクトル測定による有機結晶中
の微量不純物の高感度検出.
第78回応用物理学会秋季学術講演会 (2017.9.8)

*¹ 静岡大学

*² 武蔵野大学

Yamamoto Y^{*1}, Fukami T^{*2}, Koide T.: Comparison of pharmaceutical properties among clobetasol propionate cream formulations -Consideration from near-infrared spectrum-.

77th FIP 2017 (2017.9.11)

^{*1} Teikyo Heisei University

^{*2} Meiji Pharmaceutical University

竹内勇輝*, 島村りえ*, 小出達夫, 久田浩史*, 井上元基*, 深水啓朗*: 透過ラマン分光法による製剤中コクリスタルの定量に関する研究.

第61回日本薬学会関東支部大会 (2017.9.16)

* 明治薬科大学

宮坂耕平*, 野村和也*, 井上元基*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: プローブ型低波数ラマン分光器を用いた造粒工程モニタリング.

第61回日本薬学会関東支部大会 (2017.9.16)

* 明治薬科大学

野村和也, 宮坂耕平, 井上元基*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: Cocrystal 原薬を造粒する際の低波数ラマン分光測定によるin-situ モニタリング.

第61回日本薬学会関東支部大会 (2017.9.16)

* 明治薬科大学

星加織^{*1}, 深水啓朗^{*2}, 小出達夫, 山本佳久^{*1}: 近赤外分光法を用いたケトプロフェンパップ剤における水分消失の評価.

第61回日本薬学会関東支部大会 (2017.9.16)

^{*1} 帝京平成大学 薬学部

^{*2} 明治薬科大学

杉田みすず^{*1}, 深水啓朗^{*2}, 小出達夫, 山本佳久^{*1}: クロバタゾールプロピオン酸エステルクリームの製剤特性に関する研究.

第61回日本薬学会関東支部大会 (2017.9.16)

^{*1} 帝京平成大学 薬学部

^{*2} 明治薬科大学

花井茜^{*1}, 星野拓也^{*2}, 深水啓朗^{*2}, 小出達夫, 山本佳

久^{*1}: ステロイド軟膏とヘパリン類似物質含有保湿剤の混合物安定性.

第61回日本薬学会関東支部大会 (2017.9.16)

^{*1} 帝京平成大学

^{*2} 明治薬科大学

Sasaki T.^{*1}, Sakamoto T., Otsuka M.^{*2}: Detection of impurities contained in organic crystals by terahertz spectroscopy measurement.

The 2nd International Symposium on Biomedical Engineering (2017.11.9)

^{*1} Shizuoka University

^{*2} Musashino University

Inoue M^{*1}, Hisada H^{*1}, Koide T, Carriere J^{*2}, Heyler R^{*2}, Fukami T^{*1}: Evaluation of carbamazepine polymorphs in solid dosage forms using low-frequency Raman spectroscopy.

2017 AAPS Annual Meeting (2017.11.13)

^{*1} Meiji Pharmaceutical University

^{*2} Ondax Inc.

坂本知昭, 藤巻康人*, 知久馬敏幸, 香取典子, 合田幸広: 市場流通医薬品の品質確保のための分光分析 第3報 近赤外イメージングによる異なる流通経路で入手した抗マラリア合剤Riamet錠における主薬及び添加剤成分の分布比較.

第33回近赤外フォーラム (2017.11.16)

* 東京都立産業技術研究センター

藤巻康人*, 坂本知昭, 小金井誠司, 林孝星, 渡辺洋人: シリカ細孔内に導入したナノグラフェンの近赤外スペクトル解析.

第33回近赤外フォーラム (2017.11.17)

* 東京都立産業技術研究センター

佐々木哲朗^{*1}, 坂本知昭, 大塚誠^{*2}: テラヘルツ分光スペクトル測定による有機結晶含有微量不純物検出.

結晶成長学会 (2017.11.27)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 武蔵野大学

小出達夫：医薬品試験法へのQbDアプローチの適用。
日本PDA製薬学会第24回年会 (2017.11.28)

坂本知昭, 知久馬敏幸, 香取典子, 合田幸広：市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第5報 近赤外イメージングを用いた異なる流通経路より入手した抗マラリア合剤中の成分分布の比較。
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

知久馬敏幸, 坂本知昭, 合田幸広：市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第4報 抗マラリア薬Riamet錠を用いたラマンイメージ構築の最適化のためのスペクトル解析アプローチ。
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

佐々木哲朗^{*1}, 坂本知昭, 大塚誠^{*2}：高精度テラヘルツ分光スペクトル測定による有機結晶中の高感度不純物検出。
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 武蔵野大学

藤巻康人*, 小金井誠司*, 坂本知昭：内部量子効率計測によるTryptophanのキラリティー評価。
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

* 東京都立産業技術研究センター

堀田和希*, 秋山高一郎*, 坂本知昭, 中西篤司*, 藤田和上*, 高橋宏典*, 合田幸広：広帯域テラヘルツ量子カスケードレーザー光源による製剤評価技術の研究。
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

* 浜松ホトニクス

本田洸樹*, 坂本知昭, 服部祐介*, 大塚誠*：近赤外スペクトル解析による包装偽造医薬品の識別性評価。
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

* 武蔵野大学

竹内勇輝*, 島村りえ*, 岡留悠祐*, 小出達夫, 井上元基*, 深水啓朗*：製剤中コクリスタルの定量試験への透過型ラマン分光法の適用に関する研究。
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

* 明治薬科大学

秋山高一郎*, 堀田和希*, 坂本知昭, 高橋宏典*, 合田幸広：THz-ATR法を用いた溶液中での溶液媒介転移の簡易評価法。

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

* 浜松ホトニクス

山本佳久^{*1}, 花井茜^{*1}, 大貫義則^{*2}, 小出達夫, 深水啓朗^{*3}：バタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏と保湿剤との混合物における安全性の検証。
日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

^{*1} 帝京平成大学 薬学部

^{*2} 富山大学 薬学部

^{*3} 明治薬科大学

島村りえ*, 竹内勇輝*, 岡留悠祐*, 小出達夫, 井上元基*, 深水啓朗*：測定試料数が多い場合の製剤均一性試験の規格と透過ラマン分光法の適用。
日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

* 明治薬科大学

田村悠樹^{*1}, 灘井亮^{*1}, 扇田隆司^{*1}, 原矢佑樹, 西辻和親^{*2}, 内村健治^{*3}, 長谷川功紀^{*1}, 加藤くみ子, 赤路健一^{*1}, 斎藤博幸^{*1}：新規両親媒性アルギニンペプチドの細胞膜透過性の評価。
日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 徳島大学大学院医歯薬学研究部 (医学系)

^{*3} 名古屋大学大学院医学系研究科

加藤くみ子, 南條邦江, 合田幸広：ノンポーラスシリカ逆相HPLCカラムによる環状ペプチド分析法の開発。
新アミノ酸分析研究会 第7回学術講演会 (2017.12.4)

原矢佑樹, 加藤くみ子, 合田幸広：AFMによるリポソームサイズ測定を目的としたアビジン-ビオチン固定化法。

膜シンポジウム2017 (2017.11.13)

灘井亮^{*1}, 田村悠樹^{*1}, 錦織花梨^{*1}, 岡田圭祐^{*1}, 扇田隆司^{*1}, 原矢佑樹, 西辻和親^{*2}, 内村健治^{*3}, 加藤くみ子, 長谷川功紀^{*1}, 赤路健一^{*1}, 坂下直実^{*2}, 斎藤博幸^{*1}：アポE糖鎖結合ドメインに基づく両親媒性膜透過ペプチドの設計。

膜シンポジウム2017 (2017.11.13)

*¹ 京都薬科大学*² 徳島大学大学院医歯薬学研究部 (医学系)*³ 名古屋大学大学院医学系研究科

灘井亮^{*1}, 田村悠樹^{*1}, 錦織花梨^{*1}, 岡田圭祐^{*1}, 扇田隆司^{*1}, 原矢佑樹, 西辻和親^{*2}, 内村健治^{*3}, 加藤くみ子, 長谷川功紀^{*1}, 赤路健一^{*1}, 坂下直実^{*2}, 斎藤博幸^{*1}: アポEのヘパリン結合ドメインに由来した両親媒性膜透過ペプチドの開発.

第11回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム (2017.10.21)

*¹ 京都薬科大学*² 徳島大学大学院医歯薬学研究部 (医学系)*³ 名古屋大学大学院医学系研究科

原矢佑樹, 加藤くみ子, 合田幸広: 原子間力顕微鏡法による液中ナノ粒子のキャラクタリゼーション.

第33回日本DDS学会学術集会 (2017.7.6)

Takechi-Haraya Y, Goda Y, Sakai-Kato K: Characterization of nanoparticles in aqueous medium by use of atomic force microscopy.

10th European and Global Summit for Clinical Nanomedicine and Targeted Medicine (2017.5.8)

Ishii-Watabe A: Updates on the development of ICH M10 Bioanalytical Method Validation.

11th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2017.4.5)

橋井則貴, 蛭田葉子, 東阪嘉子, 秦信子^{*1}, 山田尚之^{*2}, 板屋寛^{*2}, 菊池慶実^{*2}, 新井浩司^{*3}, 星野雅輝^{*3}, 新田新一郎^{*3}, 若林弘樹^{*3}, 中井恵子^{*3}, 後藤理恵子^{*4}, 寺村俊夫^{*4}, 清水久夫^{*5}, 藤田央^{*5}, 神野文宏^{*5}, 笹原里美^{*6}, 立木秀尚^{*6}, 鈴木琢雄, 香取典子, 齊藤嘉朗, 石井明子: Protein L 精製及びLC/MS/MSを組み合わせた手法によるヒト血清中抗体医薬品のバイオアナリシス. 第65回質量分析総合討論会 (2017.5.17)

*¹ (株) Ig-M*² 味の素 (株)*³ (株) LSIメディエンス*⁴ シミックファーマサイエンス (株)*⁵ 武田薬品工業 (株)*⁶ 東和薬品 (株)

湯地玲子^{*}, 新保和高^{*}, 竹下理絵^{*}, 松田吉彦^{*}, 木村敦子^{*}, 萬年輝久^{*}, 菊池慶実^{*}, 山田尚之^{*}, 橋井則貴, 石井明子: 抗体のバイオアナリシスに向けた安定同位体標識Fabの発現とLC/MS/MSによる高感度定量.

第65回質量分析総合討論会 (2017.5.19)

* 味の素 (株)

新見伸吾: 抗体医薬品のバイオシミラーの承認に必要な参照品との比較データ—CT-P13のケーススタディー.

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会第11回学術大会 (2017.5.20)

橋井則貴, 石井明子: 質量分析によるバイオ医薬品の品質特性解析.

第67回日本電気泳動学会シンポジウム (2017.6.9)

木吉真人, 原園景, 多田稔, 田村浩子, Jose M. M. Caaveiro^{*1}, 橋井則貴, 柴田寛子, 寺尾陽介^{*2}, 大江正剛^{*2}, 井出輝彦^{*3}, 津本浩平^{*1}, 石井明子: 抗体医薬品の機能を制御するIgG-Fcγ受容体の分子認識メカニズム 第17回日本蛋白質科学会年会 (2017.6.20)

*¹ 東京大学大学院 工学系研究科*² 東ソー (株)

鈴木琢雄, 東阪嘉子, 橋井則貴, 多田稔, 岩崎紀之, 石井明子: 抗体のFcRn親和性改変がFcγ受容体結合性や高次構造に及ぼす影響.

第17回日本蛋白質科学会年会 (2017.6.20)

多田稔, 石井明子: 抗体医薬品凝集体による免疫細胞活性化.

第17回日本蛋白質科学会年会 (2017.6.21)

クラユヒナ エレナ^{*1,2}, 野田勝紀^{*1,2}, 石井健太郎^{*3}, 丸野孝浩^{*1,2}, 若林裕継^{*1}, 多田稔, 鈴木琢雄, 石井明子, 加藤昌彦^{*4}, 内山進^{*1,2,3}: 蛍光超遠心分析による血清中における抗TNF 抗体とTNF の相互作用解析.

第17回日本蛋白質科学会年会 (2017.6.21)

*¹ 大阪大学大学院 工学研究科*² (株) ユー・メディコ*³ 岡崎統合バイオサイエンスセンター*⁴ シスメックス (株)

Hiroko S, Kiyoshi M, Harazono A, Ishii-Watabe A: Usefulness and Issues of Flow Imaging Analysis for Evaluating Aggregates in Therapeutic Protein Injections.

USP Workshop on Control and Determination of Visible and Sub-visible Particulate Matter in Biologics (2017.6.26)

石井明子：これだけは知っておきたいバイオ医薬品の基礎知識。

第20回医薬品情報学会学術大会 くすりの適正使用協議会セミナー (2017.7.9)

原園景：バイオ医薬品の品質評価と質量分析に期待される役割。

第44回BMSコンファレンス (BMS2017) (2017.7.12)

岡田和恵*, 横田育子*, 花松久寿*, 鈴木淳也, 橋井則貴, 石井明子, 古川潤一*: BEP法を基盤としたO-結合型糖鎖および糖鎖結合部位の同定法。

第36回日本糖質学会年会 (2017.7.20)

* 北海道大学大学院

竹元裕明^{*1,2}, 片岡柚香里^{*1,2}, 高山真奈^{*1,2}, 萩原正和^{*1,2}, 日向須美子^{*2}, 山下忠俊^{*3}, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 日向昌司, 大嶋直浩^{*4}, 天倉吉章^{*5}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1,2}: 麻黄の中枢神経興奮作用におけるエフェドリンアルカロイドの作用様式。

第34回和漢医薬学会学術大会 (2017.8.26)

*1 北里大学薬学部

*2 北里大学東洋医学総合研究所

*3 (株) 常磐植物化学研究所

*4 東京理科大学薬学部

*5 松山大学薬学部

柴田寛子, 西村和子, 宮間ちづる, 多田稔, 鈴木琢雄, 斎藤嘉朗, 石井明子: 抗EPO抗体国際標準パネルを用いたバイオレイヤー干渉法の抗薬物抗体分析能の評価。

第24回日本免疫毒性学会学術年会 (2017.9.4)

石井明子, 斎藤嘉朗: バイオ医薬品の安全性評価法の概要と留意点。

第24回日本免疫毒性学会学術年会 試験法ワークショップ (2017.9.5)

小林哲, 鎌田泉^{*1}, 柴田寛子, 小村純子^{*2}, 豊島聰^{*1}, 石井明子: 欧州におけるフィルグラスチム後続品と先行品との安全性プロファイルの比較。

第7回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2017.9.9)

*1 武蔵野大学

*2 摂南大学

石井明子: シングルユースシステムを用いて製造されるバイオ医薬品の品質保証。

第7回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 シンポジウム CMC Globalization ~医薬品製造に関する新たな潮流と品質保証~ (2017.9.9)

木吉真人, 原園景, 多田稔, 田村浩子^{*1}, Jose M.M. Caaveiro^{*1}, 橋井則貴, 柴田寛子, 田中亨^{*2}, 寺尾陽介^{*2}, 大江正剛^{*2}, 井出輝彦^{*2}, 津本浩平^{*1}, 石井明子: Fcγ受容体親和性カラムを用いた抗体医薬品の特性解析法の開発と, 抗体の高次構造・機能における糖鎖の役割の解明。

第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

*1 東京大学工学系研究科

*2 東ソー (株)

小林哲, 柴田寛子, 石井明子: インフリキシマブ投与後に「注入に伴う反応」が報告された症例における併用薬の解析: 自発報告データベース有効活用の試み。

日本薬剤疫学会第23回学術総会 (2017.9.16)

時枝養之^{*1}, 粟津洋寿^{*2}, 菅谷真二^{*3}, 河野栄樹^{*4}, 左海順^{*5}, 伊藤隆夫^{*6}, 岡野清^{*7}, 山本耕一^{*8}, 山本秀樹^{*9}, 末永正人^{*10}, 松野哲巖^{*11}, 吉村卓也^{*12}, 小川伸哉^{*13}, 新見伸吾: バイオ医薬品 連続生産における現状と課題。日本PDA製薬学会第24回年会 (2017.11.28-29)

*1 (一財) 化学及血清療法研究所

*2 日本ポール (株)

*3 東和薬品 (株)

*4 ザルトリウス・ステディム・ジャパン (株)

*5 大日本住友製薬 (株)

*6 メルク (株)

*7 (株) 鎌倉テクノサイエンス

*8 協和発酵キリン (株)

*9 Double Helix International Inc.

*¹⁰ 武田薬品工業 (株)

*¹¹ 旭化成ファーマ (株)

*¹² (株) 東レリサーチセンター

*¹³ 東洋紡 (株)

Nishimura K, Shibata H, Miyama C, Saito Y, Ishii-Watabe A : Development and characterization of the detection method of anti-drug antibodies against biopharmaceuticals used to treat rheumatoid arthritis.

日本薬物動態学会第32回年会 (2017.11.30)

石井明子, 斎藤嘉朗 : ICH M10 : 生体試料中薬物濃度分析法バリデーションに関する国際調和ガイドライン.

日本薬物動態学会第32年会 シンポジウム (2017.12.1)

青山道彦, 多田稔, 橋井則貴, 立松謙一郎*, 瀬筒秀樹*, 石井明子 : 糖鎖改変とアミノ酸配列置換の組み合わせが抗体の生物活性に与える影響.

第90回日本生化学会大会 (2017.12.6)

* 農業・食品産業技術総合研究機構

西村和子, 宮間ちづる, 柴田寛子, 石井明子, 斎藤嘉朗, 河合真一*, 山田壯一*, 南木敏宏* : 関節リウマチ患者血清を用いたTNF阻害薬の免疫原性評価に関する研究.

第38回日本臨床薬理学会 (2017.12.7)

* 東邦大学医学部

石井明子 : バイオ医薬品の免疫原性評価法に関する現状と課題.

第38回 臨床薬理学会学術総会 シンポジウム (2017.12.7)

石井明子 : バイオシミラーの基礎.

第38回 臨床薬理学会学術総会 教育講演 (2017.12.8)

Kiyoshi M, Harazono A, Tada M, Tamura H, Jose M.M. Caaveiro^{*1}, Hashii N, Shibata H, Tanaka T^{*2}, Terao Y^{*2}, Oe S^{*2}, Ide T^{*2}, Tsumoto K^{*1}, Ishii-Watabe A. : FcγRIIIa immobilized column : Methodology to Access Effector Function and Fc-Glycosylation.

Antibody Engineering & Therapeutics (2017.12.13)

*¹ The University of Tokyo

*² TOSOH Industry.

A. Ishii-Watabe, Yoshiro Saito : Perspective on international harmonisation of bioanalytical method validation by the establishment of ICH M10.

第9回JBFシンポジウム (2018.2.7)

西村和子, 石井明子 : リガンド結合法を用いた抗薬物抗体分析に関する技術的要件.

第9回JBFシンポジウム (2018.2.7)

水谷学*, 紀ノ岡正博*, 新見伸吾 : 再生医療等製品の無菌操作法ガイドライン (案) の作成.

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.23)

* 大阪大学

石井明子 : 製法変更と同等性/同質性評価の考え方 - バイオ医薬品の視点から -.

第17回再生医療学会総会 (2018.3.22)

三浦ゆり^{*1}, 橋井則貴, 太田悠葵^{*2}, 鈴木淳也, 高倉大輔^{*2}, 津元裕樹^{*1}, 阿部由紀子^{*3}, 新井康通^{*3}, 川崎ナナ^{*2}, 広瀬信義^{*3}, 遠藤玉夫^{*1} : 血漿タンパク質の糖ペプチド解析による健康長寿に特徴的な糖鎖修飾の探索.

日本薬学会 第138年会 (2018.3.26)

*¹ 東京都健康長寿医療センター研究所

*² 横浜市大大学生命医科学研究科

*³ 慶応大学医学部

津元裕樹^{*1}, 西風隆司^{*2}, 橋井則貴, 阿部由紀子^{*3}, 新井康通^{*3}, 関谷禎規^{*2}, 岩本慎一^{*2}, 石井明子, 広瀬信義^{*3}, 田中耕一^{*2}, 三浦ゆり^{*1}, 遠藤玉夫^{*1} : 超百寿者血漿タンパク質のN-結合型糖鎖解析による健康長寿マーカー探索.

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

*¹ 東京都健康長寿医療センター研究所

*² 島津

*³ 慶應大学医学部

橋井則貴, 新井浩司^{*1}, 井上則子^{*2}, 奥菌剛^{*3}, 川端光彦^{*4}, 合田竜弥^{*5}, 笹原里美^{*2}, 重山拓摩^{*6}, 千原光貴^{*1}, 夏目徹^{*7,8}, 秦信子^{*9}, 八田知久^{*7}, 森下明彦^{*9}, 山口建^{*6}, 山根真一^{*3}, 渡邊伸明^{*5}, 石井明子, 斎藤嘉朗 : LC/MS法による抗体医薬品の薬物濃度測定のための前処理手法の最適化.

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

*1 LSI メディエンス

*2 東和薬品

*3 積水メディカル

*4 新日本科学

*5 第一三共

*6 住化分析センター

*7 ロボティック・バイオロジー・インスティテュート

*8 産業技術総合研究所

*9 Ig-M

日向須美子^{*1}, 日向昌司, 天倉吉章^{*2}, 中森俊輔^{*1,3}, 楊金緯^{*4}, 岡秀樹^{*5}, 大嶋直浩^{*6}, 内山奈穂子, 小林義典^{*1,3}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*1}, 花輪壽彦^{*1}: 麻黄エキスに含まれる活性成分の探索とその薬理作用. 日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

*1 北里大学東洋医学総合研究所

*2 松山大学薬学部

*3 北里大学薬学部

*4 (株) 常磐植物化学研究所

*5 ゼリア新薬工業 (株)

*6 東京理科大学薬学部

中森俊輔^{*1,2}, 日向昌司, 天倉吉章^{*3}, 日向須美子^{*2}, 高橋純^{*1,2}, 楊金緯^{*4}, 岡秀樹^{*5}, 内山奈穂子, 大嶋直浩^{*6}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1,2}: 鎮痛作用及び抗インフルエンザウイルス作用を指標としたエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) の活性画分の探索. 日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

*1 北里大学薬学部

*2 北里大学東洋医学総合研究所

*3 松山大学薬学部

*4 (株) 常磐植物化学研究所

*5 ゼリア新薬工業 (株)

*6 東京理科大学薬学部

宮嶋直紀^{*1,*2}, 中森俊輔^{*1,2}, 日向須美子^{*2}, 能村啓佑^{*1,2}, 坂本麗華^{*1,2}, 佐藤一輝^{*1,2}, 杉岡弥幸^{*1,2}, 楊金緯^{*3}, 内山奈穂子, 日向昌司, 大嶋直浩^{*4}, 天倉吉章^{*5}, 袴塚高志, 合田幸広, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1,2}: CFA誘発関節炎モデルマウスに対するエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) の治療効果及び鎮痛効果の検討. 日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

*1 北里大学薬学部

*2 北里大学東洋医学総合研究所

*3 (株) 常磐植物化学研究所

*4 東京理科大学薬学部

*5 松山大学薬学部

柴田寛子, 原園景, 木吉真人, 石井明子: フローイメージング法を使ったタンパク質医薬品注射剤中の不溶性微粒子の測定.

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

原園景, 柴田寛子, 木吉真人, 鳥巢哲生^{*1}, 板倉由佳里^{*1}, 古木健一朗^{*2}, 福田潤^{*3}, 末友裕^{*3}, 山崎勝由^{*3}, 大庭澄明^{*4}, 小島昌太^{*4}, 西村仁孝^{*4}, 中家修一^{*5}, 前田裕貴^{*5}, 内山進^{*6}, 横山雅美^{*6}, クラユヒナ・エレナ^{*6}, 石井明子: バイオ医薬品のタンパク質微粒子評価のための多機関共同測定による光遮蔽法とフローイメージング法の比較.

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

*1 武田薬品工業

*2 アステラス製薬

*3 協和発酵キリン

*4 持田製薬

*5 島津製作所

*6 ユー・メディコ

木吉真人, カアヴェイロ ホセ^{*1}, 多田稔, 田村浩子^{*2}, 田中亨^{*2}, 原園景, 橋井則貴, 柴田寛子, 長門石曉^{*2}, 大江正剛^{*2}, 井出輝彦^{*3}, 津本浩平^{*2}, 石井明子: 抗体Fcの高次構造・機能における糖鎖の役割.

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

*1 九州大学

*2 東京大学

*3 東ソー

日向昌司, 関口真行^{*}, 山本蒼^{*}, 深野顕人^{*}, 多田稔, 橋井則貴, 石井明子: 宿主細胞由来タンパク質試験法の現状と技術的留意点.

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

* 明治薬科大学

政田さやか, 細江潤子, 内山奈穂子, 合田幸広, 袴塚高志: 機能性表示食品の品質評価に関する研究 (4): 葛

の花イソフラボンを機能性関与成分とする製品の成分分析.

日本食品化学学会第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

Olga Malyshevskaya*, 有竹浩介*, 内山奈穂子, 花尻 (木倉) 瑠理, 裏出良博*: カンナビノイドは痙攣を誘発する.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.6)

* 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

木戸命*, 熊谷英敏*, 中田亮*, 許沢佳宏*, 池田祐一*, 花尻 (木倉) 瑠理, 小室一成*: 危険ドラッグ成分刺激により誘発されるカンナビノイド関連受容体下流細胞内シナル伝達経路の解析.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.6)

* 東京大学附属病院

李任時*, 武田知起*, 森元聡*, 花尻瑠理, 山田英之*, 石井祐次*: 合成カンナビノイドJWH-018による脳の内因性カンナビノイド2-AGの増加: 機構および学習・記憶を含む障害性との関連.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.6)

* 九州大学大学院薬学研究院

小早川令子*, 花尻 (木倉) 瑠理, 小早川高*: Δ^9 -THC, JWH-018, 5-fluoro-ADB が誘発するマウスの脳活動と行動.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.6)

* 関西医科大学

マリシェフサカヤ オリガ^{*1}, 有竹浩介^{*2}, カウシク マヘシユ^{*1}, 内山奈穂子, シェラス ヨアン^{*1}, 花尻 (木倉) 瑠理, 裏出良博^{*1}: 大麻成分 Δ^9 -THCは, CB1受容体を介して痙攣を誘発する.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.6)

^{*1} 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

^{*2} 第一薬科大学

前田秀将*, 永嶋瑛利香*, 川原玄理*, 花尻 (木倉) 瑠理, 林由起子*, 吉田謙一*: 合成カンナビノイド系薬物MDMB-CHMICAは, ラットに徐脈・昇圧作用と行動異常を惹起する.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.6)

* 東京医科大学

川原玄理*, 前田秀将*, 花尻 (木倉) 瑠理, 林由起子*, 吉田謙一*: 25B-NBOMeはゼブラフィッシュに横紋筋融解症を惹起する.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.6)

* 東京医科大学

内山奈穂子, 鎌倉浩之, 政田さやか, 辻本恭, 細江潤子, 丸山卓郎, 合田幸広, 袴塚高志: C型肝炎治療薬ハーボニー配合錠の偽造品に関する成分分析.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.7)

河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: イオンモビリティ分離法と組み合わせたLC-Q-TOFMSを用いた生体試料中危険ドラッグ分析.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.7)

田中理恵, 水谷佐久美, 河村麻衣子, 淵野裕之*, 川原信夫*, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: LC-Q-TOF-MSを用いた大麻草 (*Cannabis sativa* L.) のカンナビノイドの分析.

日本法中毒学会第36年会 (2017.7.7)

* (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

川原玄理*, 前田秀将*, 花尻 (木倉) 瑠理, 吉田謙一*, 林由起子*: 麻薬成分25B-NBOMeはゼブラフィッシュに横紋筋融解症を惹起する.

日本筋学会第3回学術集会 (2017.8.5)

* 東京医科大学

吉富太一, 内山奈穂子, 袴塚高志, 丸山卓郎: サンヤクのアミノ酸分析とその多変量解析による品質評価. 第34回和漢医薬学会学術大会 (2017.8.26)

政田さやか, 高橋豊*, 内山奈穂子, 袴塚高志: オウレン市場品の化学分析における品質評価. 第34回和漢医薬学会学術大会 (2017.8.27)

* エムエス・ソリューションズ (株)

小林里沙^{*1}, 多田百花^{*1}, 日坂真輔^{*1}, 政田さやか, 袴塚高志, 本間真人^{*2}, 能勢充彦^{*1}: 漢方処方 of 科学的解析 (第19報) 各種麻黄配合処方におけるエフェドリン系アルカロイド含有量ならびにその抽出効率について.
第34回和漢医薬学会学術大会 (2017.8.27)

^{*1} 名城大学薬学部

^{*2} 筑波大学附属病院

堀井周文*, 小此木明*, 高橋隆二*, 鎌倉浩之, 袴塚高志, 合田幸広: 八味地黄丸エキス製剤及び湯剤の同等性に関する研究 Alisol 類の酸性条件下における生成物の検討.
第34回和漢医薬学会学術大会 (2017.8.27)

第34回和漢医薬学会学術大会 (2017.8.27)

* クラシエ製薬 (株) 漢方研究所

近藤未来*, 政田さやか, 寺坂和祥*, 牧野利明*: モミジバダイオウ由来アントラキノン配糖化酵素候補遺伝子の単離と機能解析.
第35回日本植物細胞分子生物学会大会 (2017.8.29)

第35回日本植物細胞分子生物学会大会 (2017.8.29)

* 名古屋市立大学薬学部

政田さやか, 山路弘樹^{*1}, 武田修己^{*1}, 嶋田康男^{*2}, 小松かつ子^{*3}, 内山奈穂子, 袴塚高志: 新疆甘草に含まれるグリチルリチン酸及びガラクツログリチルリチン酸量の調査.
日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

^{*1} (株) ツムラ

^{*2} 三星製薬 (株)

^{*3} 富山大学和漢医薬学総合研究所

辻本恭, 内山奈穂子, 吉富太一, 丸山卓郎, 山本豊*, 袴塚高志: ¹³C-NMRを用いた生薬のメタボローム解析に関する研究 (2) —柑橘系生薬について.
日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

* (株) 栃本天海堂

内倉崇^{*1}, 田中宏昭^{*1}, 杉脇秀美^{*1}, 好村守生^{*1}, 佐藤 (増本) 直子, 辻本恭, 内山奈穂子, 袴塚高志, 天倉吉章*: 白首烏の成分研究.
日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

* 松山大学薬学部

中村璃蘭*, 平澤祐介*, 内山奈穂子, 袴塚高志, 森田博史*: 2種のヒカゲノカズラ科植物に含まれるアルカロイドの成分探索.
日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

* 星薬科大学

服部莉奈*, 平澤祐介*, 内山奈穂子, 袴塚高志, 森田博史*: ヒカゲノカズラ科エゾノコスギランに含まれるアルカロイドの成分研究.
日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

日本生薬学会第64回年会 (2017.9.9)

* 星薬科大学

張含培^{*1}, 朱姝^{*1}, 何毓敏^{*2}, 蔡少青^{*3}, 袴塚高志, 丸山卓郎, 小松かつ子^{*1}: 骨碎補の遺伝子解析による基原評価法の開発.
日本生薬学会第64回年会 (2017.9.10)

日本生薬学会第64回年会 (2017.9.10)

^{*1} 富山大学和漢医薬学総合研究所

^{*2} 三峽大学医学院

^{*3} 北京大学薬学部

政田さやか, 内山奈穂子, 袴塚高志: 一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究 (7): 「漢方セルフメディケーション」ホームページの開設とアクセス状況.
第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

丸山卓郎, 山路弘樹^{*1}, 山本豊^{*2}, 朱姝^{*3}, 新井玲子^{*4}, 木谷友紀^{*5}, 西尾雅世^{*6}, 横倉胤夫^{*6}, 小松かつ子^{*3}, 袴塚高志: 遺伝子情報を利用するボウフウの純度試験について.
第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

^{*1} (株) ツムラ

^{*2} (株) 栃本天海堂

^{*3} 富山大学和漢医薬学総合研究所

^{*4} (株) ウチダ和漢薬

^{*5} 小太郎漢方製薬 (株)

^{*6} 日本粉末薬品 (株)

内山奈穂子, 細江潤子, 植村清美*, 秋田幸子*, 水谷誠志*, 力石正子*, 合田幸広, 袴塚高志: 単味生薬エキス製剤の品質評価に関する研究—テンマエキスの定量について—.

第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

*ロート製薬 (株)

田中理恵, 河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 平成28・29年度の新規流通危険ドラッグ成分の同定. 第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

最所和宏, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 平成28年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について—強壮用健康食品等—. 第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

河村麻衣子, 田中理恵, 緒方潤, 内山奈穂子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 平成26年から27年にかけて実施した危険ドラッグ製品調査に関する報告~検出化合物の変遷と傾向~. 第54回全国衛生化学技術協議会 (2017.11.22)

神本敏弘*, 石崎昌洋*, 川崎武志*, 菊地祐一*, 近藤誠三*, 竹中勝彦*, 玉木智生*, 中尾慎治*, 成川佑次*, 日向野太郎*, 正谷大地*, 増井涼*, 山本豊*, 吉村真理子*, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 川原信夫*, 袴塚高志, 合田幸広, 木内文之*: 日局収載生薬のTLC確認試験の検討—ポウフウ, カロコン, コウブシ, ゴシユユ, コウカー—. 第46回生薬分析シンポジウム (2017.11.24)

* TLC研究班

吉富太一, 後藤佑斗, 丸山卓郎, 大嶋直浩^{*1}, 中森俊輔^{*2}, 小林義典^{*2}, 安食菜穂子^{*3}, 林茂樹^{*3}, 杉村康司^{*3}, 淵野裕之^{*3}, 飯田修^{*3}, 川原信夫^{*3}, 香川聡子^{*4}, 神野透人^{*5}: 辛味受容体TRPV1賦活活性を指標としたLC-MSメタボロームによるショウキョウ, カンキョウの品質多様性評価について. 第46回生薬分析シンポジウム (2017.11.24)

^{*1} 東京理科大学薬学部

^{*2} 北里大学薬学部

^{*3} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

^{*4} 横浜薬科大学

^{*5} 名城大学薬学部

李任時^{*1}, 福森良^{*2}, 武田知起^{*1}, 宋穎霞^{*1}, 森元聡^{*1},

渡邊和人^{*3}, 有竹浩介^{*3}, 山口拓^{*2}, 花尻 (木倉) 瑠理, 田中嘉孝^{*1}, 山本経之^{*2}, 石井祐次^{*1}: 合成カンナビノイドJWH-018による脳の内因性カンナビノイドanandamideおよび2-arachidonoylglycerolの増加とその機構: CBI-KOマウスを用いた解析.

第34回日本薬学会九州支部大会 (2017.11.29)

^{*1} 九州大学大学院薬学研究院

^{*2} 長崎国際大学薬学部

^{*3} 第一薬科大学

Li R-S*, Takeda T*, Morimoto S*, Kikura-Hanajiri R, Ishii Y*: Elevation of the endocannabinoids in brain by synthetic cannabinoid JWH-018: the mechanism and the effect on learning and memory. 57th Annual Meeting of Society of Toxicology and ToxExpo (2018.3.14)

* 九州大学大学院薬学研究院

最所和宏, 河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 合成オピオイドのTLC及び呈色試薬による識別法とGC-MS及びLC-MSによる分析. 日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

緒方潤, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 大麻加工品のDNA分析. 日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

田中理恵, 河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 危険ドラッグ製品中のLSD類似化合物の同定. 日本薬学会第138回年会 (2018.3.26)

河村麻衣子, 三澤隆史, 出水庸介, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: LC-CDを用いた危険ドラッグMethylphenidate類似体のキラール分析. 日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

森田いずみ*, 大山浩之*, 田中理恵, 花尻 (木倉) 瑠理, 小林典裕*: オンサイト分析を目的とするモノクローナル抗シロシン抗体作製の試み. 日本薬学会第138回年会 (2018.3.27)

* 神戸薬科大学

鎌倉浩之, 細江潤子, 袴塚高志, 合田幸広: 漢方エキス中の水銀, ヒ素, 鉛及びカドミウムについて (第5報).

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

加藤明日香^{*1}, 多田百花^{*1}, 日坂真輔^{*1}, 政田さやか, 袴塚高志, 本間真人^{*2}, 能勢充彦^{*1}: 漢方処方 of 科学的解析 (第22報) 各種甘草配合処方におけるグリチルリチン酸量及びその抽出効率について (その2).

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 名城大学薬学部

^{*2} 筑波大学附属病院

吉富太一, 若菜大悟^{*1}, 内山奈穂子, 河野徳昭^{*2}, 横倉胤夫^{*3}, 山本豊^{*4}, 瀧野裕之^{*2}, 小松かつ子^{*5}, 川原信夫^{*2}, 丸山卓郎: 逆相系固相抽出による試料調製を利用したボウフウ類生薬の¹H-NMRメタボローム解析と特徴成分の同定.

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 星薬科大学

^{*2} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

^{*3} 日本粉末薬品 (株)

^{*4} (株) 栃本天海堂

^{*5} 富山大学和漢医薬学総合研究所

吉富太一, 山本豊^{*}, 袴塚高志, 丸山卓郎: 高極性化合物に着目した多変量解析によるサンヤクの品質評価.

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*} (株) 栃本天海堂

君島伸^{*1}, 當銘一文^{*1}, 張含培^{*1}, 朱姝^{*1}, 何毓敏^{*2}, 蔡少青^{*3}, 袴塚高志, 丸山卓郎, 小松かつ子^{*1}: 骨碎補の品質標準化を指向した成分分析.

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 富山大学和漢医薬学総合研究所

^{*2} 三峽大学医学院

^{*3} 北京大学薬学部

内山奈穂子, 辻本恭, 吉富太一, 丸山卓郎, 山本豊^{*}, 袴塚高志: LC-MSを用いた柑橘系生薬のメタボローム解析に関する研究

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*} (株) 栃本天海堂

後藤佑斗, 鎌倉浩之, 袴塚高志, 丸山卓郎: 国内及びアメリカ市場で流通するカツアバ製品の基原種について. 日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

大嶋直浩^{*1}, 山下忠俊^{*2}, 日向須美子^{*3}, 天倉吉章^{*4}, 日向昌司, 竹元裕明^{*5}, 中森俊輔^{*3,6}, 内山奈穂子, 楊金緯^{*2}, 伊東秀之^{*6}, 小林義典^{*5}, 袴塚高志, 小田口浩^{*3}, 花輪壽彦^{*3}, 合田幸広: 麻黄の産地の違いを反映する非アルカロイド成分.

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 東京理科大学薬学部

^{*2} (株) 常磐植物化学研究所

^{*3} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*4} 松山大学薬学部

^{*5} 北里大学薬学部

^{*6} 岡山県立大学保健福祉学部

天倉吉章^{*1}, 好村守生^{*1}, 日向須美子^{*2}, 日向昌司, 伊東秀之^{*3}, 楊金緯^{*4}, 岡秀樹^{*5}, 中森俊輔^{*2,6}, 大嶋直浩^{*7}, 内山奈穂子, 小林義典^{*2,6}, 小田口浩^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 袴塚高志, 合田幸広: 麻黄エキス及びエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの活性画分の構造特性解析と評価.

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

^{*1} 松山大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} 岡山県立大学保健福祉学部

^{*4} (株) 常磐植物化学研究所

^{*5} ゼリア新薬工業 (株)

^{*6} 北里大学薬学部

^{*7} 東京理科大学薬学部

政田さやか, 内山奈穂子, 袴塚高志: 一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究 (8): 「漢方セルフメディケーション」ホームページの周知活動とアクセス状況.

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

Sato Y: Tumorigenicity assessment of cell therapy products.

International Society for Cellular Therapy Annual Meeting 2017 (2017.5.6)

Kuroda K, Yasuda S, Tachi S^{*}, Matsuyama S, Sato Y: A transcriptomic approach to identify potential marker genes for prediction of differentiation propensity of

human induced pluripotent stem cell lines.
International Society for Stem Cell Research 2017
Annual Meeting (2017.6.14)

* Nagoya City University

Miura T, Yasuda S, Okamura K*, Umezawa A*, Sato Y:
Assessment of the appearance of spontaneous genetic
mutations in human induced pluripotent stem cells.
International Society for Stem Cell Research 2017
Annual Meeting (2017.6.15)

* Department of Reproductive Biology, National
Research Institute for Child Health and Development

Sawada R, Kono K, Tanaka K, Sato Y, Moriyama
K*, Ebata H*, Sasaki S*, Kuboki T*, Kidoaki S*:
Comprehensive gene expression analysis of human
mesenchymal stem cells cultured on the micro
elastically-stripped pattern gel matrix.
International Society for Stem Cell Research 2017
Annual Meeting (2017.6.15)

* Institute for Materials Chemistry and Engineering,
Kyushu University

Kidoaki S*, Ebata H*, Sawada R, Moriyama K*, Kuboki
T*, Kono K, Tanaka K, Sasaki S*: Characterization
of the frustrated differentiation of mesenchymal stem
cells induced by normadic migration between stiff and
soft region of gel matrix.
XXVI Congress of the International Society of
Biomechanics (2017.7)

* Institute for Materials Chemistry and Engineering,
Kyushu University

佐藤陽治：移植に用いられる細胞・組織の安全性確保。
第16回日本組織移植学会総会・学術集会 (2017.8.5)

Sato Y : Japan's Regulatory Framework for Cell-Based
Therapeutic Products.
2017 World Stem cell and Immunotherapy Leaders
Summit (2017.8.26)

黒田拓也, 安田智, 松山さと子, 草川森士, 佐藤陽治：
不死化網膜色素上皮細胞マーカーとしてのトロポニン

T 1 の同定。
第 3 回 次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイ
エンスフォーラム (2017.9.16)

Sato Y: <<Technical guidance for quality, nonclinical
and clinical studies of studies of regenerative medical
products>> Tumorigenicity.
The 8th Asian Cellular Therapy Organization, Satellite
Session (2017.10.28)

Yuan Y, Maeda Y*, Sato Y, Yusa K: CHO cells
free from endogenous retrovirus production for
manufacturing biopharmaceuticals.
The 61st Annual Meeting of the Japanese Society for
Virology (2017.11.26)

* Kumamoto University

Sato Y: Tumorigenicity: A Matter of Non-Clinical
Safety? or A Matter of Qaulity?
2nd DIA Cell Therapy Products Symposium in Japan
(2017.12.15)

Yasuda S, Kusakawa S, Kuroda T, Miura T, Takada
N, Matsuyama S, Matsuyama A^{*1}, Nasu M^{*2},
Umezawa A^{*2}, Hayakawa T^{*3}, Tsutsumi H^{*4}, Sato Y:
Characterization of human induced pluripotent stem
cell lines as raw materials of cell therapy products
from a view of tumorigenicity.
World Stem Cell Summit 2018 (2018.1.23)

*¹ Platform of Therapeutics for Rare Disease, National
Institutes of Biomedical Innovation, Health and
Nutrition

*² Department of Reproductive Biology, National
Research Institute for Child Health and
Development

*³ Pharmaceutical Research and Technology Institute,
Kindai University

*⁴ Central Institute for Experimental Animals

Sato Y: Recent Progress of Industry-Academia Open
Innovation in Japan for Cell Application.
World Stem Cell Summit 2018 (2018.1.24)

Sato Y: In vitro testing methods for detection of
tumorigenic cellular impurities in pluripotent stem cell-

derived products.

CGT/CT-TRACS Workshop, Safety assessment of cell therapy products: current advances and challenges (2018.2.14)

佐藤陽治：再生医療等データ登録システム (NRMD) の構築と運用について。
第17回再生医療学会総会 (2018.3.21)

三浦巧：医療応用を目指したゲノム編集技術における品質・安全性評価の考え方。
第17回再生医療学会総会 (2018.3.21)

澤田留美, 田中和沙, 河野健, 佐藤陽治, 木戸秋悟*：ヒト間葉系幹細胞の骨分化能を予測するマーカー遺伝子の探索。
第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.21)

* 九州大学先端物質化学研究所

佐藤陽治：細胞加工製品の品質・安全性評価法の開発。
第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.22)

黒田拓也, 安田智, 城しおり*¹, 松山さと子*², 草川森士, 田埜慶子, 三浦巧, 松山晃文*², 佐藤陽治：ヒトiPS細胞における分化指向性予測マーカーの同定。
第17回再生医療学会総会 (2018.3.22)

*¹ 名古屋市立大学

*² 医薬基盤・健康・栄養研究所

佐藤陽治：細胞加工物の品質・安全性確保のための技術要件に関するミニマム・コンセンサス・パッケージについて。
第17回再生医療学会総会 (2018.3.23)

大橋文哉, 宮川繁*¹, 安田智, 三浦巧, 黒田拓也, 斎藤充弘*¹, 八代健太*¹, 増田茂夫*¹, 伊東絵望子*¹, 伊藤昌可*², 川路英哉*², 村川泰裕*², 吉原正仁*², 鮫島正*³, 河合純*², 澤芳樹*¹, 佐藤陽治：心筋細胞への高い分化指向性を有するiPS細胞株のスクリーニング法の開発。
第17回再生医療学会総会 (2018.3.23)

*¹ 大阪大学医学部附属病院

*² 国立研究開発法人理化学研究所

*³ テルモ (株)

河野健, 澤田留美, 安田智, 黒田拓也, 松山さと子, 水口裕之*, 佐藤陽治：選択的細胞傷害性ウイルスベクターを利用した造腫瘍性未分化ES/iPS細胞の高感度検出法の開発。

第17回再生医療学会総会 (2018.3.23)

* 大阪大学大学院薬学研究科

大岡伸通, 奥平桂一郎*, 服部隆行, 内藤幹彦：IAPアンタゴニストLCL161誘導体を導入したSNIPERによる効果的なプロテインノックダウン
第21回日本がん分子標的治療学会学術集会 (2017.6.15)

* 徳島大学大学院医歯薬学部

中野なおこ*, 正田卓司, 服部隆行, 栗原正明, 内藤幹彦, 伊東進*：がん遺伝子YAPを標的とした抗がん剤開発
第21回日本がん分子標的治療学会学術集会 (2017.6.15)

* 昭和薬科大学

石川遼*, 河本理恵*, 福田和男*, 森彩里穂*, 岸福子*, 正田卓司, 小野寺祥子*, 服部隆行, 栗原正明, 内藤幹彦, 山崎龍*, 中根孝久*, 岡本巖*, 中野なおこ*, 伊東進*：プロテインノックダウン法を利用したYAPシグナル阻害剤の開発
平成29年度日本生化学会関東支部例会 (2017.6.17)

* 昭和薬科大学

井上貴雄：核酸医薬品のハイブリダイゼーション依存的オフターゲット効果の評価法
日本核酸医薬学会第3回年会 (2017.7.10)

Uchida E: Update on ongoing revision of guideline for gene therapy clinical research focusing on genome editing technology.

第23回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2017.7.21)

Furuta B, Yamaguchi T*, Uchida E: Application of droplet digital PCR (ddPCR) for AAV vector titration and impurity evaluation.

第23回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 (2017.7.22)

* 日本薬科大学

Nishikawa A*, Suzuki T, Iwai T*, Koyama Y*, Kaneko N*, Hachiya M* : Frequency of antimicrobial resistance in bacteria at urban pond and river in Tokyo

18th IWA International Conference on Diffuse Pollution & Eutrophication (2017.8.15)

* 中央大学

Mikihiko Naito : Protein knockdown by SNIPER compounds recruiting IAP ubiquitin ligases
2017 Chinese Medicinal Chemistry Symposium, CPA-EFMC International Symposium on Medicinal Chemistry (2017.8.28)

吉田徳幸, 佐々木澄美, 内藤雄樹^{*1}, 小泉誠^{*2}, 田村正和^{*2}, 三井田宏明^{*2}, 多賀谷光洋^{*3}, 高垣和史^{*3}, 小比賀聡^{*4}, 内藤幹彦, 井上貴雄 : スプライシング制御型アンチセンスのハイブリダイゼーション依存的オフターゲット効果の評価法に関する検討
第9回日本RNAi研究会 (2017.8.31)

^{*1} ライフサイエンス統合データベースセンター

^{*2} 第一三共 (株)

^{*3} 日本新薬 (株)

^{*4} 大阪大学大学院薬学研究科

吉田徳幸 : 核酸医薬開発の現状と今後の展望
第37回日本眼薬理学会 (2017.9.1)

内田恵理子, 内藤雄樹*, 小野竜一 : ゲノム編集を利用した遺伝子治療用製品の安全性評価に関する研究.
平成29年度AMED再生医療・研究交流会 (2017.9.5)

* ライフサイエンス統合データベースセンター

Suzuki T, Tsukumo Y, Naito M, Kasai F*, Mihara M*, Kohara A* : Preparation of cell lines for mutation standards against cancer-related gene panels for clinical sequencing

Integrating genomics and biophysics to comprehend functional genetic variation (2017.9.10)

* 医薬基盤・健康・栄養研究所 細胞バンク

大岡伸通, 奥平桂一郎*, 柴田識人, 服部隆行, 内藤幹彦 : プロテインノックダウン法による新しい創薬技術の

開発に関する研究

第61回日本薬学会関東支部大会 (2017.9.16)

* 徳島大学大学院医歯薬学研究部

Mikihiko Naito, Nobumichi Ohoka, Norihito Shibata, Takayuki Hattori : Degradation of target proteins by SNIPER compounds recruiting IAP ubiquitin ligases
EMBO conference on Ubiquitin and SUMO (2017.9.17)

Yoshida T, Sasaki K, Naito Y^{*1}, Koizumi M^{*2}, Tamura M^{*2}, Miida H^{*2}, Tagaya M^{*3}, Takagaki K^{*3}, Obika S^{*4}, Naito M, Inoue T : Evaluation of Off-target Effects of Splice-switching Oligonucleotides.
13th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutics Society (2017.9.25)

^{*1} ライフサイエンス統合データベースセンター

^{*2} 第一三共 (株)

^{*3} 日本新薬 (株)

^{*4} 大阪大学大学院薬学研究科

大岡伸通, 柴田識人, 服部隆行, 内藤幹彦 : プロテインノックダウン法を基盤とした新しいがん分子標的薬の開発に関する研究
第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.28)

築茂由則, 鈴木孝昌, 内藤幹彦 : ゲノム編集を用いたEGFR L858R変異導入細胞の作製とEGFR阻害剤感受性の解析
第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.29)

内藤幹彦, 大岡伸通, 柴田識人, 服部隆行 : SNIPER化合物による病原性タンパク質の分解
第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.29)

大岡伸通, 柴田識人, 服部隆行, 内藤幹彦 : 芳香族炭化水素受容体ユビキチンリガーゼをリクルートする新しいプロテインノックダウン化合物の開発
第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.30)

柴田識人, 大岡伸通, 服部隆行, 内藤幹彦 : 発がん因子BCR-ABLのアロステリック部位を標的としたタンパク質分解剤の開発
第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.30)

鈴木孝昌, 築茂由則, 内藤幹彦, 小原有弘* : NCCオン

コパネルの90遺伝子を網羅する変異細胞株パネルの作製
第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.30)

* 医薬基盤・健康・栄養研究所 細胞バンク

降旗千恵, 鈴木孝昌, 豊田武士, 小川久美子: 次世代シー
ケンス-Targeted mRNA Sequencingによるトキシコゲ
ノミクス指標遺伝子の検証

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

Yang L*, Suzuki T: Complete structural elucidation of
a double minute chromosome in human promyelocytic
HL60 cells

第12回国際環境変異原学会 (2017.11.14)

* 上海交通大学

Suzuki T, Suresh T, Furihata C, Koyama N*, Toritsuka
N*, Asakura S*, Hakura A*: NGS-based mutation
signature analysis in the ultra-rapid mouse colon
tumorigenesis model

第12回国際環境変異原学会 (2017.11.14)

* エーザイ (株) 筑波安全性研究部

井上貴雄: 核酸医薬品開発の現状と神経変性疾患治療薬
への展開,

第36回日本認知症学会学術集会 (2017.11.26)

鈴木俊介*, 小木美恵子*, 長谷部貴亮*, 内田恵理子,
豊田淑江, 會澤康治*, 山口照英*: ヒト初代線維芽細胞
における衝撃波照射後の細胞の生理機能.

第40回日本分子生物学会年会 (2017.12.6)

* 金沢工業大学

島崎健太郎^{*1}, 高橋美帆^{*1}, 梅田真郷^{*2}, 舟本聡^{*3}, 斎
藤芳郎^{*4}, 野口範子^{*4}, 熊谷圭悟^{*5}, 花田賢太郎^{*5}, 丸
義朗^{*6}, 柴田識人, 内藤幹彦, 西川喜代孝^{*1}: P210型
BCR-ABL PHドメインのリガンド特性およびその病理
的意義の解明

第90回日本生化学会大会 (2017.12.7)

^{*1,3,4} 同志社大学生命医科学部

^{*2} 京都大学工学部

^{*5} 国立感染症研究所

^{*6} 東京女子医科大学

内田恵理子: 遺伝子改変細胞製品の品質及びカルタヘナ
第一種使用規程について

バイオロジクスフォーラム第15回学術集会 (2018.1.10)

Shibata N, Miyamoto N*, Nagai K*, Shimokawa K*,
Samejima T*, Ohoka N, Hattori T, Imaeda Y*,
Nara H*, Cho N*, Naito M: Strategy for protein
degradation against oncoprotein BCR-ABL.

Keystone Symposia "Ubiquitin Signaling" (2018.1.29
and 2018.1.31)

* 武田薬品工業 (株) 化学研究所

Ohoka N, Okuhira K^{*2}, Ito M^{*1}, Nagai K^{*1}, Morita Y^{*1},
Shimokawa K^{*1}, Ujikawa O^{*1}, Fujimori I^{*1}, Hayase Y^{*1},
Shibata N, Hattori T, Samejima T^{*1}, Sano O^{*1}, Koyama
R^{*1}, Fujita H^{*1}, Teratani M^{*1}, Matsumoto H^{*1}, Imaeda
Y^{*1}, Nara H^{*1}, Cho N^{*1}, Naito M: In vivo degradation
of targeted protein by hybrid small-molecule SNIPERs.
Keystone Symposia "Ubiquitin Signaling" (2018.1.30)

^{*1} 武田薬品工業 (株) 化学研究所

^{*2} 徳島大学大学院医歯薬学研究部

内田恵理子: 遺伝子治療用製品の開発における規制動向.

第20回ヒューマンサイエンス総合研究ワークショップ
(2018.3.16)

井上貴雄: 核酸医薬品の開発動向と品質・安全性評価,
日本薬学会第38回年会 (2018.3.27)

内藤幹彦, 大岡伸通, 柴田識人, 服部隆行: IAPを利用
したプロテインノックダウン法の開発とがん原性タンパ
ク質の分解, 日本薬学会第38回年会 (2018.3.27)

Shibata N, Miyamoto N*, Nagai K*, Shimokawa
K*, Samejima T*, Ohoka N, Hattori T, Imaeda Y*,
Nara H*, Cho N*, Naito M: Development of protein
degradation inducers of oncogenic BCR-ABL protein
by conjugation of ABL kinase inhibitors and IAP
ligands.

4th International Symposium for Medicinal Sciences,
138th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of
Japan (2018.3.27)

* 武田薬品工業 (株) 化学研究所

Ohoka N, Morita Y^{*1}, Nagai K^{*1}, Shimokawa K^{*1}, Ujikawa O^{*1}, Fujimori I^{*1}, Ito M^{*1}, Hayase Y^{*1}, Okuhira K^{*2}, Shibata N, Hattori T, Samejima T^{*1}, Sano O^{*1}, Koyama R^{*1}, Imaeda Y^{*1}, Nara H^{*1}, Cho N^{*1}, Naito M: In Vivo Protein Knockdown by Chimeric Small-compound SNIPERs.

4th International Symposium for Medicinal Sciences, 138th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan (2018.3.27)

植松美幸, 青見茂之^{*1}, 山崎健二^{*1}, 岩崎清隆^{*2}, 中岡竜介, 靛島由二, 鈴木孝司^{*1}, 村垣善浩^{*1}, 伊関洋^{*1,2}: 大血管手術において新規ナビゲーションシステムを用いた6症例に関する報告.

第56回日本生体医工学大会, (2017.5.5)

^{*1} 東京女子医科大学

^{*2} 早稲田大学

森下裕貴, 福井千恵, 野村祐介, 河上強志, 池田敏之^{*1}, 向井智和^{*2}, 柚場俊康^{*2}, 稲村健一^{*2}, 山岡久時^{*2}, 宮崎謙一^{*3}, 岡崎仁^{*1}, 靛島由二: 新規代替可塑剤を利用したnon-DEHP血液バッグの血液保存能評価.

第65回日本輸血・細胞治療学会総会 (2017.6.23)

^{*1} 東京大学

^{*2} 川澄化学工業

^{*3} 新日本理化

宮島敦子, 小森谷薫, 田中賢^{*}, 比留間瞳, 加藤玲子, 靛島由二: 血液適合性試験における蛋白質マーカの挙動への影響について.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

^{*} 九州大学先導物質化学研究所

野村祐介, 福井千恵, 森下裕貴, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二: RNAアプタマーを用いた新規骨再生材料の開発.

第19回日本RNA学会年会 (2017.7.19)

^{*1} リボミック

^{*2} 東京大学

岡本吉弘: 産官学の経験から医療機器分野の必要な人材像を考える.

第55回日本人工臓器学会大会 (2017.9.2)

植松美幸, 中岡竜介, 靛島由二: 医用材料表面水和状態の分子動力的解析に基づく中間水検出法の開発.

第55回日本人工臓器学会大会 (2017.9.3)

Miyajima-Tabata A, Kawakami T, Komoriya K, Kato R, Haishima Y, Isama K^{*1}: Effects of different secondary particle sized nickel oxide nanomaterials on cytotoxicity and immune responses.

EUROTOX 2017 (2017.9.11)

^{*1} Teikyo Heisei University

Coleman KP^{*1}, De Jong WH^{*2}, Hoffmann S^{*3}, Lee M^{*4}, Kandarova H^{*5}, Letasiova S^{*5}, De La Fonteyne L^{*2}, Pellevoisin C^{*6}, Tornier C^{*6}, Videau C^{*6}, Haishima Y, Zdawczyk A^{*7}, Turley A^{*4}, Willoughby JA^{*8}, Bachelor M^{*9}, Rollins B^{*10}: Round robin study to evaluate the reconstructed human epidermis (RhE) model as in vitro skin irritation test for medical devices.

EUROTOX 2017 Meeting (2017.9.12)

^{*1} Medtronic

^{*2} RIVM

^{*3} Seh consulting + services

^{*4} Nelson Laboratories

^{*5} MatTek In Vitro Life Science Laboratories

^{*6} EpiSkin Academy

^{*7} NAMSA

^{*8} Cyprotex US LCC

^{*9} MatTek Corporation

^{*10} Arthrex, Inc.

森下裕貴, 橋井則貴, 井上祐貴^{*1}, 鮫島啓^{*2}, 松橋祐輝^{*2}, 保延慶紀^{*2}, 福井千恵, 戸井田瞳, 野村祐介, 平井晴香^{*3}, 小林慎吾^{*3}, 田中賢^{*3}, 岩崎清隆^{*2}, 石原一彦^{*1}, 靛島由二: 高分子材料の血液適合性評価マーカの性能検証.

第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

^{*1} 東京大学

^{*2} 早稲田大学

^{*3} 九州大学

藤澤彩乃^{*1}, 福井千恵, 野村祐介, 森下裕貴, 奥村佳奈子^{*2}, 加藤洋一^{*3}, 秦信子^{*4}, 古谷真美^{*5}, 渡辺美香^{*5}, 鄭雄一^{*1}, 靛島由二: 医療用プラスチック製品の各種可

塑剤に対する炎症誘導能評価法の再現性・頑健性評価。
第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

*¹ 東京大学

*² 化合物安全性研究所

*³ ニプロ

*⁴ Ig-M

*⁵ 食品薬品安全センター

Sakoda H, Osaka Y*, Uetsuki K*, Okamoto Y, Haishima Y: Delamination resistance of vitamin E blended and highly cross-linked ultra-high molecular weight polyethylene evaluated by novel accelerated test method.

8 th UHMWPE meeting (2017.10.20)

* 帝人ナカシマメディカル (株)

中村浩規^{*1}, 眞野成康^{*2}, 杉浦伸一^{*3}, 鮎澤純子^{*4}, 佐藤景二^{*5}, 嶋森好子^{*6}, 靛島由二, 藤盛啓成^{*2}: 医薬品と医療機器の相互作用に関する情報管理体制と発生状況調査。

第27回日本医療薬学会年会 (2017.11.4)

*¹ 東北公済病院

*² 東北大学病院

*³ 同志社女子大学

*⁴ 九州大学

*⁵ 静岡市立静岡病院

*⁶ 岩手医科大学

Sakoda H, Haishima Y: How can regulatory science support medical applications of the outcome of biotribology.

2nd Czech-Japan Tribology Workshop (2017.11.15)

森下裕貴, 野村祐介, 福井千恵, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二: 血管内皮細胞増殖因子を特異的に捕捉するRNAアプタマー修飾材料の機能評価。

第39回日本バイオマテリアル学会大会 (2017.11.20)

*¹ リボミック

*² 東京大学

靛島由二, 橋井則貴, 井上裕貴^{*1}, 鮫島啓^{*2}, 松橋祐輝^{*2}, 保延慶紀^{*2}, 福井千恵, 戸井田瞳, 野村祐介, 森

下裕貴, 平井晴香^{*3}, 小林慎吾^{*3}, 田中賢^{*3}, 岩崎清隆^{*2}, 石原一彦^{*1}: 開放実験系及び閉鎖型拍動循環回路による血液適合性評価マーカの性能検証。

第39回日本バイオマテリアル学会大会 (2017.11.21)

*¹ 東京大学

*² 早稲田大学

*³ 九州大学

野村祐介, 福井千恵, 森下裕貴, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二: 骨形成因子を捕捉する新規医用材料の性能評価。

第39回日本バイオマテリアル学会大会 (2017.11.21)

*¹ リボミック

*² 東京大学

野村祐介, 福井千恵, 森下裕貴, 河上強志, 池田敏之^{*1}, 向井智和^{*2}, 柚場俊康^{*2}, 稲村健一^{*2}, 山岡久時^{*2}, 宮崎謙一^{*3}, 岡崎仁^{*1}, 靛島由二: 代替可塑剤を利用したnon-DEHP血液バッグのSAGM加赤血球濃厚液保存能評価。

第39回日本バイオマテリアル学会大会 (2017.11.21)

*¹ 東京大学

*² 川澄化学工業

*³ 新日本理化

森下裕貴, 福井千恵, 野村祐介, 河上強志, 池田敏之^{*1}, 向井智和^{*2}, 柚場俊康^{*2}, 稲村健一^{*2}, 山岡久時^{*2}, 宮崎謙一^{*3}, 岡崎仁^{*1}, 靛島由二: 代替可塑剤を利用したnon-DEHP血液バッグのMAP加赤血球濃厚液保存能評価。

第39回日本バイオマテリアル学会大会 (2017.11.21)

*¹ 東京大学

*² 川澄化学工業

*³ 新日本理化

藤澤彩乃^{*1}, 福井千恵, 野村祐介, 森下裕貴, 奥村佳奈子^{*2}, 加藤洋一^{*3}, 秦信子^{*4}, 渡辺美香^{*5}, 古谷真美^{*5}, 鄭雄一^{*1}, 靛島由二: 医療用プラスチック製品の各種可塑剤に対する炎症誘導能評価法の再現性・頑健性評価。

第39回日本バイオマテリアル学会大会 (2017.11.21)

*¹ 東京大学

*² 化合物安全性研究所

*³ ニプロ

*⁴ Ig-M

*⁵ 食品薬品安全センター

宮島敦子, 小森谷薫, 比留間瞳, 加藤玲子, 井上祐貴^{*1}, 鮫島啓^{*2}, 松橋祐輝^{*2}, 保延慶紀^{*2}, 平井晴香^{*3}, 小林慎吾^{*3}, 田中賢^{*3}, 岩崎清隆^{*2}, 石原一彦^{*1}, 靛島由二: 開放系及び空気非接触/拍動循環型閉鎖系回路による血液適合性試験の比較.

第39回日本バイオマテリアル学会大会 (2017.11.21)

*¹ 東京大学

*² 早稲田大学

*³ 九州大学

加藤玲子, 小森谷薫, 宮島敦子, アミシワタル*, 加藤雅一*, 島中内子*, 靛島由二: 再構築ヒト表皮モデル LabCyteを用いた皮膚刺激性試験動物実験代替法の性能検証

第39回日本バイオマテリアル学会 (2017.11.21)

* (株) ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

岡本吉弘, 山家弘雄*, 迫田秀行, 靛島由二, 寺田友昭*: NBCAの安全使用に向けたカテーテル接着メカニズムの実験的要因解析

第33回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2017.11.24)

* 昭和大学藤が丘病院

迫田秀行, 岡本吉弘, 靛島由二, 菅野伸彦*: 除去された親水性表面処理ライナーの表面解析.

第44回 日本臨床バイオメカニクス学会 (2017.11.25)

* 大阪大学

中岡竜介, 加藤玲子, 靛島由二: 人工知能の社会実装に向けて.

第38回日本臨床薬理学会 (2017.12.7)

迫田秀行, 比留間瞳, 相澤雅美, 中岡竜介, 宮島敦子, 靛島由二: プラスチック製医療機器を破損する薬剤成分の網羅的探索.

第30回 バイオエンジニアリング講演会 (2017.12.14)

宮島敦子: 高分子バイオマテリアルの血栓性評価マーカに関する研究.

鶴田・赤池フォーラム「水の勉強会」(2018.1.11)

Uematsu M., Aomi S. ^{*1}, Iwasaki K. ^{*2}, Umezu M. ^{*2}, Iimura H. ^{*3}, Muragaki Y. ^{*3}, Iseki H. ^{*2,3}, Nakaoka R., Haishima Y.: A navigation system for safer surgery - Lessons learned from aortic vascular surgery - Joint UK-Japan symposium on medical imaging and artificial intelligence (2018.1.23)

*¹ Ayase Heart Hospital

*² Waseda University

*³ Tokyo Women's Medical University

Sakoda H, Okamoto Y, Haishima Y, Sugano N*: Methods to evaluate the presence of hydrophilic modification layer on the surface of retrieved acetabular liner.

Orthopaedic Research Society, 64th Annual Meeting (2018.3.12)

* 大阪大学

Sakoda H, Osaka Y*, Uetsuki K*, Okamoto Y, Haishima Y: Development of a novel delamination test for ultra-high molecular weight polyethylene used for the articulating surface of joint replacements.

The 10th International Biotribology Forum (2018.3.17)

* 帝人ナカシマメディカル (株)

佐藤正人^{*1}, 浜橋恒介^{*1}, 高垣智紀^{*1}, 三谷玄弥^{*1}, 高木岳彦^{*1}, 鷹取直希^{*1}, 前原美樹^{*1}, 高橋匠^{*1}, 岡田恵理^{*1}, 渡部綾子^{*1}, 白砂早織^{*1}, 豊田恵利子^{*1}, 中村嘉彦, 佐藤忠之^{*1}, 加藤玲子, 阿久津英憲^{*2}, 石原美弥^{*3}, 赤松正^{*1}, 小林広幸^{*1}, 渡辺雅彦^{*1}: 変形性膝関節症に対する同種細胞シートを用いた軟骨再生医療.

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.21)

*¹ 東海大学医学部

*² 国立成育医療研究センター

*³ 防衛医科大学校

靛島由二: In vitro エンドトキシン規格値の設定.

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.22)

中岡竜介, 植松美幸, 靛島由二: Scaffoldの安全性評価に利用可能な国際標準.

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.23)

宮島敦子, 河上強志, 小森谷薫, 加藤玲子, 靛島由二, 伊佐間和郎*: 物理化学的性質の異なる酸化亜鉛ナノマテリアルに対するTHP-1の細胞応答.

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

* 帝京平成大学

靛島由二, 迫田秀行, 戸井田瞳, 相澤雅美, 中岡竜介, 宮島敦子: プラスチック製医療機器を破損する薬剤成分の網羅的解析.

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

森下裕貴, 福井千恵, 野村祐介, 河上強志, 池田敏之^{*1}, 向井智和^{*2}, 柚場俊康^{*2}, 稲村健一^{*2}, 山岡久時^{*2}, 宮崎謙一^{*3}, 岡崎仁^{*1}, 靛島由二: 新規代替可塑性剤を利用した血液バッグの赤血球濃厚液保存能評価.

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

*¹ 東京大学

*² 川澄化学工業

*³ 新日本理化

Kobayashi N, Ikarashi Y: Development and application of a pharmaceutical fate prediction model in Japanese water environment

SETAC Europe 27th Annual Meeting (2017.5.10).

小林憲弘, 小坂浩司^{*1,2}, 浅見真理^{*1}, 中川慎也^{*3}, 木下輝昭^{*3}, 高木総吉^{*4}, 中島孝江^{*4}, 古川浩司^{*5}, 中村弘揮^{*6}, 工藤清悠^{*7}, 粕谷智浩^{*8}, 土屋かおり^{*9}, 寺中郁夫^{*10}, 若月紀代子^{*11}, 加登優樹^{*12}, 小関栄一郎^{*13}, 井上智^{*14}, 村上真一^{*15}, 金田智^{*16}, 関桂子^{*17}, 北本靖子^{*18}, 堀池秀樹^{*19}, 米久保淳^{*20}, 清水尚登^{*21}, 高原玲華^{*22}, 齊藤香織^{*23}, 五十嵐良明: LC/MS/MSによる水道水中の臭素酸の分析条件検討と妥当性評価

第26回環境化学討論会 (2017.6.7)

*¹ 国立保健医療科学院

*² 京都大学大学院

*³ 東京都健康安全研究センター

*⁴ 大阪健康安全基盤研究所

*⁵ 三重県環境保全事業団

*⁶ 岐阜県公衆衛生検査センター

*⁷ 岩手県薬剤師会検査センター

*⁸ 千葉県薬剤師会検査センター

*⁹ 東京都水道局

*¹⁰ 埼玉県企業局

*¹¹ 福岡地区水道企業団

*¹² 広島市水道局

*¹³ 仙台市水道局

*¹⁴ 横浜市水道局

*¹⁵ 福山市上下水道局

*¹⁶ 八戸圏域水道企業団

*¹⁷ 千葉県水道局

*¹⁸ 大阪市水道局

*¹⁹ 島津製作所

*²⁰ 日本ウォーターズ

*²¹ アジレント・テクノロジー

*²² ジーエルサイエンス

*²³ サーモフィッシャーサイエンティフィック

河上強志, 和泉こなみ, 伊佐間和郎*, 五十嵐良明: ろうそく及びお香に含まれる重金属の分析及び使用時の吸入曝露量推定

第26回環境化学討論会 (2017.6.7)

* 帝京平成大学薬学部

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: 化粧品中の微量有害金属試験法の開発: マイクロ波分解条件の検討

第26回環境化学討論会 (2017.6.8)

河上強志, 伊佐間和郎*, 五十嵐良明: 繊維製品中のクロム及びコバルトの実態調査

第26回環境化学討論会 (2017.6.8)

* 帝京平成大学薬学部

小野敦^{*1}, 渡辺真一^{*2}, 菅原経継^{*2}, 若林晃次^{*3}, 田原宥^{*3}, 堀江宣行^{*4}, 藤本恵一^{*4}, 草苅啓^{*5}, 黒川嘉彦^{*5}, 寒水孝司^{*6}, 中山拓人^{*6}, 草生武^{*6}, 河上強志, 小島幸一^{*7}, 小島肇, Jon Richmond^{*8}, Nicole Kleinstreuer^{*9}, Bae-Hwa Kim^{*10}, 山本裕介^{*11}, 藤田正晴^{*11}, 笠原利彦^{*11}: 新規*in chemico*皮膚感作性試験ADRA法の多施設バリデーション試験: 第1報

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.11)

*¹ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

*² ライオン (株)

*³ 三井化学 (株)

*⁴ 住友化学 (株)

*⁵ 日産化学工業 (株)

*⁶ 東京理科大学工学部

*⁷ (一財) 食品薬品安全センター

*⁸ UK home office

*⁹ NTP Interagency Center for the Evaluation of Alternative Toxicological Methods (NICEATM)

*¹⁰ College of Natural Sciences Keimyung University

*¹¹ 富士フイルム (株)

Kobayashi N, Tsuchiya Y, Ikarashi Y: Transformation to a degradation product by hydrolysis of iprodione Water and Environment Technology Conference 2017 (2017.7.23) .

内野正, 仲川清隆^{*1}, 勝野真美^{*1}, 伊藤隼哉^{*1}, 永塚貴弘^{*1}, 宮澤陽夫^{*2,3}, 秋山卓美, 五十嵐良明: ホスファチジルコリンヒドロペルオキシドの細胞毒性に及ぼす抗酸化物質の影響

日本過酸化脂質・抗酸化物質学会第25回年会 (2017.8.19)

*¹ 東北大院農・機能分子解析

*² 東北大・未来科学技術共同研究センター

*³ 東北大院農・食の健康科学ユニット

Ono A^{*1}, Watanabe S^{*2}, Sugawara T^{*2}, Wakabayashi K^{*3}, Tahara T^{*3}, Horie N^{*4}, Fujimoto K^{*4}, Kusakari K^{*5}, Kurokawa Y^{*5}, Sozu T^{*6}, Nakayama T^{*6}, Kusao T^{*6}, Kawakami T, Kojima K^{*7}, Kojima H, Richmond J^{*8}, Kleinstreuer N^{*9}, Kim B.H.^{*10}, Yamamoto Y^{*11}, Fujita M^{*11}, Kasahara T^{*11}: Phase-1 of the validation study of amino acid derivative reactivity assay (ADRA): a novel *in chemico* alternative test method of skin sensitization.

The 10th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2017.8.22)

*¹ Graduate School of Medicine Dentistry and Pharmacological Sciences, Okayama University

*² Lion Corporation

*³ Mitsui Chemicals, Inc.

*⁴ Sumitomo Chemical Co., Ltd.

*⁵ Nissan Chemical Industries, Ltd.

*⁶ Faculty of Engineering, Tokyo University of Sciences

*⁷ Food and Drug Safety Center

*⁸ UK home office

*⁹ NTP Interagency Center for the Evaluation of

Alternative Toxicological Methods (NICEATM)

*¹⁰ College of Natural Sciences Keimyung University

*¹¹ Fujifilm Corporation

酒井信夫, 田原麻衣子, 曾我慶介, 安達玲子, 近藤一成, 五十嵐良明: ヒト急性単球性白血病細胞株 (THP-1) より分化誘導した樹状細胞様細胞の抗原提示におけるナノ酸化チタン共存の影響について
第24回免疫毒性学会学術年会 (2017.9.4)

Isama K^{*}, Kawakami T, Haishima Y: Kinetic analysis of protein adsorption on blood compatible polymer using quartz crystal microbalance.

28th Annual Conference of the European Society for Biomaterials (2017.9.5)

* Faculty of Pharmacological Sciences, Teikyo Heisei University

田原麻衣子, 神野透人^{*1}, 香川 (田中) 聡子^{*2}, 酒井信夫, 五十嵐良明: アルデヒド類の市販試薬における異性体の値付け
環境科学会2017年会 (2017.9.14)

*¹ 名城大学

*² 横浜薬科大学

小林憲弘, 小松原由美^{*}, 江里口知己^{*}, 五十嵐良明: 化学物質運命予測モデルを用いた水道水の検査対象農薬の選定
環境科学会2017年会 (2017.9.14)

* サイエンスアンドテクノロジー

秋山卓美, 五十嵐良明, 酒井信夫, 安達玲子, 手島玲子: 医薬部外品原料として用いる加水分解コムギタンパク質の新規規格と試験法の策定
第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

高木総吉^{*1}, 吉田仁^{*1}, 安達史恵^{*1}, 宮脇崇^{*2}, 小林憲弘: 水道水質検査におけるスクリーニング分析適用に向けた挑戦

平成29年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部理化学部会研修会 (2017.11.2)

*¹ 大阪健康安全基盤研究所

*² 福岡県保健環境研究所

Tranquet O^{*1}, Brossard C^{*1}, Pineau F^{*1}, Lupi R^{*1}, Matsunaga K^{*2}, Teshima R, Sakai S, Gaudin JC^{*1}, Larré C^{*1}, Denery S^{*1}: Intensity of deamidation in acid-Hydrolyzed Wheat Protein epitopes a key parameter in their allergenicity
International Symposium on Molecular Allergology 2017, (2017.11.10)

*¹ Institut national de la recherche agronomique

*² Fujita Health University School of Medicine

Kobayashi N, Komatsubara Y^{*}, Eriguchi T^{*}, Ikarashi Y: Development and application of an agricultural chemicals fate prediction model in Japanese water environment
SETAC North America 38th Annual Meeting (2017. 11. 13)

* Science and Technology Co., Ltd.

酒井信夫, 田原麻衣子, 遠山友紀, 五十嵐良明, 奥田晴宏, 千葉真弘^{*1}, 佐々木陽^{*2}, 佐藤由紀^{*3}, 竹熊美貴子^{*4}, 横山結子^{*5}, 高梨嘉光^{*6}, 斎藤育江^{*7}, 上村仁^{*8}, 田中礼子^{*9}, 今井美紗子^{*10}, 高田博司^{*11}, 小林浩^{*12}, 鈴木光彰^{*13}, 青木梨絵^{*14}, 小林博美^{*15}, 中嶋智子^{*16}, 吉田俊明^{*17}, 古市裕子^{*18}, 八木正博^{*19}, 新井清^{*20}, 荒尾真砂^{*21}, 中島亜矢子^{*22}, 田崎盛也^{*23}: 平成28年度 室内空気環境汚染に関する全国実態調査
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

*¹ 北海道立衛生研究所

*² 岩手県環境保健研究センター

*³ 宮城県保健環境センター

*⁴ 埼玉県衛生研究所

*⁵ 千葉県衛生研究所

*⁶ 千葉市環境保健研究所

*⁷ 東京都健康安全研究センター

*⁸ 神奈川県衛生研究所

*⁹ 横浜市衛生研究所

*¹⁰ 新潟県保健環境科学研究所

*¹¹ 富山県衛生研究所

*¹² 山梨県衛生環境研究所

*¹³ 静岡県環境衛生科学研究所

*¹⁴ 愛知県衛生研究所

*¹⁵ 滋賀県衛生科学センター

*¹⁶ 京都府保健環境研究所

*¹⁷ 大阪健康安全基盤研究所

*¹⁸ 大阪市立環境科学研究所センター

*¹⁹ 神戸市環境保健研究所

*²⁰ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*²¹ 高知県衛生研究所

*²² 福岡市保健環境研究所

*²³ 沖縄県衛生環境研究所

田原麻衣子, 遠山友紀, 酒井信夫, 五十嵐良明: カーテン類から放散される揮発性有機化合物に関する研究
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

秋山卓美, 藤巻日出夫, 五十嵐良明: 化粧品中の防腐剤ブチルカルバミン酸ヨウ化プロピニルのGC/MSによる定量法
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: マイクロ波分解/ICP-MSによる化粧品中の微量金属分析法の検討
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水中におけるイプロジオン代謝産物の生成挙動とその検査法の検討
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

内野正, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水中のホルムアルデヒド簡易測定法の妥当性評価
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

小林憲弘, 久保田領志, 内野正, 五十嵐良明: 平成28年度厚生労働省水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

河上強志, 小濱とも子, 五十嵐良明: 人工芝グラウンド用ゴムチップに含まれるゴム添加剤の分析
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

川元達彦^{*}, 井上亘^{*}, 谷畑智也^{*}, 鈴木雅和^{*}, 野村素行^{*}, 小林憲弘: 水中揮発性有機化合物61成分の多成分一斉分析法に関する研究
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

* 兵庫県立健康生活科学研究所

高木総吉^{*}, 安達史恵^{*}, 吉田仁, 小林憲弘: 液体クロ

マトグラフ-質量分析計による水道水中テフリルトリオンの分析法検討と妥当性評価
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

* 大阪健康安全基盤研究所

西以和貴*, 上村仁, 河上強志, 五十嵐良明: 人工芝グラウンド用ゴムチップ中の多環芳香族炭化水素類の分析
第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

* 神奈川県衛生研究所

伊佐間和郎*, 河上強志, 靄島由二: QCM 法による医用高分子材料の血液適合性評価におけるデータ解析手法の検討
第39回日本バイオマテリアル学会大会 (2017.11.22)

* 帝京平成大学薬学部

藤田正晴^{*1}, 山本裕介^{*1}, 渡辺真一^{*2}, 菅原経継^{*2}, 若林晃次^{*3}, 田原宥^{*3}, 堀江宣行^{*4}, 藤本恵一^{*4}, 草苺啓^{*5}, 黒川嘉彦^{*5}, 河上強志, 小島幸一^{*6}, 小島肇, 小野敦^{*7}, 笠原利彦^{*1}: 新規*in chemico*皮膚感作性試験ADRA法に使用するCys誘導体試薬 (NAC) の酸化原因および防止策の検討
第30回日本動物実験代替法学会 (2017.11.24)

^{*1} 富士フイルム (株)

^{*2} ライオン (株)

^{*3} 三井化学 (株)

^{*4} 住友化学 (株)

^{*5} 日産化学工業 (株)

^{*6} (一財) 食品薬品安全センター

^{*7} 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

小野敦^{*1}, 渡辺真一^{*2}, 菅原経継^{*2}, 若林晃次^{*3}, 田原宥^{*3}, 堀江宣行^{*4}, 藤本恵一^{*4}, 草苺啓^{*5}, 黒川嘉彦^{*5}, 寒水孝司^{*6}, 中山拓人^{*6}, 草生武^{*6}, 河上強志, 小島幸一^{*7}, 小島肇, Jon Richmond^{*8}, Nicole Kleinstreuer^{*9}, Bae-Hwa Kim^{*10}, 山本裕介^{*11}, 藤田正晴^{*11}, 笠原利彦^{*11}: 新規*in chemico*皮膚感作性試験ADRA法の多施設バリデーション試験: 第2報
第30回日本動物実験代替法学会 (2017.11.24)

^{*1} 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

^{*2} ライオン (株)

^{*3} 三井化学 (株)

^{*4} 住友化学 (株)

^{*5} 日産化学工業 (株)

^{*6} 東京理科大学工学部

^{*7} (一財) 食品薬品安全センター

^{*8} UK home office

^{*9} NTP Interagency Center for the Evaluation of Alternative Toxicological Methods (NICEATM)

^{*10} College of Natural Sciences Keimyung University

^{*11} 富士フイルム (株)

河上強志, 秋山卓美, 伊佐間和郎*, 小濱とも子, 五十嵐良明: 重リン酸エステル系酸化防止剤の刺激性及び感作性と家庭用PVC製手袋中の実態
第47回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会・第41回皮膚脈管・膠原病研究会 (2017.12.10)

* 帝京平成大学薬学部

Kobayashi N, Komatsubara Y*, Eriguchi T*, Ikarashi Y: Application of a 3-D chemical fate prediction model for risk assessment of agricultural chemicals in Japanese river water
Society for Risk Analysis 2017 Annual Meeting (2017.12.11).

* Science and Technology Co., Ltd.

田原麻衣子, 酒井信夫, 千葉真弘^{*1}, 大泉詩織^{*1}, 斎藤育江^{*2}, 大貫文^{*2}, 香川 (田中) 聡子^{*3}, 神野透人^{*4}, 五十嵐良明, 奥田晴宏: 室内濃度指針値新規策定化合物の標準試験法の開発-加熱脱離捕集剤の検討-
平成29年室内環境学会学術大会 (2017.12.13)

^{*1} 北海道立衛生研究所

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} 横浜薬科大学

^{*4} 名城大学

大貫文^{*1}, 菱木麻佑^{*1}, 千葉真弘^{*2}, 大泉詩織^{*2}, 香川 (田中) 聡子^{*3}, 上村仁^{*4}, 神野透人^{*5}, 田原麻衣子, 酒井信夫, 斎藤育江^{*1}, 小西浩之^{*1}, 守安貴子^{*1}: 溶媒抽出法を用いたTVOC測定法の検討
平成29年室内環境学会学術大会 (2017.12.13)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 北海道立衛生研究所

^{*3} 横浜薬科大学

*4 神奈川県衛生研究所

*5 名城大学

千葉真弘^{*1}, 大泉詩織^{*1}, 大貫文^{*2}, 斎藤育江^{*2}, 神野透人^{*3}, 香川(田中)聡子^{*4}, 上村仁^{*5}, 田原麻衣子, 酒井信夫: 室内空気における未規制揮発性有機化合物分析法の検討

化学系学協会北海道支部2018年冬季研究発表会 (2018.1.17)

*1 北海道立衛生研究所

*2 東京都健康安全研究センター

*3 名城大学

*4 横浜薬科大学

*5 神奈川県衛生研究所

Kobayashi N, Tanaka R^{*}, Ikarashi Y, Hirose A: Developmental toxicity assessment of four different preparations of multi-wall carbon nanotubes in mice after repeated intratracheal instillation

57th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2018.3.14)

* Biosafety Research Center Co., Ltd.

O no A^{*1}, Watanabe S^{*2}, Sugawara T^{*2}, Wakabayashi K^{*3}, Tahara T^{*3}, Horie N^{*4}, Fujimoto K^{*4}, Kusakari K^{*5}, Kurokawa Y^{*5}, Sozu T^{*6}, Nakayama T^{*6}, Kusao T^{*6}, Kawakami T, Kojima K^{*7}, Kojima H, Richmond J^{*8}, Kleinstreuer N^{*9}, Kim B.H.^{*10}, Yamamoto Y^{*11}, Fujita M^{*11}, Kasahara T^{*11}: A multi-centre validation study of amino acid derivative reactivity assay (ADRA) - A novel *in chemico* alternative test method for skin sensitization.

57th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2018.3.14)

*1 Graduate School of Medicine Dentistry and Pharmacological Sciences, Okayama University

*2 Lion Corporation

*3 Mitsui Chemicals, Inc.

*4 Sumitomo Chemical Co., Ltd.

*5 Nissan Chemical Industries, Ltd.

*6 Faculty of Engineering, Tokyo University of Sciences

*7 Food and Drug Safety Center

*8 UK home office

*9 NTP Interagency Center for the Evaluation of Alternative Toxicological Methods (NICEATM)

*10 College of Natural Sciences Keimyung University

*11 Fujifilm Corporation

内野正, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水中のホルムアルデヒド簡易測定法の定量精度について

第52回日本水環境学会年会 (2018.3.15)

五十嵐良明, 小濱とも子, 宮澤法政^{*1}, 林正人^{*2}, 久世哲也^{*3}, 森茂樹^{*4}, 安田純子^{*5}, 高野勝弘^{*6}, 吉田充哉^{*7}, 小島尚^{*8}, 藤井まき子^{*9}: 化粧品試験法 ジエタノールアミン

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

*1 埼玉県衛生研究所

*2 (株) 資生堂

*3 (株) カネボウ化粧品

*4 ポーラ化成工業 (株)

*5 (株) コーセー

*6 日本化粧品工業連合会

*7 日本食品分析センター

*8 帝京科学大学

*9 日本大学

田原麻衣子, 酒井信夫, 斎藤育江^{*1}, 大貫文^{*1}, 香川(田中)聡子^{*2}, 神野透人^{*3}, 五十嵐良明: フタル酸エステル類の室内濃度指針値の改定案と測定方法の開発

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

*1 東京都健康安全研究センター

*2 横浜薬科大学

*3 名城大学

久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明: マイクロ波分解/ICP-MSを用いた化粧品中微量元素分析法の検討

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

河上強志, 伊佐間和郎^{*1}, 五十嵐良明, 神野透人^{*2}: DPRAによる揮発性及び準揮発性有機化合物の感作性評価 (第二報)

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

*1 帝京平成大学薬学部

*2 名城大学薬学部

藤巻日出夫, 秋山卓美, 五十嵐良明: 化粧品中の防腐剤

ブチルカルバミン酸ヨウ化プロピニルのGC/MSによる
定量法

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

高木総吉^{*1}, 安達史恵^{*1}, 吉田仁^{*1}, 木下輝昭^{*2}, 小林
憲弘: 液体クロマトグラフー質量分析計を用いた水道水
中140種農薬の分析法検討と妥当性評価

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

^{*1} 大阪健康安全基盤研究所

^{*2} 東京都健康安全研究センター

味村真弓^{*1}, 中島晴信, 河上強志, 伊佐間和郎^{*2}: 繊維
製品に含まれるトリス (1-アジリジニル) ホスフィンオ
キシド (略称: APO) の分析法の改定に向けた検討

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

^{*1} 大阪健康安全基盤研究所

^{*2} 帝京平成大学薬学部

酒井信夫, 田原麻衣子, 安達玲子, 手島玲子, 小村純
子^{*1}, 伏見環^{*2}, 阿曾幸男, 宮崎玉樹, 秋山卓美, 合田
幸広, 五十嵐良明: 医薬品等に含まれる食物アレルギー
原因物質に関する規制状況および症例調査

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

^{*1} 摂南大学

^{*2} 日本ジェネリック製薬協会

Akiyama H: Updates on Japanese Food Allergen
Regulatory Requirements.

The 2nd Food Allergen Management Symposium
(FAMS2017) & the Second Asia Pacific Food Allergen
Management Workshop (2017.5.24)

志田 (齊藤) 静夏, 根本了, 穂山浩: LC-TOF-MSを用
いた小麦, とうもろこし及び落花生中の残留農薬一斉分
析.

日本食品化学学会第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

堤智昭, 川嶋文人^{*}, 濱田典明^{*}, 足立利華, 穂山浩:
PCB分析前処理装置を用いた魚中のPCBs分析の検討.
第26回環境化学討論会 (2017.6.8)

^{*} 愛媛大学大学院農学研究科

柿本幸子^{*1}, 吉光真人^{*1}, 阿久津和彦^{*1}, 渡邊敬浩, 服

部努^{*2}, 梶村計志^{*1}: ベニズワイガニ中の総水銀および
メチル水銀分析法の妥当性確認と実態調査.

第26回環境化学討論会 (2017.6.7)

^{*1} 大阪健康安全基盤研究所

^{*2} 国立研究開発法人水産研究・教育機構東北区水産研
究所

志田 (齊藤) 静夏, 根本了, 穂山浩: 穀類・豆類中の酸
性農薬一斉分析法の検討.

第40回農薬残留分析研究会 (2017.8.31)

Tsutsumi T, Kawashima A^{*}, Hamada N^{*}, Adachi
R, Akiyama H: Determination of polychlorinated
biphenyls in fish using a polychlorinated biphenyl
clean-up system followed by gas chromatography
tandem mass spectrometry.

37th International Symposium on Halogenated
Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2017) (2017.8.22)

^{*} Graduate School of Agriculture, Ehime University

Yasutake D^{*}, Hori T^{*}, Sato T^{*}, Watanabe T:
Estimation of Dietary Intake of Dechlorane Flame
Retardants in Japan, FY 2016.

37th International Symposium on Halogenated
Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2017) (2017.8.21)

^{*} Fukuoka Institute of Health and Environmental
Sciences

宮内佑子^{*1}, 川嶋文人^{*2}, 堤智昭, 濱田典明^{*2}, 高橋知
史^{*1}, 足立利華, 穂山浩: 環境サンプル中のPCB分析へ
のラピアナ®カラムの適用例.

第34回環境測定技術事例発表会 (2017.10.20)

^{*1} 三浦工業 (株)

^{*2} 愛媛大学大学院農学研究科

Kikuchi H, Sakai T, Nemoto S, Akiyama H: Total
determination of residual flutolanil and its metabolites
in livestock products and seafood using liquid
chromatography-tandem mass spectrometry.

8th International Symposium on Recent Advances in
food analysis (RAFA 2017) (2017.11.9)

鍋師裕美, 堤智昭, 松田りえ子, 今村正隆, 蜂須賀暁子,

手島玲子, 穂山浩: マーケットバスケット方式による放射性セシウムおよびストロンチウム90の預託実効線量の推定 (平成26~27年度調査のまとめ).

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

志田 (齊藤) 静夏, 林智子, 根本了, 穂山浩: 畜産物中のアピラマイシン分析法の開発.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.10)

塩野弘二, 志田静夏, 今村正隆, 根本了, 穂山浩: 水素化物発生原子吸光法を用いた農産物におけるヒ素分析法の検討.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

堤智昭, 足立利華, 植草義徳*, 高附巧, 松田りえ子, 穂山浩: GC-MS/MSによる肉類, 卵類, 乳および乳製品中のPCBs分析.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

* 慶應義塾大学薬学部

今井浩一*, 吉田栄充*, 石井里枝*, 根本了, 穂山浩: LC-MS/MSによる畜水産物中のエマメクチン安息香酸塩分析法の検討.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

* 埼玉県衛生研究所

安武大輔*, 佐藤環*, 堀就英*, 渡邊敬浩: 食事を通じた塩素系難燃剤摂取量の全国調査 (2016年).

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

* 福岡県保健環境研究所

穂山浩: 食物アレルギー表示制度の検知法開発と食物アレルギー解析に関する研究.

第12回日本食品免疫学会宿泊セミナー (2017.11.18)

鍋師裕美, 堤智昭, 松田りえ子, 蜂須賀暁子, 穂山浩: 食品中の放射性ストロンチウムの迅速分析法の検討.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

今村正隆, 鍋師裕美, 堤智昭, 前田朋美, 松田りえ子, 穂山浩: 市場流通食品に含まれる放射性セシウム濃度の調査 - 平成28年度調査の結果 -.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

志田 (齊藤) 静夏, 林智子, 根本了, 穂山浩: 残留農薬分析における試料量と分析値のばらつきについて.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

根本了, 志田 (齊藤) 静夏, 新井清*¹, 小林ゆかり*², 中島安基江*³, 中村宗知*⁴, 脇ますみ*⁵, 菊地博之, 坂井隆敏, 穂山浩: LC/MSによる農薬等の一斉試験法 I (農産物) [茶: 溶媒抽出法] の妥当性評価結果について.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

*¹ 広島県東部厚生環境事務所福山保健所

*² 新潟県保健環境科学研究所

*³ 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*⁴ (一財) 日本食品分析センター

*⁵ 神奈川県衛生研究所

坂井隆敏, 菊地博之, 根本了, 穂山浩: HILICカラムを用いたLC-MS/MSによるアミノグリコシド系抗生物質の測定条件の検討.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

菊地博之, 坂井隆敏, 根本了, 穂山浩: 欧米等における畜水産食品中の残留抗生物質のバイオアッセイ法に関する調査.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

高附巧, 前田朋美, 堤智昭, 穂山浩: インターネットで通信販売されている水産物中のダイオキシン類濃度調査.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

堤智昭, 高附巧, 植草義徳, 今村正隆, 前田朋美, 穂山浩, 蜂須賀暁子: 東日本大震災が魚介類を介したPCBs摂取量に与えた影響 ~魚介類を使用した一食分試料を用いた摂取量調査~.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

片岡洋平, 渡邊敬浩, 林恭子, 穂山浩: ミネラルウォーター類製品における六価クロム濃度の実態調査.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

Akiyama H: Food safety risk management in Japan.

International Conference of Nutrition and Food Safety (2017.12.4)

Tatebe C, Kubota H, Tada A, Sato K: Development of a specification method to determine unreacted raw

materials, products of side reactions, and subsidiary colors in color additives using high-pressure liquid chromatography.

254th American Chemical Society National Meeting & Exposition (2017.8.20)

建部千絵, 鐘熙寧, 久保田浩樹, 多田敦子, 佐藤恭子: 鉄共沈法を利用した食品添加物中の鉛及びヒ素の同時分析法の検討.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

久保田浩樹, 滝川香織^{*1}, 関根百合子^{*2}, 小野寺和子^{*2}, 中村和宏^{*3}, 萩野眞由美^{*4}, 渡邊さやか^{*3}, 安永恵^{*5}, 氏家あけみ^{*5}, 中島安基江^{*6}, 小川尚孝^{*7}, 川原るみ子^{*7}, 仲間幸俊^{*8}, 大城聡子^{*8}, 恵飛須則明^{*8}, 寺見祥子, 佐野誠, 多田敦子, 佐藤恭子: 平成28年度マーケットバスケット方式による食品添加物の一日摂取量調査.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

^{*1} 札幌市衛生研究所

^{*2} 仙台市衛生研究所

^{*3} 千葉県衛生研究所

^{*4} 千葉県市原健康福祉センター

^{*5} 香川県環境保健研究センター

^{*6} 広島県立総合技術研究所保健環境センター

^{*7} 長崎市保健環境試験所

^{*8} 沖縄県衛生環境研究所

鈴木一平^{*}, 久保田浩樹, 建部千絵, 多田敦子, 佐藤恭子: アセチルアセトン誘導体化法およびGC-MSを用いた迅速かつ選択的な食肉・食鳥肉中の次亜臭素酸および次亜塩素酸定量法の検討.

日本農芸化学会2018年度大会 (2018.3.16)

^{*} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

大槻崇^{*}, 鈴木一平, 建部千絵, 久保田浩樹, 西崎雄三, 杉本直樹, 多田敦子, 松藤寛^{*}, 佐藤恭子: ¹H-qNMRを用いた食品中のサッカリンナトリウム分析法の確立.

日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

^{*} 日本大学生物資源科学部

北村陽二^{*1,2}, 佐藤恭子, 多田敦子, 小川数馬^{*2}, 小阪孝史^{*1,2}, 中島美由紀^{*1}, 茂野泰貴^{*2}, 高橋茉衣夏^{*3}, 小澤梓^{*3}, 上出菜歩^{*3}, 濱本萌風^{*3}, 吉田楓^{*3}, 斎藤寛^{*4}, 柴和弘^{*1,2}: 食品添加物確認試験の赤外スペクトル測定

におけるATR法の適用に関する検討.

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

^{*1} 金沢大学学際科学実験センター

^{*2} 金沢大学医薬保健学域

^{*3} 金沢大学保健学類

^{*4} 岡山大学薬学部

杉本直樹, 西崎雄三, 佐藤(増本)直子, 村島健司^{*1}, 北牧祐子^{*2}, 沼田雅彦^{*2}, 井原俊英^{*2}, 佐藤恭子: カワラヨモギ抽出物の成分規格試験法の検討: 抗菌成分カリウムの定量法.

日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

^{*1} 阪本薬品工業(株)

^{*2} (国研) 産業技術総合研究所

高橋未来^{*1}, 西崎雄三, 多田敦子, 山崎太一^{*2}, 黒江美穂^{*2}, 沼田雅彦^{*2}, 井原俊英^{*2}, 杉本直樹, 穂山浩, 佐藤恭子, 井之上浩一^{*1}: 相対モル感度係数を利用したベニコウジ黄色素中のキサントモナシン類の定量法の確立.

日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

^{*1} 立命館大学薬学部

^{*2} (国研) 産業技術総合研究所

障子詩織^{*}, 高橋未来^{*}, 多田敦子, 西崎雄三, 杉本直樹, 穂山浩, 佐藤恭子, 井之上浩一^{*}: ベニコウジ色素の成分規格を目指した高速向流クロマトグラフィーによる解析法の検討.

日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

^{*} 立命館大学薬学部

Sugimoto N, Nishizaki Y, Ishizuki K, Suematsu T^{*1}, Miura T^{*2}, Yamazaki T^{*3}, Kuroe M^{*3}, Numata M^{*3}, Ihara T^{*3}, Sato K: Determination of relative molar sensitivity (RMS) by combination of qNMR and chromatography: Application of RMS for quantification of lycopene in tomato colorant.

131st AOAC Annual Meeting (2017.9.27)

^{*1} JEOL Ltd.

^{*2} Wako Pure Chemical Industries, Ltd.

^{*3} National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

Nishizaki Y, Sugimoto N, Sato K: Development of a HPLC/PDA method for quantitative analysis of food components without the need for analytical standards. 254th ACS National Meeting (2017.8.20)

西崎雄三, 佐藤 (増本) 直子, 山崎太一*, 黒江美穂*, 沼田雅彦*, 井原俊英*, 杉本直樹, 佐藤恭子: 相対モル感度を利用した天然添加物ローズマリー抽出物中のカルノソールおよびカルノシン酸の定量分析. 日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2017.11.10)

* (国研) 産業技術総合研究所

佐藤 (増本) 直子, 西崎雄三, 斎藤直樹*, 山崎太一*, 沼田雅彦*, 井原俊英*, 杉本直樹, 佐藤恭子: qNMRおよびHPLCによる機能性関与成分ルテインの定量. 日本食品化学学会第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

* (国研) 産業技術総合研究所

石附京子, 西崎雄三, 多田敦子, 箕川剛*¹, 中島光一*¹, 大槻崇*², 穂山浩, 杉本直樹, 佐藤恭子: 既存添加物クチナシ青色素の色素生成メカニズムの解明: 青色素の推定構造. 日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

*¹ 三栄源エフ・エフ・アイ (株)

*² 日本大学

箕川剛*, 中島光一*, 武川泰哲*, 西崎雄三, 杉本直樹: オービトラップLC/MSのAIF測定による既存添加物スピルリナ青色素中の総ミクロシスチン定量法の検討. 日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

* 三栄源エフ・エフ・アイ (株)

Kuroe M*, Yamazaki T*, Saito N*, Numata M*, Ihara T*, Nishizaki Y, Sugimoto N: Determination of a non-ionic surfactant without its own calibration standard by qNMR/chromatography. Asian Conference on Oleo Science 2017 (2017.9.12)

* National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

森美保菜*, 寺倉理央奈*, 間瀬貴巳*, 藤原裕未*, 永津明人*, 西崎雄三, 杉本直樹, 佐藤恭子: 定量NMR

(¹H-qNMR) を応用した生薬コウカ中のcarthaminの定量.

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

* 金城学院大学

Takahashi M*, Nishizaki Y, Sugimoto N, Sato K, Inoue K*: Development of quantitative analysis of main components in natural products by liquid chromatography with molar absorption coefficient ratio and high-speed countercurrent chromatography. Pittcon (2018.2.28)

* Ritsumeikan University

高橋未来*, 西崎雄三, 杉本直樹, 佐藤恭子, 井之上浩一*: HSCCC/qNMR-HPLCによる相対モル感度係数を利用した天然色素中キサントモナシンの定量法の開発. 第28回クロマトグラフィー科学会議 (2017.11.16)

* 立命館大学

高橋未来*, 西崎雄三, 杉本直樹, 佐藤恭子, 井之上浩一*: シングルリファレンス定量分析: 相対モル感度に基づく新たなHPLC定量法の開発とゴマリグナンへの応用.

日本薬学会第138年会 (2018.3.27)

* 立命館大学

六鹿元雄, 河村葉子, 有菌幸司*¹, 大野浩之*², 尾崎麻子*³, 金子令子*⁴, 中西徹*⁵, 羽石奈穂子*⁶, 松井秀俊*⁷, 渡辺一成*⁸: 生活用品試験法 器具・容器包装および玩具試験法 プラスチック製品からの金属類の溶出試験法.

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

*¹ 熊本県立大学

*² 名古屋市衛生研究所

*³ (地独) 大阪健康安全基盤研究所

*⁴ 前東京健康安全研究センター

*⁵ (一財) 日本食品分析センター

*⁶ 東京健康安全研究センター

*⁷ 東洋製罐 (株)

*⁸ (一財) 化学研究戦略機構

阿部裕, 小林憲弘, 山口未来, 六鹿元雄, 岸映里*, 尾

崎麻子*, 佐藤恭子:PETボトル入りミネラルウォーター中のホルムアルデヒドおよびアセトアルデヒドの分析法の簡易化および実態調査.

日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.1)

* (地独) 大阪健康安全基盤研究所

Abe Y, Mutsuga M, Sato K: Performance evaluation for the analytical methods of metals in food contact materials.

254th American Chemical Society National Meeting & Exposition (2017.8.21)

山口未来, 阿部裕, 六鹿元雄, 佐藤恭子:おもちゃにおけるフタル酸エステル類の溶出挙動に関する研究.

日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.1)

山口未来, 阿部裕, 六鹿元雄, 佐藤恭子:フタル酸エステル類の溶出挙動に関する研究.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

高橋怜子*, 阿部裕, 山口未来, 伊藤裕才*, 六鹿元雄, 佐藤恭子:ポリ塩化ビニル製玩具から溶出する可塑剤とリスク評価.

日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.1)

* 共立女子大学

阿部智之*¹, 村上亮*², 六鹿元雄, 阿部裕, 天野保希*², 石原絹代*², 大坂郁恵*², 大野浩之*², 大野雄一郎*², 尾崎麻子*², 後藤智美*², 小林尚*², 外岡大幸*², 柴田博*², 高居久義*², 竹中佑*², 中西徹*², 花澤耕太郎*², 羽石菜穂子*², 早川雅人*², 松山重倫*², 宮脇麻衣*², 谷戸雅和*¹, 山口未来, 渡辺一成*², 佐藤恭子:おもちゃにおけるフタル酸エステル試験の試験室間共同試験.

日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.1)

*¹ (公社) 日本食品衛生協会

*² その他の試験機関, 衛生研究所等

尾崎麻子*, 岸映里*, 大嶋智子*, 角谷直哉*, 阿部裕, 六鹿元雄, 山口之彦*, 山野哲夫*:ペットボトルから溶出する化学物質に関する検討 (1) 揮発性物質の探索およびPT-GC-MS法による微量分析.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

* (地独) 大阪健康安全基盤研究所

岸映里*, 尾崎麻子*, 大嶋智子*, 阿部裕, 六鹿元雄, 山口之彦*, 山野哲夫*:ペットボトルから溶出する化学物質に関する検討 (2) 金属類の溶出について.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

* (地独) 大阪健康安全基盤研究所

朝倉宏, 山本詩織, 中山達哉, 森田幸雄*¹, 中馬猛久*²:冷凍条件下における *Campylobacter jejuni* の遺伝子発現挙動.

第91回日本細菌学会学術総会 (2018.3.27)

*¹ 東京家政大学

*² 鹿児島大学

中村寛海*, 朝倉宏, 山本香織*, 梅田薫*, 小笠原準*:飲食店の調理環境におけるカンピロバクター汚染状況.

第91回日本細菌学会学術総会 (2018.3.27)

* 大阪健康安全基盤研究所

山本詩織, 朝倉宏, 石井良和*¹, 五十君静信*²:国内の市販鶏肉から分離されたバンコマイシン耐性 *Enterococcus gallinarum* のフルオロキノロン耐性について.

第91回日本細菌学会総会 (2018.3.28)

*¹ 東邦大学

*² 東京農業大学

朝倉宏, 坂田淳子*¹, 田口眞澄*¹, 中村寛海*¹, 中山達哉, 佐々木貴正, 山本詩織, 村上覚史*²:ヒト及び動物由来 *Campylobacter coli* 株の遺伝特性並びに薬剤耐性.

第10回日本カンピロバクター研究会総会 (2017.12.1)

*¹ 大阪健康安全基盤研究所

*² 東京農業大学

中村寛海*, 朝倉宏, 山本香織*, 梅田薫*, 小笠原準*:飲食店のふきとり材料からのカンピロバクター検出状況.

第10回日本カンピロバクター研究会総会 (2017.12.1)

* 大阪健康安全基盤研究所

菅野巧*¹, 高崎一人*², 小林直樹*¹, 春口和輝*¹, 伊藤未来*¹, 朝倉宏, 布藤聡*², 小西良子*¹:鹿肉中の志賀

毒素産生性大腸菌及びサルコシステイスのLAMPクマト法を用いた検出法の開発.

第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.5)

*1 麻布大学

*2 ファスマック

豊島裕樹, 渡邊真弘, 山本詩織, 朝倉宏: 過酢酸製剤及び亜塩素酸ナトリウムによる, 中抜きと鳥でのカンピロバクター・ジェジュニ汚染低減効果に関する検討.

第44回日本防菌防黴学会年次大会 (2017.9.27)

山本詩織, 朝倉宏: 国内市販鶏肉における*Arcobacter butzleri*の汚染実態と*Campylobacter jejuni*へのフルオロキノロン耐性伝播について.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

Sasaki Y, Okada Y, Asakura H: Prevalence of foodborne bacteria and Enterobacteriaceae in bovine liver and bile collected at abattoirs.

12th International Symposium on Toxins, Pathogens and Foods: Challenges and Opportunities for Public Health (2017.5.17)

佐々木貴正, 朝倉宏: カラスにおけるカンピロバクター保有率と薬剤耐性状況.

第19回関東鶏病臨床研究会 (2017.6.23)

佐々木貴正, 岡田由美子, 朝倉宏: 鶏肝臓内部のカンピロバクター汚染と高圧処理による殺菌効果.

2017年関東・東北鶏病臨床合同研究会 (2017.11.19)

中山達哉, 陣内理生^{*1}, 河原隆二^{*2}, 久米田裕子^{*3}, 住村佳範^{*4}, 山本容正^{*4}: ベトナム, タイビン省における抗菌剤の販売実態調査及び鶏肉中における薬剤耐性菌の拡がり.

第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.5-6)

*1 神奈川県衛生研究所

*2 大阪安全健康基盤研究所

*3 大阪府立大学

*4 大阪大学

山口貴弘^{*1}, 河原隆二^{*1}, 照屋志帆乃^{*2}, 原田和生^{*2}, 元岡大祐^{*1}, 中村昇太^{*2}, 中山達哉, 山本容正^{*2}, 平田収正^{*2}: ベトナムの豚肉から分離した*mcr-3*を有するコロスチン耐性大腸菌の解析.

第91回日本細菌学会総会 (2018.3.27-29)

*1 大阪安全健康基盤研究所

*2 大阪大学

藤田和弘^{*1}, 福沢栄太^{*1}, 佐藤信彦^{*2}, 佐野勇氣^{*2}, 高橋洋武^{*2}, 梶田弘子^{*3}, 松田りえ子^{*4}, 森曜子^{*4}, 大城直雅, 五十君静信^{*5}, 鎌田洋一^{*6}: LC-MS/MSによる米飯中のセレウス菌嘔吐毒(セレウリド)分析法の検討.

日本食品化学学会第23回学術大会 (2017.6.1-2)

*1 (一財) 日本食品分析センター

*2 (一財) 日本食品検査

*3 岩手県環境保健研究センター

*4 (公社) 日本食品衛生協会

*5 (一財) 東京農業大学

*6 (一財) 岩手大学獣医学部

Oshiro N, Nagasawa H^{*1}, Nishimura M^{*2}, Kuniyoshi K, Tanigawa T^{*3}, Sugita-Konishi Y^{*1}, Tachihara K^{*4}, Asakura H, Yasumoto T^{*5}: LC-MS Analysis of ciguatoxins from *Variola louti* collected off the Japanese Waters.

The 10th Indo-Pacific Fish Conference (2017.10.02-06)

*1 Department of Food and Life Science, Azabu University

*2 Graduate School of Science, University of the Ryukyus

*3 Bonins a Pirates

*4 Faculty of Science, University of the Ryukyus

*5 Tama Laboratory, Japan Food Research Laboratories

Oshiro N, Tomikawa T^{*1}, Kuniyoshi K, Ishikawa A^{*2}, Toyofuku H^{*3}, Kojima T^{*1}, Asakura H, Yasumoto T^{*4}: LC-MS Analysis of Ciguatoxins in Fish Specimens Collected off the Tropical Western Pacific.

6th International Symposium "Marine and Freshwater Toxins Analysis" (2017.10.22-25)

*1 Teikyo University of Science

*2 Graduate School of Bioresource, Mie University

*3 Joint Faculty of Veterinary Medicine, Yamaguchi University

*4 Tama Laboratory, Japan Food Research Laboratories

Kuniyoshi K, Oshiro N, Yasumoto T: Preparation of mixed Ciguatoxin Standards to Facilitate Identification and Quantification of Ciguatoxins in Fish and Gambierdiscus from the Pacific.

6th International Symposium "Marine and Freshwater Toxins Analysis" (2017.10.22-25)

* Tama Laboratory, Japan Food Research Laboratories

大城直雅, 杉田典子^{*1}, 山田拓磨^{*1}, 山元繁秀^{*1}, 國吉杏子, 中島安基江^{*2}, 安西洋一^{*3}, 松浦啓一^{*4}, 朝倉宏: コモンフグ筋肉から検出されたテトロドキシンの由来 日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2017.11.09-10)

^{*1} 明治薬科大学

^{*2} 広島県立総合技術研究所保健環境センター

^{*3} 広島市健康福祉局保健部食品保健課

^{*4} 国立科学博物館

大久保博英^{*1}, 伊藤茉美^{*2}, 國吉杏子, 小島尚^{*1}, 立原一憲^{*3}, 朝倉宏, 安元健^{*4}, 大城直雅: LC-MS/MSによるドクウツボのシガトキシン類分析

日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2017.11.09-10)

^{*1} 帝京科学大学

^{*2} 琉球大学大学院理工学研究科

^{*3} 琉球大学理学部

^{*4} (一財) 日本食品分析センター

永江美加^{*}, 五十嵐友二^{*}, 國吉杏子, 大城直雅, 安元健^{*}: LC-MS/MSによるシガトキシン分析法の検討

日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2017.11.09-10)

^{*} (一財) 日本食品分析センター

日比慶久^{*}, 大城直雅, 河野裕美^{*}, 齋藤俊郎^{*}: 西表島産バラフエダイ *Lutjanus bohar* のシガテラ毒量測定と煮調理による毒の移動および消化管内容物の同定について 日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2017.11.09-10)

^{*} 東海大学海洋学部

國吉杏子, 大城直雅, 朝倉宏, 安元健^{*}: 魚肉標準物質 (シガテラ毒) 調製の検討

日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2017.11.09-10)

^{*} (一財) 日本食品分析センター

大城直雅, 富川拓海^{*1}, 國吉杏子, 木村圭介^{*2}, 小島尚^{*1}, 朝倉宏, 安元健^{*3}: 卸売市場に搬入された魚類のシガトキシン類分析

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.21-22)

^{*1} 帝京科学大学大学院

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} (一財) 日本食品分析センター

長谷川晶子^{*}, 早川大輔^{*}, 柘植康^{*}, 大城直雅, 松本昌門^{*}, 皆川洋子^{*}: 愛知県産コモンフグの毒性分析調査

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.21-22)

^{*} 愛知県衛生研究所

中谷実^{*1}, 山本明美^{*1}, 工藤志保^{*1}, 増田幸保^{*1}, 木村淳子^{*1}, 大城直雅, 鈴木達也^{*2}, 高坂典子^{*2}: 麻痺性貝毒試験における代替標準品に係る比較試験

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.21-22)

^{*1} 青森県環境保健センター

^{*2} (一財) 食品薬品安全センター 秦野研究所

岡田由美子, 鈴木穂高^{*1}, 百瀬愛佳, 吉田麻利江, 荻原博和^{*2}: クロノバクター属菌の病原性評価

第160回日本獣医学会 (2017.9.14)

^{*1} 茨城大学

^{*2} 日本大学

鈴木穂高^{*}, 岡田由美子: セボフルラン麻酔下でのフグ毒のマウス・バイオアッセイ

第160回日本獣医学会 (2017.9.14)

^{*} 茨城大学

岡田由美子, 鈴木穂高^{*}, 百瀬愛佳: 高圧処理による *Listeria monocytogenes* の損傷と耐性機構

第91回日本細菌学会 (2018.3.27-29)

^{*} 茨城大学

Uema M, Nagata F, Noda M: Norovirus large diffuse outbreak in 2017 in Japan. UJNR Toxic Microbioorganisms Panel, 12th international symposium (2017.5.16)

小林孝行*, 吉富秀亮*, 中村麻子*, 芦塚由紀*, 梶原淳睦*, 野田衛: 福岡県内の食中毒事例から検出されたノロウイルスGIPc-GI5の遺伝子解析.

第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.5)

* 福岡県保健環境研究所

今村彩貴^{*1}, 金指大海^{*1}, 五島朋子^{*1}, 須藤篤史^{*2}, 植木洋^{*3}, 菅原直子^{*3}, 伊藤博^{*4}, 鄒碧珍^{*5}, 上間匡, 野田衛, 秋元京子*: 高圧処理によるノロウイルス人為汚染カキの汚染低減効果.

第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.5)

^{*1} 農林水産省

^{*2} 宮城県

^{*3} 宮城県保健環境センター

^{*4} 宮城県水産技術総合センター

^{*5} (一財) 東京顕微鏡院

高木弘隆*, 永田文宏, 上間匡, 野田衛: 食品媒介性及び介在性ウイルスに関する不活性化評価手法の策定に向けた検討 (1) - ヒトノロウイルス代替ウイルス選定に関する検討.

第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.5)

* 国立感染症研究所

斎藤博之^{*1}, 秋野和華子^{*1}, 佐藤寛子^{*1}, 清水優子^{*2}, 早川智^{*2}, 牛島廣治^{*2}, 野田衛: パンソルビン・トラップ法の捕捉抗体供給源としてのガンマグロブリンの再評価.

第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.5)

^{*1} 秋田県健康環境センター

^{*2} 日本大学医学部

永田文宏, 上間匡, 濱島洋介*, 寺杣文男*, 野田衛: パンソルビントラップ法による食品からのノロウイルスの検出.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

* 和歌山県環境衛生研究センター

斎藤博之^{*1}, 秋野和華子^{*1}, 佐藤寛子^{*1}, 清水優子^{*2}, 早川智^{*2}, 牛島廣治^{*2}, 野田衛: ノロウイルスGII.17に対するパンソルビントラップ・トラップ法の有効性に関する検討.

日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2017.11.09-10)

^{*1} 秋田県健康環境センター

^{*2} 日本大学医学部

今村彩貴^{*1}, 金指大海^{*1}, 五島朋子^{*1}, 須藤篤史^{*2}, 植木洋^{*3}, 菅原直子^{*3}, 伊藤博^{*4}, 鄒碧珍^{*5}, 上間匡, 野田衛, 秋元京子^{*1}: 高圧処理による養殖カキ中のノロウイルス汚染低減効果.

日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2017.11.09-10)

^{*1} 農林水産省

^{*2} 宮城県

^{*3} 宮城県保健環境センター

^{*4} 宮城県水産技術総合センター

^{*5} (一財) 東京顕微鏡院

上間匡, 永田文宏, 野田衛: 糞便汚染指標としてのPepper mild mottle virusの評価.

日本食品衛生学会第113回学術講演会 (2017.11.09-10)

Kikuchi Y: Rapid microbiological methods: Regulatory perspectives: Japanese Pharmacopoeia (JP) perspective.

International Microbiology Symposium (2017.10.11)

菊池裕: 宇宙居住環境における微生物の全体像理解と地上応用～人類の長期宇宙居住の安全・安心を目指して～微生物迅速法の薬学分野への展開.

日本薬学会第138回年会 (2018.3.27)

豊田淑江, 石井明子, 菊池裕, 北川博子^{*1}, 鈴木浩子^{*1}, 田村悦臣^{*1}, 水口裕之^{*2}, 山口照英. 血管内皮前駆細胞の*in vitro*管腔形成におけるoccludinの役割.

第90回日本生化学会大会 (2017.12.7)

^{*1} 慶応大学

^{*2} 大阪大学

豊田淑江, 石井明子, 菊池裕, 北川博子, 鈴木浩子^{*1}, 田村悦臣^{*1}, 水口裕之^{*2}, 山口照英: 血管内皮前駆細胞 (late EPC) の*in vitro*管腔形成におけるoccludinの役割. 第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.21)

^{*1} 慶応大学

^{*2} 大阪大学

湯之前雄太^{*1}, 島田ひかり^{*1}, 渡邊健^{*1,2}, 清水則夫^{*1}, 関矢一郎^{*1}, 菊池裕: 再生医療の微生物安全性確保: マイコプラズマ否定試験に用いる参照品作製法の確立. 第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.23)

^{*1} 東京医科歯科大学

^{*2} 日水製薬

工藤由起子, 田中恵美*, 都丸亜希子, 寺嶋淳: 冷凍メンチカツによる腸管出血性大腸菌O157食中毒発生とその要因である加熱調理方法での菌数減少の検証. 第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

* 静岡県東部健康福祉センター

大阪美紗^{*1}, 大塚佳代子^{*1}, 門脇奈津子^{*1}, 榎田希^{*1}, 小西典子^{*2}, 尾畑浩魅^{*2}, 甲斐明美^{*3}, 寺嶋淳, 工藤由起子: 食品からの腸管毒素原性大腸菌検出におけるリアルタイムPCR法の検討. 第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.6)

^{*1} 埼玉県衛生研究所

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} (公社) 日本食品衛生協会

宮田晃一*, 吉成知也, 堤智昭, 西村秀郷*, 後藤慶一*, 大西貴弘, 寺嶋淳, 工藤由起子: 魚からの簡易ヒスタミン抽出試料のHPLC測定法への応用. 第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

* 東海大学海洋学部

Yamazaki A^{*1}, Izumiyama S^{*2}, Yagita K^{*2}, Kishida N^{*3}, Kubosaki A, Hara-Kudo Y, Kamata Y^{*4}, Terajima J: Detection of *Cryptosporidium* and *Giardia* by real-time PCR in Sika deer (*Cervus nippon centralis*) in Japan. UJNR有毒微生物専門部会第51回大会日米合同部会 (2017.5.16)

^{*1} Iwate University

^{*2} National Institute of Infectious Diseases

^{*3} National Institute of Public Health

^{*4} Koshien University

Watanabe M: Comparative study including fumonisin production on the phylogenetic tree of kuro-koji molds and their relatives isolated from Japanese fermented

foods.

UJNR有毒微生物専門部会第51回大会日米合同部会 (2017.5.15-19)

Kobayashi N*, Kubosaki A, Shiratori N*, Watanabe M, Terajima J, Konishi-Sugita Y*: Classification and sterigmatocystin-production of *Aspergillus* section *Versicolores* from Japanese foods and environments.

UJNR有毒微生物専門部会第51回大会日米合同部会 (2017.5.15-19)

* 麻布大学

釣木澤尚実^{*1}, 押方智也子^{*1}, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 窪崎敦隆, 鎌田洋一^{*3}, 栗山進一^{*4}, 矢内勝^{*2}, 渡辺麻衣子: 石巻市における応急仮設住宅住民を対象とした集団検診におけるダニアレルゲン感作の推移.

第57回日本呼吸器学会学術講演会 (2017.4.21-23)

^{*1} 国立病院機構埼玉病院呼吸器内科

^{*2} 石巻赤十字病院呼吸器内科

^{*3} 岩手大学

^{*4} 東北メディカル・メガバンク機構

押方智也子^{*1}, 渡辺麻衣子, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 窪崎敦隆, 鎌田洋一^{*3}, 栗山進一^{*4}, 矢内勝^{*2}, 釣木澤尚実^{*1}: 石巻市における応急仮設住宅住民を対象とした集団検診におけるダニアレルゲン感作の推移.

第57回日本呼吸器学会学術講演会 (2017.4.21-23)

^{*1} NHO埼玉病院呼吸器内科

^{*2} 石巻赤十字病院呼吸器内科

^{*3} 岩手大学

^{*4} 東北大学災害科学国際研究所

押方智也子^{*1}, 渡辺麻衣子, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 鎌田洋一^{*3}, 山崎朗子^{*4}, 栗山進一^{*5}, 矢内勝^{*2}, 釣木澤尚実^{*1}: 東日本大震災後の住環境の変化によるアレルギー疾患の有症率・有病率調査とダニアレルゲン・真菌の関与.

第48回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会 (2017.6.30)

^{*1} NHO埼玉病院内科

^{*2} 石巻赤十字病院呼吸器内科

^{*3} 甲子園大学

^{*4} 岩手大学

*5 東北大学災害科学国際研究所

釣木澤尚実^{*1}, 押方智也子^{*1}, 山田敦子^{*2}, 松原博子^{*3}, 栗山進一^{*3}, 呉繁夫^{*4}, 鎌田洋一^{*5}, 矢内勝^{*6}, 渡辺麻衣子: 石巻市小学校2年生のアレルギー疾患の期間有症率と震災後の環境および寝具ダニアレルゲン調査.
第48回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会 (2017.6.30)

*1 国立病院機構埼玉病院内科

*2 石巻市教育委員会

*3 東北大学災害科学国際研究所

*4 東北大学大学院医学系研究科

*5 甲子園大学

*6 石巻赤十字病院呼吸器内科

小林直樹^{*1}, 窪崎敦隆, 渡辺麻衣子, 小沼ルミ^{*2}, 上原さとみ^{*3}, 高橋由美^{*3}, 矢内美幸^{*4}, 寺嶋淳, 高橋治男, 高鳥浩介^{*5}, 小西良子^{*1}: *Aspergillus* section *Versicolores*におけるステリグマトシスチン産生菌種の分子生物学的検出方法の開発.
日本マイコトキシン学会第80回学術講演会 (2017.7.7)

*1 麻布大学

*2 東京都立産業技術研究センター

*3 東京都健康安全研究センター

*4 一般財団法人日本食品分析センター

*5 NPO法人カビ相談センター

窪崎敦隆, 渡辺麻衣子, 野地歩^{*1}, 吉成知也, 久保文, 南千紜, 小林直樹^{*1}, 小西良子^{*1}, 石毛太郎^{*2}, 佐々木剛^{*2}, 寺嶋淳: 培養検査およびアンプリコンシーケンス解析で検出された室内微生物叢の比較.
環境微生物学系学会合同大会2017 (2017.8.28-9.1)

*1 麻布大学

*2 東京農業大学

窪崎敦隆, 小林直樹^{*1}, 高橋治男, 吉成知也, 上原さとみ^{*2}, 高橋由美^{*2}, 矢内美幸^{*3}, 高鳥浩介^{*4}, 寺嶋淳, 小西良子^{*1}, 渡辺麻衣子: 高度識別型DNA合成酵素を用いた玄米汚染真菌の検出.
日本防菌防黴学会第44回年次大会 (2017.9.26-27)

*1 麻布大学

*2 東京都健康安全研究センター

*3 一般財団法人日本食品分析センター

*4 NPO法人カビ相談センター

高橋玲^{*1}, 平谷寛樹^{*1,2}, 山崎朗子^{*1}, 福富友馬^{*3}, 長井和哉^{*1}, 小林直樹^{*4}, 渡辺麻衣子, 鎌田洋一^{*1,5}: 白癬菌 *Trichophyton rubrum* エノラーゼのアレルゲンとしての同定と免疫学的性状解析.
日本防菌防黴学会第44回年次大会 (2017.9.26-27)

*1 岩手大学

*2 全国農業協同組合連合会

*3 国立病院機構相模原病院

*4 麻布大学

*5 甲子園大学

土田康之^{*1}, 渡辺麻衣子, 高木拓也^{*1}, 小沼ルミ^{*2}, 寺嶋淳, 木村悟隆^{*1}: 水害被災後の家屋の真菌叢の推移及び家屋の環境による真菌叢の相違.
日本防菌防黴学会第44回年次大会 (2017.9.26-27)

*1 長岡技術科学大学

*2 東京都立産業技術研究センター

久保文, 窪崎敦隆, 押方智也子^{*1}, 齋藤明美^{*2}, 石田雅嗣^{*3}, 小林誠一^{*3}, 鎌田洋一^{*5}, 山崎朗子^{*5}, 矢内勝^{*3}, 寺嶋淳, 栗山進一^{*5}, 釣木澤尚実^{*1}, 渡辺麻衣子: 応急仮設住宅居住者における住宅汚染真菌特異的IgE濃度の測定.
日本防菌防黴学会第44回年次大会 (2017.9.26-27)

*1 国立病院機構埼玉病院

*2 国立病院機構相模原病院

*3 石巻赤十字病院

*4 岩手大学

*5 東北大学

高橋玲^{*1}, 平谷寛樹^{*1}, 山崎朗子^{*1}, 福富友馬^{*2}, 長井和哉^{*1}, 小林直樹^{*3}, 渡辺麻衣子, 鎌田洋一^{*1,4}: 喘息と関連する白癬菌 *Trichophyton rubrum* アレルゲンのバイオフィォマティクス利用による同定とIgEエピトープの解析.
第106回日本獣医学会学術集会 (2017.9.13-15)

*1 岩手大学

*2 国立病院機構相模原病院

*3 麻布大学

*4 甲子園大学

青木渉*, 渡辺麻衣子, 渡邊雅樹*, 小林直樹*, 小西良子*, 寺嶋淳, 近藤一成: ウラベニホテイシメジとその近縁菌群における系統分類.

第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.5-6)

* 麻布大学

押方智也子*¹, 渡辺麻衣子, 山田敦子*², 松原博子*³, 矢内勝*⁴, 鎌田洋一*⁵, 栗山進一*³, 呉繁夫*⁶, 釣木澤尚実*¹: 石巻市小学校2年生のアレルギー疾患有症率と寝具ダニ・真菌アレルゲン調査.

第54回日本小児アレルギー学会学術大会 (2017.11.18-19)

*¹ 国立病院機構埼玉病院内科

*² 石巻市教育委員会

*³ 東北大学災害科学国際研究所

*⁴ 石巻日赤病院呼吸器内科

*⁵ 甲子園大学

*⁶ 東北大学大学院医学系研究学小児学科

青木渉*¹, 窪崎敦隆, 野地歩*¹, 吉成知也, 橋本一浩*², 小沼ルミ*³, 久保文, 南千紘, 小林直樹*¹, 小西良子*¹, 石毛太郎*⁴, 寺嶋淳, 佐々木剛*⁵, 渡辺麻衣子: 培養法およびアンプリコンシーケンス解析による室内真菌叢の比較.

平成29年室内環境学会学術大会 (2017.12.13-14)

*¹ 麻布大学

*² (株) エフシージー総合研究所

*³ 東京都立産業技術研究センター

*⁴ 東京農業大学生物資源ゲノム解析センター

*⁵ 東京農業大学農学部

青木渉*¹, 渡辺麻衣子, 渡邊雅樹*¹, 小林直樹*¹, 小西良子*¹, 寺嶋淳*², 近藤一成: ウラベニホテイシメジとその近縁菌群における系統分類.

日本マイコトキシン学会第81回学術講演会 (2018.1.11)

*¹ 麻布大学

*² 岩手大学

新井沙倉, 吉成知也, 寺嶋淳, 大西貴弘: *Kudoa hexapunctata*および*K. neothunni*検出用multiplex PCRの開発と市販流通生マグロ肉への応用.

第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.6)

吉成知也, 竹田名菜水*, 小西良子*, 寺嶋淳: 4,15-ジ

アセトキシシルベノールのモディファイド化合物の汚染実態.

日本マイコトキシン学会第80回学術講演会 (2017.7.7)

* 麻布大学

古川智宏*, 吉成知也, 作田庄平*: MnSODによる細胞内スーパーオキシドレベルの調節とトリコセン生産の関係.

日本マイコトキシン学会第80回学術講演会 (2017.7.7)

* 東京大学

吉成知也: フザリウムトキシンの分析法の開発及び汚染実態調査に関する研究.

第113回日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

吉成知也: ポリオキシン類のアフラトキシン生産阻害活性.

日本マイコトキシン学会第81回学術講演会 (2018.1.11)

金炫呈*¹, 新井沙倉, 村瀬一典*², 渡辺孝康*¹, 黒木香澄*¹, 丸山史人*³, 遠矢真理*⁴, 鈴木詠律子*¹, 小方奈知子*¹, 中川一路*³, 大澤朗*⁵, 関崎勉*¹: 豚レンサ球菌 (*Streptococcus suis*) 感染ルート解明のための養豚場内細菌叢.

日本細菌学会第91回総会 (2018.3.27)

*¹ 東京大学

*² 宮崎大学

*³ 京都大学

*⁴ 国立国際医療研究センター

*⁵ 神戸大学

Kim H*¹, Arai S, Watanabe T*¹, Murase K*², Maruyama F*³, Tohya M*⁴, Suzuki E*¹, Ogata N*¹, Yamada R*¹, Dozaki S*¹, Vo TH*⁵, Nguyen TPB*⁵, Nguyen NH*⁵, Nakagawa I*³, Sekizaki T*¹: Comparison of *Streptococcus suis* in pig farms and the swine oral microbiota between Japan and Vietnam.

20th Lancefield International Symposium on Streptococci and Streptococcal Diseases (2017.10.16)

*¹ The University of Tokyo

*² University of Miyazaki

*³ Kyoto University

*⁴ National Center for Global Health and Medicine

*⁵ Nong Lam University

新井沙倉, 吉成知也, 寺嶋淳, 大西貴弘: *Kudoa hexapunctata* および *K. neothunni* 検出用 multiplex PCR の開発と市販流通生マグロ肉への応用.

日本食品微生物学会第38回学術集会 (2017.10.6)

Kim H^{*1}, Arai S, Watanabe T^{*1}, Tohya M^{*2}, Suzuki E^{*1}, Ogata N^{*1}, Yamada R^{*1}, Dozaki S^{*1}, Sekizaki T^{*1}: Comprehensive analysis for profiling the swine oral and environmental microbiota by pyrosequencing of 16S rRNA gene.

15th International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology (2017.7.17)

*¹ The University of Tokyo

*² National Center for Global Health and Medicine

小方奈知*, Yaqi Pan*, 渡辺孝康*, 新井沙倉, Hyunjung Kim*, 関崎勉*: プロイラー養鶏場におけるカンピロバクターの汚染状況と細菌叢組成調査.

日本獣医学会第160回学術集会 (2017.9.13)

* 東京大学

金炫呈^{*1}, 新井沙倉, 渡辺孝康^{*1}, 遠矢真理^{*2}, 鈴木詠律子^{*1}, 小方奈知子^{*1}, 山田良子^{*1}, 堂崎真一^{*1}, Tan Hung Vo^{*3}, Thi Phuong Binh Nguyen^{*3}, Ngoc Hai Nguyen^{*3}, 関崎勉^{*1}: 日本・ベトナムのブタ口腔内細菌叢解析と養豚場内 *Streptococcus suis* の分布調査.

日本獣医学会第160回学術集会 (2017.9.13)

*¹ 東京大学

*² 国立国際医療研究センター

*³ Nong Lam University

Hyunjung Kim^{*1}, 新井沙倉, 渡辺孝康^{*1}, 遠矢真理^{*2}, 鈴木詠律子^{*1}, 小方奈知子^{*1}, 山田良子^{*1}, 堂崎真一^{*1}, Tan Hung Vo^{*3}, Thi Phuong Binh^{*3}, Ngoc Hai Nguyen^{*3}, 大澤朗^{*4}, 関崎勉^{*1}: 日本, ベトナム養豚場内における豚レンサ球菌の分布とブタ口腔内細菌叢の比較.

レンサ球菌研究会49回集会 (2017.6.17)

*¹ 東京大学

*² 国立国際医療研究センター

*³ Nong Lam University

*⁴ 神戸大学

三澤隆史, 大岡伸通, 大庭誠^{*1}, 田中正一^{*1}, 内藤幹彦, 栗原正明^{*2}, 出水庸介: 親水性分子の細胞導入を志向した細胞膜高透過性ペプチドの開発.

第15回次世代を担う有機化学シンポジウム (2017.5.26)

*¹ 長崎大学医歯薬学総合研究科

*² 国際医療福祉大学薬学部

三澤隆史, 出水庸介, 栗原正明*: 二次構造制御に基づくVDR-コアクチベーター相互作用阻害剤の開発.

第69回ビタミン学会 (2017.6.10)

* 国際医療福祉大学薬学部

沖津航陽, 服部隆行, 三澤隆史, 栗原正明*, 内藤幹彦, 出水庸介: Hisタグ融合タンパク質分解誘導分子の設計と合成.

ケミカルバイオロジー第12回年会 (2017.6.8)

* 国際医療福祉大学薬学部

山下博子*, 三澤隆史, 栗原正明, 出水庸介: Development of helical cell penetrating peptides using non-proteinogenic amino acids.

Lindau Nobel Laureate Meeting. (2017.6.8)

* 東京大学分子細胞生物学研究所

三澤隆史, 山下博子^{*1}, 出水庸介, 服部隆行, 原矢佑樹, 加藤巧馬^{*2}, 大庭誠^{*2}, 加藤くみ子, 田中正一^{*2}, 合田幸広, 内藤幹彦, 栗原正明^{*3}: 二次構造制御に基づく高膜透過性ペプチドの開発.

第32回DDS学会 (2017.6.30)

*¹ 東京大学分子細胞生物学研究所

*² 長崎大学医歯薬学総合研究科

*³ 国際医療福祉大学薬学部

古場百合恵^{*1}, 池田光生^{*1}, 上田篤志^{*1}, 大庭誠^{*1}, 出水庸介, 栗原正明^{*2}, 田中正一^{*1}: キラルな三環状ジ置換アミノ酸とそのペプチドの合成.

第54回化学関連支部合同九州大会 (2017.7.1)

*¹ 長崎大学医歯薬学総合研究科

*² 国際医療福祉大学薬学部

出水庸介, 田中理恵, 袴田高志, 栗原正明*, 花尻 (木倉) 瑠理: コンピュータシミュレーションによる違法薬物の活性予測に関する研究.

日本法中毒学会第36回年会 (2017.7.6)

* 国際医療福祉大学薬学部

栗原正明*, 三澤隆史, 出水庸介: ジフェニルメタンを基本骨格とするリガンドの創製.

第3回Neo Vitamin D workshop (2017.8.)

* 国際医療福祉大学薬学部

小林寛幸*, 三澤隆史, 松野研司*, 出水庸介: カチオン性プロリン誘導体を含む細胞膜透過性ペプチドの開発.

第49回若手ペプチド夏の勉強会 (2017.8.6)

* 工学院大学

小林寛幸^{*1}, 三澤隆史, 大庭誠^{*2}, 田中正一^{*2}, 内藤幹彦, 松野研司^{*1}, 出水庸介: カチオン性プロリン誘導体を含む細胞膜透過性ペプチドの開発.

第47回複素環化学討論会 (2017.10.28)

^{*1} 工学院大学

^{*2} 長崎大学医歯薬学総合研究科

小林寛幸^{*1}, 三澤隆史, 大庭誠^{*2}, 田中正一^{*2}, 内藤幹彦, 松野研司^{*1}, 出水庸介: カチオン性プロリン誘導体を含む細胞膜透過性ペプチドの開発.

第34回メディシナルケミストリーシンポジウム (2017.10.28)

^{*1} 工学院大学

^{*2} 長崎大学医歯薬学総合研究科

大庭誠^{*1}, 古川かほり^{*1}, 遠山琴美^{*1}, George Ouma Opiyo^{*1}, 出水庸介, 栗原正明^{*2}, 土井光暢^{*3}, 田中正一^{*1}: 低pHに反応して二次構造を変化させるペプチドフォルダマーの開発.

第34回メディシナルケミストリーシンポジウム (2017.10.28)

^{*1} 長崎大学医歯薬学総合研究科

^{*2} 国際医療福祉大学薬学部

^{*3} 大阪薬科大学薬学部

木村康明^{*1}, 丸山豪斗^{*2}, 笈川涼太^{*1}, 早川真由^{*1}, 辻巖一郎, 阿部奈保子^{*1}, 松田彰^{*2}, 周東智^{*2}, 伊藤憲浩^{*3}, 阿部洋^{*1}: 低pHに反応して二次構造を変化させるペプチドフォルダマーの開発.

第34回メディシナルケミストリーシンポジウム (2017.10.28)

^{*1} 名古屋大学理学部

^{*2} 北海道大学薬学部

^{*3} 理化学研究所

杉山亨^{*1}, 小原美咲^{*1}, 桑田啓子^{*2}, 今村保忠^{*3}, 出水庸介, 栗原正明^{*4}, 橋高敦史^{*1}: 正電荷を帯びたグアニン誘導体をもつPNAの合成.

第34回メディシナルケミストリーシンポジウム (2017.10.28)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 名古屋大学トランスフォーメティブ生命分子研究所

^{*3} 工学院大学工学部

^{*4} 国際医療福祉大学薬学部

出水庸介, 三澤隆史, 栗原正明*: 二次構造制御に基づくペプチド創薬研究

第43回反応と合成の進歩シンポジウム (2017.11.6)

* 国際医療福祉大学薬学部

古場百合恵^{*1}, 池田光生^{*1}, 上田篤志^{*1}, 大庭誠^{*1}, 出水庸介, 土井光暢^{*2}, 田中正一^{*1}: Synthesis of chiral three-membered ring α , α -disubstituted α -amino acid and conformational analysis of its peptides.

第54回ペプチド討論会 (2017.11.20)

^{*1} 長崎大学医歯薬学総合研究科

^{*2} 大阪薬科大学薬学部

小林寛幸^{*1}, 三澤隆史, 大庭誠^{*2}, 田中正一^{*2}, 内藤幹彦, 松野研司^{*1}, 出水庸介: Development of cationic cell-penetrating peptides focused on their secondary structures.

第54回ペプチド討論会 (2017.11.20)

^{*1} 工学院大学

^{*2} 長崎大学医歯薬学総合研究科

三澤隆史, 出水庸介: Development of post

functionalizable oligopeptides as helical templates.

第54回ペプチド討論会 (2017.11.20)

杉山亨^{*1}, 小原美咲^{*1}, 桑田啓子^{*2}, 今村保忠^{*3}, 出水庸介, 栗原正明^{*4}, 橘高敦史^{*1}: Peptide nucleic acid possessing PreQ1 as a cationic analogue of guanine.

第54回ペプチド討論会 (2017.11.20)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所

^{*3} 工学院大学工学部

^{*4} 国際福祉医療大学薬学部

池田光生^{*1}, 古場百合恵^{*1}, 上田篤志^{*1}, 大庭誠^{*1}, 出水庸介, 栗原正明^{*2}, 田中正一^{*1}: 側鎖に不正中心を有する三環状ジ置換アミノ酸とそのペプチドの合成

第34回日本薬学会九州支部大会 (2017.11.25)

^{*1} 長崎大学医歯薬学総合研究科

^{*2} 国際医療福祉大学薬学部

古場百合恵^{*1}, 池田光生^{*1}, 上田篤志^{*1}, 大庭誠^{*1}, 出水庸介, 土井光暢^{*2}, 田中正一^{*1}: キラルな三環状ジ置換アミノ酸と含有ペプチドのコンフォメーション解析.

第138回日本薬学会年会 (2017.3.27)

^{*1} 長崎大学医歯薬学総合研究科

^{*2} 大阪薬科大学薬学部

江藤諒^{*1}, 大庭誠^{*1}, 上田篤志^{*1}, 土井光暢^{*2}, 出水庸介, 栗原正明^{*3}, 宇久翼^{*1}, 田中正一^{*1}: 側鎖にキラルな汗タールを有する4員環状ジ置換アミノ酸よりなるペプチドの二次構造解析.

第138回日本薬学会年会 (2017.3.27)

^{*1} 長崎大学医歯薬学総合研究科

^{*2} 大阪薬科大学薬学部

^{*3} 国際医療福祉大学薬学部

辻巖一郎, 小林寛幸*, 三澤隆史, 木下恵愛, 松野研司*, 出水庸介: 種々の側鎖官能基を有する環状a, a-ジ置換アミノ酸の合成と含有ペプチドの機能評価.

第138回日本薬学会年会 (2017.3.27)

* 工学院大学

三澤隆史, 諫田泰成, 出水庸介: 多様な官能基修飾を志

向したヘリカルテンプレートペプチドの開発.

第138回日本薬学会年会 (2017.3.27)

杉山亨^{*1}, 小原美咲^{*1}, 桑田啓子^{*2}, 今村保忠^{*3}, 出水庸介, 栗原正明^{*4}, 橘高敦史^{*1}: グアニンPNAモノマーの新規カチオン性アナログ.

第138回日本薬学会年会 (2017.3.27)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所

^{*3} 工学院大学工学部

^{*4} 国際福祉医療大学薬学部

曾我慶介, 近藤一成, 蜂須賀暁子: 食品中の放射性核種ポロニウム分析法検討.

第54回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

Soga K, Nishimaki-Mogami T, Kondo K, Hachisuka A: Practical improvement of tritium analysis in foods using a liquid scintillation counting after azeotropic distillation method.

Health Physics Society 62nd Annual meeting, (2017.7.10)

中村公亮, 石垣拓実, 権藤崇裕^{*1}, 菅野洋平^{*2}, 田中秀典^{*1}, 橋口正嗣^{*1}, 明石良^{*1}, 近藤一成: ダイズ品種間における発芽遺伝子の発現プロファイルの違い - 第1報 -.

第113回 日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

^{*1} 宮崎大学

^{*2} 北海道立衛生研究所

真野潤一^{*1}, 野間聡^{*2}, 菊池洋介^{*2}, 福留真一^{*2}, 佐藤恵美^{*3}, 瀧屋俊幸^{*3}, 田中智樹^{*3}, 布藤聡^{*4}, 曾我慶介, 中村公亮, 近藤一成, 高島令王奈^{*1}, 橋田和美^{*1}: デジタルPCRによる組換えトウモロコシ定量スクリーニング法のコーンスターチへの適用.

第113回 日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.9)

^{*1} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

^{*2} 日清製粉グループ本社

^{*3} 日本製粉

^{*4} ファスマック

菅野陽平*, 青塚圭二*, 坂田こずえ, 中村公亮, 鈴木

智宏*, 近藤一成: LAMP法を用いた有毒キノコの迅速判別法の構築 - 国内産クサウラベニタケ判別法の開発について -

2017年度 生命科学系学会合同年次大会 (2017.12.7)

* 北海道立衛生研究所

近藤一成, 加藤怜子, 中村公亮, 坂田こずえ: Apoptosis inducing factor (AIF) 核内作用解明のためのミトコンドリア局在性 AIF 変異体細胞の構築
2017年度生命科学系学会合同年次大会 (2017.12.6)

菅野陽平*, 坂田こずえ, 野口秋雄, 中村公亮, 青塚圭二*, 佐藤正幸*, 鈴木智宏*, 近藤一成: LAMP法を用いた有毒キノコ迅速判別法の構築.
第54回 全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

* 北海道立衛生研究所

藤井宇希, 中西希代子*¹, 中村公亮, 大槻崇*², 曾我慶介, 岸根雅宏*³, 高畠令王奈*³, 橋田和美*³, 川上浩*⁴, 穂山浩, 池田恵*¹, 近藤一成: コメ加工食品中のカルボキシメチルセルロースナトリウムがDNA抽出精製効率, 並びに, 遺伝子組換え食品検査へ与える影響について
第54回 全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.21)

*¹ 千葉県衛生研究所

*² 日本大学

*³ (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

*⁴ 共立女子大学

真野潤一*¹, 野間聡*², 菊池洋介*², 福留真一*², 川上裕之*³, 栗本洋一*³, 布藤聡*⁴, 中村公亮, 近藤一成, 高畠令王奈*¹, 橋田和美*¹: デジタルPCRを利用した遺伝子組換えトウモロコシ定量分析法の開発とその性能評価

AOAC INTERNATIONAL JAPAN SECTION 第20回記念年次大会 (2017.7.20)

*¹ (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

*² 日清製粉グループ本社

*³ 日本製粉

*⁴ ファスマック

中村公亮, 石垣拓実, 坂田こずえ, 加藤怜子, 高崎一

人*, 布藤聡*, 近藤一成: 食品中のゲノムDNAの1塩基変異を検知する方法の開発と性能比較
日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.1)

* ファスマック

石垣拓実, 中村公亮, 近藤一成: 遺伝子組換えサケ (AquAdvantage salmon) を対象とした系統特異的検知法の開発
日本食品化学学会 第23回総会・学術大会 (2017.6.1)

為広紀正, 安達玲子, 中村政志*^{1,2}, 竹尾直子*³, 山口正雄*⁴, 中村亮介, 永井晶代*¹, 矢上晶子*¹, 松永佳世子*¹, 近藤一成: EXiLE法によるコチニールアレルギー患者IgEの抗原性解析
第66回日本アレルギー学会学術大会 (2017.6.16)

*¹ 藤田保健衛生大学

*² ホーユー

*³ 大分大学

*⁴ 帝京大学

為広紀正, 安達玲子, 木村美恵, 酒井信夫, 崔紅艶, 最上 (西巻) 知子, 近藤一成: ナノ酸化チタンの結晶構造の違いが抗原の経皮感作性に与える影響
第43回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

Adachi R, Tamehiro N, Sakai S, Kimura Y, Cui H, Nishimaki-Mogami T, Kondo K: Enhancement of transdermal protein sensitization by titanium dioxide nanomaterials.

57th SOT Annual Meeting & ToxExpo (2018.3.15)

坂田こずえ, 野口秋雄, 加藤怜子, 篠崎淳一*¹, 紺野勝弘*², 近藤一成: 有毒植物のリアルタイムPCRを用いた検知法について.

第113回 日本食品衛生学会学術講演会 (2017.11.10)

*¹ 昭和薬科大学

*² 富山大学

坂田こずえ, 野口秋雄, 加藤怜子, 篠崎淳一*¹, 紺野勝弘*², 近藤一成: リアルタイムPCR法による有毒植物の検出法開発.

第54回 全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.22)

*¹ 昭和薬科大学

*2 富山大学

青木良子, 前田初代, 鈴木菜穂, 丸野有利子: 「NIHS医薬品安全性情報」として収集した15年間のトピックスから

～安全性問題の発生から決着までを振り返る～.

日本薬学会 第138年会 (2018.3.27)

窪田邦宏, 天沼宏, 桜井芳明*1, 小松真由美*1, 玉井清子*2, 坂上武文*2, 滝将太*2, 霜島正浩*3, 山下知成*4, 熊谷優子*5, 春日文子*6: 全国を対象として新たに実施した下痢症に関する電話住民調査と, その結果を利用したカンピロバクター, サルモネラ, 腸炎ビブリオに起因する食中毒被害実態の推定 (2006~2015年).

第38回日本食品微生物学会学術総会 (2017.10.06)

*1 宮城県医師会健康センター

*2 (株) ミロクメディカルラボラトリー

*3 (株) ビー・エム・エル

*4 LSIメディエンス (株)

*5 国立感染症研究所

*6 国立環境研究所

窪田邦宏, 田村克, 天沼宏, 今川正紀*1, 中地佐知江*1, 溝口嘉範*2, 熊谷優子*3: 全国における食品への異物混入被害実態の把握.

第113回食品衛生学会学術講演会 (2017.11.09)

日本食品衛生学会学術集会

*1 さいたま市保健福祉局保健部,

*2 岡山市保健所

*3 国立感染症研究所

登田美桜: ヒスタミン食中毒に関する国内外の動向.

日本食品衛生学会平成29年度総会シンポジウム (2017.6.9)

登田美桜, 畝山智香子: ヒスタミン食中毒の国内外における状況と規制.

日本薬学会第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

登田美桜: 海外におけるいわゆる「健康食品」の状況について.

日本薬学会第138年会シンポジウム (2018.3.28)

Saito Y: Updates on Microsampling and Biomarkers.

11th Workshop on Recent Issues in Bioanalysis (2017.4.5)

秋山晴代*1, 鈴木麻希*1, 中村亮介, 田中裕*2, 甲斐茂美*1, 栗原和幸*2, 宮澤真紀*1: EXiLE法を用いた経口免疫療法実施時における減感作状態の評価法の検討 (第2報).

第66回日本アレルギー学会学術大会 (2017.6.16)

*1 神奈川県衛生研究所

*2 神奈川県立こども医療センター

齊藤公亮, 斎藤嘉朗: テトラサイクリンによる脂肪肝のメカニズム解析及び血漿中バイオマーカー探索.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.11)

齊藤公亮, 斎藤嘉朗: バルプロ酸による脂肪肝のメカニズム解析及び血漿中バイオマーカー探索.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.12)

中村亮介, 荒川憲昭, 前川京子*, 斎藤嘉朗: 血漿プロテオームへのバッフィーコートコンタミネーションの影響.

日本プロテオーム学会2017年大会 (JHUPPO第15回大会) (2017.7.27)

* 同志社女子大学

Nakamura R: Pharmacogenomics based personalized medicine: implementation & obstacles — Pharmacogenomics-based research for preventing severe adverse drug reactions —.

1st CICM International Conference (2017.8.28)

Imatoh T, Sai K, Hori K*, Segawa K, Kimura M*, Kawakami J*, Saito Y: The combination of selective serotonin reuptake inhibitors and statins increases the risk of hyperglycemia in Japanese patients: a case cross-over study.

33rd International Conference on Pharmacoepidemiology & Therapeutic Risk Management (2017.8.29)

* Hamamatsu University School of Medicine

Watanabe C*1, Okiyama Y*1, Takaya D*1, Nagase S*1, Kamisaka K*1, Watanabe H*2, Fukuzawa K*3, Honma T*1: Construction of IFIE-database with semi-

automated FMO calculation protocol.

The 12th Triennial Congress of the World Association of Theoretical and Computational Chemists (WATOC) (2017.8.31)

^{*1} RIKEN Center for Life Science Technologies

^{*2} Kobe University Education Center on Computational Science and Engineering

^{*3} Hoshi University School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences

中村亮介, 荒川憲昭, 前川京子*, 斎藤嘉朗: 血漿の試料調製条件が免疫系タンパク質の測定値に及ぼす影響について.

第24回日本免疫毒性学会学術年会 (2017.9.4)

* 同志社女子大学

岡本 (内田) 好海, 中村亮介, 松永佳世子^{*1}, 相原道子^{*2}, 斎藤嘉朗: 日本人の重症眼障害併発性風邪薬誘発性ステーブンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症に関連する遺伝子多型の解析

第24回日本免疫毒性学会学術年会 (2017.9.4)

^{*1} 藤田保健衛生大学

^{*2} 横浜市立大学

Saito Y, Ishii-Watabe A: Regulatory Perspectives—Differences between Regional Guidances

AAPS Workshop: Towards Global Harmonization of Bioanalytical Method Validation (2017.9.13)

今任拓也, 佐井君江, 深澤ちさと*, 日野村靖*, 瀬川勝智, 斎藤嘉朗: JADERを用いた感染症と重篤副作用との関連に関する薬剤疫学研究: 薬効別解析.

第3回 次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

* JAPIC

Sakaguchi K*, Okiyama Y, Tanaka S*: In silico modeling of PAX8-PPAR γ fusion protein with unknown three-dimensional structure in follicular thyroid adenoma and carcinoma.

Chem-Bio Informatics Society (CBI) Annual Meeting 2017 (2017.10.3-5)

* Kobe University Graduate School of System Informatics

Watanabe C^{*1}, Takaya D^{*1}, Nagase S^{*1}, Kamisaka K^{*1}, Okiyama Y^{*1}, Fukuzawa K^{*2}, Honma T^{*1}: Construction of FMO IFIE-database.

Chem-Bio Informatics Society (CBI) Annual Meeting 2017 (2017.10.3-5)

^{*1} RIKEN Center for Life Science Technologies

^{*2} Hoshi University School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences

Yagi Y^{*1}, Kimura T^{*2}, Watanabe C^{*3}, Okiyama Y, Tanaka S^{*4}, Honma T^{*3}, Fukuzawa K^{*5}: The role of water molecules in protein-ligand binding: fragment molecular orbital calculations on the complexes of renin with its inhibitors.

Chem-Bio Informatics Society (CBI) Annual Meeting 2017 (2017.10.3-5)

^{*1} Okayama University of Science Department of Electrical and Electronic Engineering

^{*2} Konan Chemical Industry Co., Ltd.

^{*3} RIKEN Center for Life Science Technologies

^{*4} Kobe University Graduate School of System Informatics

^{*5} Hoshi University School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences

斎藤嘉朗, 齊藤公亮, 荒川憲昭, 中村亮介: 副作用回避へのバイオマーカー情報の応用と課題
第55回日本癌治療学会学術集会 (2017.10.20)

今任拓也, 佐井君江, 堀雄史^{*1}, 柄山正人^{*2}, 古橋一樹^{*2}, 木村通男^{*2}, 川上純一^{*1}, 斎藤嘉朗: 医療情報データベースを用いたデノスマブによる低カルシウム血症の検出方法の検討およびそのリスク要因に関する薬剤疫学研究.

第23回日本薬剤疫学会学術総会 (2017.11.19)

^{*1} 浜松医科大 薬剤部

^{*2} 浜松医科大 医学部

齊藤公亮, 斎藤嘉朗: 血清リポドミクスにおける人種差.
日本薬物動態学会第32回年会 (2017.11.29)

斎藤嘉朗, 平塚真弘^{*1}, 頭金正博^{*2}: 革新的医薬品等実用化促進事業について.

日本薬物動態学会第32回年会 (2017.12.1)

^{*1} 東北大学

^{*2} 名古屋市立大学

佐井君江: 国際共同治験データを用いた医薬品の有効性に関するアジア諸地域の民族差解析.

第38回日本臨床薬理学会学術総会 (2017.12.7)

斎藤嘉朗, 岡本 (内田) 好海, 中村亮介: バイオ医薬品における免疫原性の臨床影響総論

第38回日本臨床薬理学会学術総会 (2017.12.7)

齊藤公亮, 斎藤嘉朗: 尿中脂質レベルの性差・年齢差・人種差.

第38回日本臨床薬理学会学術総会 (2017.12.9)

斎藤嘉朗, 齊藤公亮, 荒川憲昭: オミックス解析による副作用バイオマーカー開発の進展

第38回日本臨床薬理学会学術総会 (2017.12.9)

Nakamura R, Okamoto-Uchida Y, Kodama S, Ueta M*, Kinoshita S*, Saito Y: Analyses of physicochemical interaction of a drug with its risk HLA type.

3rd International Symposium of Stevens-Johnson syndrome (2018.2.4)

* Kyoto Prefectural University of Medicine

Okamoto-Uchida Y, Nakamura R, Matsunaga K^{*1}, Aihara M^{*2}, Saito Y: Risk Factors for Stevens-Johnson Syndrome and Toxic Epidermal Necrolysis with Severe Ocular Involvements

3rd International Symposium of Stevens-Johnson syndrome (2018.2.4)

^{*1} Fujita Health University

^{*2} Yokohama City University

斎藤嘉朗: ICH S3A マイクロサンプリングに関するQ&Aについて

第9回JBF (バイオアナリスフォーラム) シンポジウム (2018.2.6)

Komeiji Y^{*1}, Okiyama Y, Mochizuki Y^{*2,3}, Fukuzawa

K^{*3,4}: The interaction between a single-stranded DNA and binding protein viewed by the fragment molecular orbital (FMO) method.

The 65th Japan Society of Applied Physics (JSAP) Spring Meeting, 2018 (2018.3.18)

^{*1} National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

^{*2} Rikkyo University Faculty of Science

^{*3} The University of Tokyo Institute of Industrial Science

^{*4} Hoshi University School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences

秋山晴代^{*1}, 西村光平^{*2}, 中村亮介, 堀雅之^{*3}, 甲斐茂美^{*4}, 松藤寛^{*2}, 根来孝治^{*1}, 宮澤真紀^{*4}, 松原康策^{*3}: 経口免疫寛容誘導時における減感作状態のEXiLE法を用いた評価.

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

^{*1} 帝京平成大学

^{*2} 日本大学

^{*3} 西神戸医療センター

^{*4} 神奈川県衛生研究所

中村亮介, 鹿庭なほ子, 斎藤嘉朗, JSAR Research Group: JSAR Research Groupによる重症薬疹ゲノムバイオマーカー研究を振り返る.

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

斎藤嘉朗: 健康食品に関する現状と医薬品との相互作用, 有害事象事例

日本薬学会第138年会 (2018.3.28)

平林容子, 壺井功^{*1}, 楠洋一郎^{*2}, 相澤信^{*1}: 2 Gyの単回全身照射後に未分化造血前駆細胞分画に局限して遷延する造血障害と加齢影響: 細胞動態の解析.

第106回日本病理学会総会 (2017.4.28)

^{*1} 日本大学医学部

^{*2} 放射線影響研究所

Kitajima S, Aisaki K, Kanno J*: Progress of Percellome Toxicogenomics Project, and the use of Garuda Platform as a tool for Open Toxicology.

OpenTox Asia Conference 2017 (2016.5.17)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Yasuhiko Y, Hirabayashi Y, Ono R: Tbx6 regulates gene expression via binding sites in Long Terminal Repeats (LTR) of endogenous retrovirus during mouse embryogenesis.

18th International Congress of Developmental Biology (2017.6.20)

Ono R, Yasuhiko Y, Aisaki K, Hirabayashi Y, Kitajima S, Kanno J*: Double strand break repair by capture of unintentional sequences and a novel mechanism of genome evolution.

4th JSEV Annual Meeting (2017.7.11)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

北嶋聡：シックハウス症候群レベルの極低濃度ばく露の際の海馬におけるPercellome法による吸入トキシコゲノミクスと遅発性の情動認知行動影響解析。

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.12)

平林容子：シンポジウム5「レギュラトリーサイエンス」バイオ医薬品との比較における核酸医薬品の非臨床安全性評価の課題

日本核酸医薬学会 第3回年会 (2017.7.14)

平林容子, 壺井功^{*1}, 倉田和直^{*2}, 楠陽一郎^{*3}. 単回全身照射後の回復性増生における加齢影響：BUUV法による造血前駆細胞特異的なin vivo細胞動態解析。

第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.28)

^{*1} 日本大学医学部

^{*2} 東京都健康長寿医療センター研究所

^{*3} 放射線影響研究所

Kanno J*, Kitajima S, Aisaki K: Interferon signaling chemicals identified by Percellome Toxicogenomics Project.

EUROTOX 2017 (2017.9.13)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Kanno J*, Kitajima S, Aisaki K: Percellome

Toxicogenomics for the mechanistic prediction of chemical toxicity.

the 8th National Congress of Toxicology (VIII COST) (2017.10.16)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Hirabayashi Y: Japanese Initiative to Develop a White Paper for Oligonucleotide Therapeutics, Luncheon presentation: Japanese perspective on the preclinical safety assessment of oligonucleotide therapeutics

DIA Oligonucleotide-based Therapeutics Conference (2017.10.26)

Takahashi Y, Yasuhiko Y, Ikeno E, Kanno J and Hirabayashi Y: Abnormality in scapula formation in *open brain 1*, a mouse mutant with defects in Shh signaling pathway.

(Shhシグナル伝達経路に欠損をもつ変異体マウス*open brain 1*における肩甲骨の形成異常)

第40回日本分子生物学会年会 (2017.12.6)

Ono R, Tano K, Yasuda S, Yasuhiko Y, Aisaki K, Kitajima S, Kanno J*, Sato Y and Hirabayashi Y: An emerging new possible risk of genome editing for human gene therapy.

Keystone Symposia Conference (2018.1.30)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Ono R, Yasuhiko Y, Aisaki K, Kitajima S, Kanno J* and Hirabayashi Y: Double Strand Break Repair by Capture of Unintentional Sequences, an Emerging New Possible Risk for the Leading Edge Technology.

57th Annual Meeting of Society of Toxicology (2018.3.12)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Taquahashi Y, Morita K, Tsuji M, Hirabayashi Y, Hirose A, Aiso S*, Kanno J*: A short-term whole-body inhalation study of potassium titanate whisker in mice with an improved dispersion and inhalation system

57th Annual Meeting of the Society of Toxicology

(2018.3.12)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Kanno J*, Kitajima S, Aisaki K: Interferon signaling chemical, pentachlorophenol, identified by Percellome Toxicogenomics Project.

57th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2018.3.13)

* Japan Organization of Occupational Health and Safety

Kitajima S, Tanemura K^{*1}, Kanno J^{*2}: Neurobehavioral toxicity at adult period induced by neonicotinoid pesticides exposure at juvenile period of male mice.

57th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2018) (2018.3.14)

^{*1} Tohoku University

^{*2} Japan Organization of Occupational Health and Safety

平林容子, 小野竜一: シンポジウム22 再生医療分野における品質・安全性評価法の最前線, ゲノム編集技術の安全性評価

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.22)

諫田泰成: ヒトiPS細胞技術を活用した薬理試験法の開発と国際標準化

AMEDシンポジウム2017 (2017.5.30)

黒川洵子^{*1}, 芦原貴司^{*2}, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた抗不整脈薬の評価

国際心血管薬物療法学会日本部会第三回J-ISCP学術集会 (2017.6.18)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 滋賀医大

諫田泰成: ヒトiPS細胞の実用化に向けた取り組み

第136回日本薬理学会関東部会シンポジウム (2017.7.8)

児玉昌美^{*1}, 木村麗子^{*1}, 酒徳航平^{*2}, 岩崎菜々美^{*2}, 古谷和春^{*3}, 永森收志^{*3}, 芦原貴司^{*4}, 古川哲史^{*1}, 関野祐子^{*5}, 諫田泰成, 黒川洵子^{*2}: ヒトiPS細胞由来心

筋の活動電位形成に関連する遺伝子の定量的発現解析
第136回日本薬理学会関東部会 (2017.7.8)

^{*1} 東京医科歯科大学

^{*2} 静岡県立大学

^{*3} 大阪大学

^{*4} 滋賀県立大学

^{*5} 東京大学

諫田泰成: ヒトiPS細胞のミトコンドリア機能に基づく発達神経毒性評価系の構築

第44回日本毒性学会シンポジウム (2017.7.11)

笛田由紀子^{*1}, 石田尾徹^{*1}, 吉田祥子^{*2}, 保利一^{*1}, 諫田泰成, 上野晋^{*1}: 産業化学物質 1-ブロモプロパンの遅発性発達神経毒性評価

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.12)

^{*1} 産業医大

^{*2} 豊橋技術科学大学

岩本早起^{*1}, 富田達郎^{*1}, 中嶋さりい^{*1}, 笛田由紀子^{*2}, 上野晋^{*2}, 関野祐子^{*3}, R Maev^{*1}, 穂積直裕^{*1}, 吉田祥子^{*1}: 成熟した自閉症モデルラットにおける小脳構造の成熟依存的变化

第40回日本神経科学大会 (2017.7.21)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} 産業医大

^{*3} 東京大学

西川ちひろ^{*1}, 高橋信人^{*1}, 馬淵光^{*1}, 最上(重本)由香里, 佐藤薫, 関野祐子^{*2}, 穂積直裕^{*1}, 吉田祥子^{*1}: 培養ニューロスフィア細胞の神経分化および伝達物質放出の可視化

第40回日本神経科学大会 (2017.7.21)

^{*1} 豊橋技術科学大学産業医大

^{*2} 東京大学

笛田由紀子^{*1}, 石田尾徹^{*1}, 吉田祥子^{*2}, 関野祐子^{*3}, 諫田泰成, 保利一^{*1}, 上野晋^{*1}: 化学物質の胎生期曝露がもたらす発達神経毒性の評価 - 授乳期ラット海馬スライスを用いた神経細胞の応答特性の検討

第6回日本DOHaD学会学術集会 (2017.8.26)

^{*1} 産業医大

*² 豊橋技術科学大学

*³ 東京大学

諫田 泰成 : Development of developmental neurotoxicity testing using human iPS cells

第60回日本神経化学学会大会 (2017.9.7)

Miyamoto K^{*1}, Mikami T^{*1}, Fueta Y^{*2}, Ueno S^{*2}, Sekino Y^{*3}, Kanda Y, Hozumi N^{*1}, Yoshida S^{*1}:

Alteration of GABA release in developing cerebellar cortex of VPA-administrated autistic model rat

第60回日本神経化学学会大会 (2017.9.8)

*¹ 豊橋技術科学大学

*² 産業医大

*³ 東京大学

Mikami T^{*1}, Fueta Y^{*2}, Ueno S^{*2}, Sekino Y^{*3}, Kanda Y, Hozumi N^{*1}, Yoshida S^{*1}: Alteration of neurotransmitter release in cerebellar cortex of Valproate-administrated Autistic model rat

第60回日本神経化学学会大会 (2017.9.8)

*¹ 豊橋技術科学大学

*² 産業医大

*³ 東京大学

Sato S^{*1}, Fueta Y^{*2}, Ueno S^{*2}, Sekino Y^{*3}, Kanda Y, Yoshida S^{*1}: Alteration of neural circuit with autism-inducing drug administration in developing rat cerebellum

第60回日本神経化学学会大会 (2017.9.8)

*¹ 豊橋技術科学大学

*² 産業医大

*³ 東京大学

Ikai K^{*1}, Nakajima S^{*1}, Tomida T^{*1}, Ueno S^{*2}, Sekino Y^{*3}, Kanda Y, Yoshida S^{*1}: Recovery effects from chemical-induced autistic degeneration with bumetanide or oxytocin in developing rat cerebellum

第60回日本神経化学学会大会 (2017.9.8)

*¹ 豊橋技術科学大学

*² 産業医大

*³ 東京大学

諫田 泰成 : Drug-Induced Proarrhythmia Risk Assessment Using Human iPS Cell-Derived Cardiomyocytes

第10回アジア太平洋不整脈学会学術集会 (APHRS2017)

第64回日本不整脈心電学会学術大会 (JHRS2017) 合同学術集会 (2017.9.16)

Yoshida Y^{*1}, Fueta Y^{*2}, Ueno S^{*2}, Hozumi N^{*1}, Sekino Y^{*3}, Kanda Y: Structural and functional alteration of developing rat cerebellum by administration of autism-inducing drugs

10th DOHaD world congress (2017.10.16)

*¹ 豊橋技術科学大学

*² 産業医大

*³ 東京大学

Yoshida S^{*1}, Ikai K^{*1}, Nakajima S^{*1}, Fueta Y^{*2}, Ueno S^{*2}, Hozumi N^{*1}, Sekino Y^{*3}, Kanda Y: Recovery effects with bumetanide or oxytocin administration in developing cerebellar cortex of drug-induced autistic model rat

Neuroscience 2017 (2017.11.15)

*¹ 豊橋技術科学大学

*² 産業医大

*³ 東京大学

鈴木結衣^{*1}, 佐野優介^{*1}, 高橋健太郎^{*1}, 児玉昌美^{*2}, 諫田泰成, 山口賢彦^{*1}, 古川哲史^{*2}, 黒川洵子^{*1}: MVP法を用いたヒトiPS細胞由来分化心筋細胞の心臓部位特異的な薬効評価技術の開発

第137回日本薬理学会関東部会 (2017.10.26)

*¹ 静岡県立大学

*² 東京医科歯科大学

諫田泰成 : in vitro試験法におけるGood Cell Culture Practice (GCCP) の考え方

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.25)

諫田泰成 : Application of human iPS cells for neurotoxicity assessment

第38回日本臨床薬理学会シンポジウム (2017.12.7)

諫田泰成 : ヒトiPS細胞を用いた新規試験法の開発と国際標準化戦略

AMED第3回レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2018.2.5)

諫田泰成: Development of cardiotoxicity test method using iPS cell-derived cardiomyocytes

第5回心臓安全性に関するシンクタンクミーティング
2018合同公開シンポジウム (2018.2.8)

鈴木結衣^{*1}, 佐野優介^{*1}, 高橋健太郎^{*1}, 児玉昌美^{*2}, 諫田泰成, 山口賢彦^{*1}, 早川智広^{*3}, 松居恵理子^{*3}, 古川哲史^{*2}, 黒川洵子^{*1}: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた新規薬効および毒性評価法の構築へのセルモーシオンイメージングの応用

日本安全性薬理研究会 (2018.2.10)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 東京医科歯科大学

^{*3} ソニー

Kanda Y, Hirata N, Yamada S, Yamazaki D: Translational Control of Cancer Stem Cells

62nd Annual Meeting of Biophysical Society (2018.2.21)

諫田泰成: ヒトiPS細胞技術を活用した安全性評価法における分化細胞の品質の考え方

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.22)

諫田泰成: ヒトiPS細胞を利用した神経毒性評価の新たな展開と国際動向

日本薬学会第138年会シンポジウム (2018.3.26)

Yamada S, Yamazaki D, Kanda Y: Mfn1-mediated neural differentiation in human induced pluripotent stem cells

2018 Keystone Symposia Conference: Mitochondrial Biology (2018.3.27)

鈴木結衣^{*1}, 佐野優介^{*1}, 高橋健太郎^{*1}, 児玉昌美^{*2}, 諫田泰成, 山口賢彦^{*1}, 早川智広^{*3}, 松居恵理子^{*3}, 古川哲史^{*2}, 黒川洵子^{*1}: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた新規薬効および毒性評価法の構築へのセルモーシオンイメージングの応用

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 東京医科歯科大学

^{*3} ソニー

Tiong TKS^{*1}, Nishikawa C^{*1}, Fueta Y^{*2}, Ueno S^{*2}, Sekino Y^{*3}, Kanda Y, Nomura Y^{*4}, Yoshida S^{*1}: Altered gut microbiota observed in valproate-administrated autistic model rats

第95回日本生理学会大会 (2018.3.28)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} 産業医大

^{*3} 東京大学

^{*4} Queens College

西川ちひろ^{*1}, 佐藤薫, 関野祐子^{*2}, 穂積直裕^{*1}, 諫田泰成, 吉田祥子^{*1}: グリアまたはVPA処理したグリアの調整培地中での培養ニューロスフィア細胞の異なる分化

第95回日本生理学会大会 (2018.3.28)

^{*1} 豊橋技術科学大学

^{*2} 東京大学

黒川洵子^{*1}, 芦原貴司^{*2}, 古谷和春^{*3}, 永森収志^{*3}, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞の電気生理学的成熟化に対する統合的アプローチ

第95回日本生理学会大会シンポジウム (2018.3.30)

^{*1} 静岡県立大学

^{*2} 滋賀医大

^{*3} 大阪大学

石田誠一: バイオバンクの活用と創薬の変革.

第24回クロマトグラフィーシンポジウム (2017.6.14)

Yamazaki D, Sekino Y^{*}, Kanda Y: International cooperation toward ICH S7 B/E14 revision: JiCSA update.

The 3rd Chinese Safety Pharmacology Committee (CSPS) annual meeting (2017. 5. 26)

^{*} Graduate School of Pharmaceutical Sciences, University of Tokyo

黒田幸恵, 金秀良, 金木達郎^{*1}, 堀川正人^{*1}, 関野祐子^{*2}, 石田誠一: FCEM培地による浮遊培養は細胞の凍結融解ダメージを改善する.

第24回HAB研究機構学術年会 (2017.6.1)

^{*1} 日産化学

*² 東京大学

山崎ちひろ*, 吉実康美*, 柳愛美*, 小川裕子*, 石田雄二*, 石田誠一, 立野知世*: ヒト肝細胞キメラマウス (PXBマウス[®]) 由来新鮮ヒト肝細胞PXB-cells[®]を用いたin vitro P450酵素誘導試験系の検討.
第24回HAB研究機構学術年会 (2017.6.1)

* フェニックスバイオ

石田誠一: バイオバンクの活用と創薬の変革.
第24回クロマトグラフィーシンポジウム (2017.6.14)

平田尚也*, 山田茂*, 諫田泰成: リゾホスファチジン酸によるトリプルネガティブ型乳癌幹細胞の増殖機構.
第136回日本薬理学会関東部会 (2017.7.8)

* 日本薬理評価機構

山田茂*, 山崎大樹, 諫田泰成: ヒトiPS細胞の神経分化に対するクロルピリホス曝露の影響.
第136回日本薬理学会関東部会 (2017.7.8)

* 日本薬理評価機構

Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Kanda Y, Sato K: Microglia Promote the Functional Maturation of Blood-Brain Barrier by Regulating Cytokine/Chemokine Concentrations.
GLIA2017 (2017. 7. 9)

鈴木郁郎*¹, 宮本憲優*², 白川誉史*³, 近藤卓也*⁴, 岡村愛*³, 佐藤薫: ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた微小電極アレイシステムによる痙攣・てんかん評価法確立の試み (第2報) - CSAHi: 神経チーム.
第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

*¹ 東北工業大学

*² (株) エーザイ

*³ アステラス製薬 (株)

*⁴ 大鵬薬品工業 (株)

山崎ちひろ*, 吉実康美*, 柳愛美*, 小川裕子*, 石田雄二*, 石田誠一, 立野知世*: ヒト肝細胞キメラマウス (PXBマウス[®]) 由来新鮮ヒト肝細胞PXB-cells[®]を用いた薬物代謝酵素誘導試験系の検討.
第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

* フェニックスバイオ

山田茂*, 山崎大樹, 諫田泰成: ヒトiPS細胞の神経分化に対するトリプチルスズの影響.
第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.11)

* 日本薬理評価機構

山崎大樹, 後藤和愛, 小金澤紀子*¹, 花村健次*¹, 白尾智明*¹, 関野祐子*², 諫田泰成: 海馬ニューロンを用いた神経活動ネットワークによる評価法の開発.
第44回日本毒性学会 (2017.7.12)

*¹ 群馬大学医学部

*² 東京大学

金秀良, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 内田翔子, 関野祐子, Jane Synnergren*, 石田誠一: ヒト人工多能性幹細胞由来肝細胞のゲノムのメチル化及び遺伝子発現の網羅的な解析.
第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.12)

* シェブデ大学

Irie T, Trussell LO *: Double nanodomain coupling of calcium channels, ryanodine receptors and BK channels controls generation of burst firing.
Neuroscience 2017 (2017.7.22)

* Oregon Health and Science University

Yamazaki D, Goto K, Koganezawa N*¹, Hanamura K*¹, Shirao T*¹, Sekino Y*², Kanda Y: Development the assay of spontaneous activity in rat hippocampal neural networks.
10th world congress, Alternative and animal use in the life science (2017.8.21)

*¹ Gunma University Graduate School of Medicine

*² Graduate School of Pharmaceutical Sciences, University of Tokyo

Ishida S, Horiuchi S, Hara M*¹, Kuroda Y, Uchida S, Kim S-R, Matsuura T*², Morel F*³, Corlu A*³, Kojima S*¹: Modulation of hepatic progenitor and stellate cell fate by VECCELL 3-D insert.

The 10th World Congress on Alternatives and Animals in the Life Sciences (WC10). (2017.8.21-23)

*¹ RIKEN

*² The Jikei University

*³ INSERM

Matsushita T^{*1}, Mizutami T^{*1}, Nagasaki H^{*1}, Ishii T^{*1}, Komizu Y^{*1}, Iwasa T^{*2}, Kawabe M^{*2}, Ishida S: Maintenance of viability and functional expression of cryopreserved human hepatocytes using silicate fiber-based three-dimensional scaffold.

The 10th World Congress on Alternatives and Animals in the Life Sciences (WC10). (2017.8.21-23)

*¹ 崇城大学

*² 日本バイリーン

Takahashi K, Ohara H^{*}, Kasahara N^{*}, Takase M^{*}, Chujo K, Kanda Y, Sekino Y, Tanabe M^{*}, Sato K: The neurosphere culture period affects the yield of neurons after differentiation.

第60回日本神経化学大会 (2017.9.7)

* 北里大学

山田茂^{*}, 山崎大樹, 諫田泰成: ヒトiPS細胞の神経分化能を指標にした発達神経毒性評価系の開発.

第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

* 日本薬理評価機構

山崎大樹, 北口隆^{*1}, 石村正和^{*2}, 谷口智彦^{*3}, 山西充洋^{*4}, 佐治大介^{*5}, 高橋越史^{*6}, 小口正夫^{*7}, 森山友太^{*1}, 前田早苗^{*3}, 宮本香織^{*6}, 森村馨^{*6}, 大中浩貴^{*5}, 田澁弘行^{*7}, 関野祐子^{*8}, 宮本憲優^{*3}, 諫田泰成: ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた高精度な薬剤誘発性催不整脈リスク予測法の開発.

第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

*¹ 持田製薬 (株)

*² 科研製薬 (株)

*³ エーザイ (株)

*⁴ 杏林製薬 (株)

*⁵ 日精バイリス (株)

*⁶ 富山化学工業 (株)

*⁷ イナリサーチ (株)

*⁸ 東京大学

Takahashi K, Ohara H^{*}, Kasahara N^{*}, Takase M^{*}, Chujo K, Kanda Y, Sekino Y, Tanabe M^{*}, Sato K: What should be noted when you use neurospheres in the pharmacological experiments-The neurosphere culture period affects the yield of neurons after differentiation. SPS2017 (2017.9.24)

* Kitasato University

Yamada S, Yamazaki D, Kanda Y: Development of human iPS cell-based platform for developmental neurotoxicity testing.

Safety Pharmacology Society 17th Annual Meeting (2017.9.25-26)

Yamazaki D, Kitaguchi T^{*1}, Ishimura M^{*2}, Taniguchi T^{*3}, Yamanishi A^{*4}, Saji D^{*5}, Takahashi E^{*6}, Oguchi M^{*7}, Moriyama Y^{*1}, Maeda S^{*3}, Miyamoto K^{*6}, Morimura K^{*6}, Ohnaka H^{*5}, Tashibu H^{*7}, Sekino Y^{*8}, Miyamoto N^{*3}, Kanda Y: Drug-induced torsadogenic risk assessment using human iPS cell-derived cardiomyocytes.

Safety Pharmacology Society 17th Annual Meeting (2017.9.25-26)

*¹ Mochida Pharmaceutical Co. Ltd.

*² Kaken Pharmaceutical Co. Ltd.

*³ Eisai Co. Ltd.

*⁴ Kyorin Pharmaceutical Co. Ltd.

*⁵ NISSEI BILIS Co. Ltd.

*⁶ Toyama Chemical Co. Ltd.

*⁷ Ina Research Inc.

*⁸ Graduate School of Pharmaceutical Sciences, University of Tokyo

Seiichi Ishida, Su-Ryang Kim, Shinichiro Horiuchi, Yukie Kuroda, Shoko Uchida, Jane Synnergren^{*}, Yasunari Kanda: Genome-wide analysis of DNA methylation and gene expression patterns in human iPSC-derived hepatocytes.

CBI学会2017年大会 (2017.10.3-5)

* シェブデ大学

平田尚也^{*1}, 山田茂^{*1}, 中林一彦^{*2}, 秦健一郎^{*2}, 諫田泰成: リボソームプロファイル法を用いた乳癌幹細胞の増殖制御因子の探索.

第136回日本薬理学会関東部会 (2017.10.28)

^{*1} 日本薬理評価機構

^{*2} (国研) 成育医療研究センター

石田誠一: Organs-on-a-chipの創薬応用への期待と基盤整備.

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.23)

杉浦慎治^{*1}, 佐藤琢^{*1}, 進和美^{*1}, 長崎玲子^{*1}, 石田誠一, 菊池きよ美^{*1}, 柿木基治^{*2}, 金森敏幸^{*1}: 圧力駆動型マルチスルー putt Multiorgan-on-a-chip プラットフォームの開発.

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.23)

^{*1} 産総研

^{*2} エーザイ

古水雄志^{*}, 稲村恒亮^{*}, 石田誠一, 松本陽子^{*}, 松下琢^{*}: ハイブリッドリボソームは肝臓がん幹細胞の増殖を抑制する.

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.23-24)

^{*} 崇城大学

長崎花佳^{*1}, 水民敬浩^{*1}, 古水雄志^{*1}, 岩佐卓哉^{*2}, 佐々木皓平^{*2}, 渡邊理恵^{*2}, 川部雅章^{*2}, 石田誠一, 松下琢^{*1}: 三次元培養担体Cellbedを用いたヒト凍結肝細胞の機能発現および維持培養に関する研究.

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.23-24)

^{*1} 崇城大学

^{*2} 日本バイリン

中村茉莉^{*1}, 水民敬浩^{*1}, 古水雄志^{*1}, 岩佐卓哉^{*2}, 佐々木皓平^{*2}, 渡邊理恵^{*2}, 川部雅章^{*2}, 石田誠一, 松下琢^{*1}: 三次元培養担体Cellbed[®]を用いたHepG2細胞の薬剤耐性現象及び胆汁排泄機能の再現.

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.23-24)

^{*1} 崇城大学

^{*2} 日本バイリン

白木明日香^{*}, 稲村恒亮^{*}, 水民敬浩^{*}, 古水雄志^{*}, 金

秀良, 石田誠一, 松下琢^{*}: 胎児肝細胞及び成人肝細胞のメタボローム解析と化学物質毒性発現の比較解析 (第四報).

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.23-24)

^{*} 崇城大学

石田誠一: Microphysiological System (MPS) の創薬応用と規格化に向けた取り組み-臓器連関の in vitro 解析を目指して-.

日本薬物動態学会第32回年会 (2017.11.29)

石田誠一: in vitro細胞アッセイからMPS (microphysiological systems) への展開.

iCell Users' Meeting 2018 (2018.2.7)

平田尚也^{*1}, 山田茂^{*1}, 中林一彦^{*2}, 秦健一郎^{*2}, 諫田泰成: リボソームプロファイル法による乳癌幹細胞の増殖制御の解析.

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.21)

^{*1} 日本薬理評価機構

^{*2} (国研) 成育医療研究センター

山田茂^{*}, 山崎大樹, 諫田泰成: ミトコンドリアを介した新たな神経分化機構の解析.

第17回日本再生医療学会 (2018.3.21)

^{*} 日本薬理評価機構

古水雄志^{*}, 稲村恒亮^{*}, 我那覇一冨^{*}, 坂田望^{*}, 石田誠一, 松本陽子^{*}, 松下琢^{*}: 肝臓がん幹細胞を標的とするハイブリッドリボソームの増殖抑制効果.

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.21)

^{*} 崇城大学

石田誠一, 堀内新一郎, 金秀良, 黒田幸恵, 諫田泰成: ヒト肝細胞の代替としてのヒトiPS細胞由来肝細胞の機能評価.

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

Irie T, Trussell LO^{*}: Double nanodomain coupling of calcium channels, ryanodine receptors and BK channels controls generation of burst firing.

第95回日本生理学会大会 (2018.3.28)

* Oregon Health and Science University

山崎大樹, 諫田泰成: Development of proarrhythmia risk prediction method using human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes.

第95回日本生理学会大会 (2018.3.30)

竹島秀幸*, 丹羽透*, 豊田武士, 山下聡*, 牛島俊和*: 組織におけるエピゲノム傷害の程度は, 発がん要因への曝露期間により決まる.

第11回日本エピジェネティクス研究会年会 (2017.5.23)

* 国立がん研究センター研究所

木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 梅村隆志, 小川久美子: 食品用途香料であるFurfural propyleneglycol acetalのF344ラットにおける90日間反復投与毒性試験.

日本食品化学学会第23回総会・学術大会 (2017.6.2)

野村幸世*, 豊田武士, 長田梨比人*, 市田晃彦*, 大洋洋*, 石橋祐子*, 愛甲丞*, 菅原寧彦*, 國土典弘*, 瀬戸泰之*: 胃癌, 膀胱癌早期発見バイオマーカーとしての血清TFF 3の起源とその上昇機序の解明.

第26回日本癌病態治療研究会 (2017.6.2)

* 東京大学

高須伸二, 石井雄二, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志: 急性的な増殖刺激により惹起される肝細胞再生過程におけるNrf2の関与.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.11)

石井雄二, 時亮, 高須伸二, 木島綾希, 能美健彦, 小川久美子, 梅村隆志: *gpt* deltaラットを用いたエレミシンの遺伝毒性評価.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.12)

豊田武士, 松下幸平, 森川朋美, 小川久美子: 芳香族アミン投与ラット膀胱粘膜における γ H2AX発現.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.12)

曹永晩, 赤木純一, 水田保子, 豊田武士, 小川久美子: サイズによって異なるナノ銀の急性毒性.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.12)

高須伸二, 石井雄二, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志: Furan及びDEN投与により誘発されるGST-P陽性細胞集

の生物学的差異.

第32回発癌病理研究会 (2017.8.24)

Takasu S, Yokoo Y, Ishii Y, Kijima A, Ogawa K, Umemura T: Molecular pathological differences between nodular regenerative hepatocellular hyperplasias and hepatocellular adenoma induced by long term exposure of piperonyl butoxide to mice.

15th European Congress of Toxicologic Pathology (2017.8.31)

Ishii Y, Shi L, Takasu S, Yokoo Y, Kijima A, Ogawa K, Umemura T: Comprehensive evaluation of general toxicity, genotoxicity and carcinogenicity of elemicin using *gpt* delta rats.

15th European Congress of Toxicologic Pathology (2017.8.31)

小川久美子, 高須伸二: 新規臭素系難燃剤の毒性影響について.

環境科学会2017年会 (2017.9.15)

赤木純一, 横井雅幸^{*1,2}, Young-Man Cho, 豊田武士, 大森治夫^{*1}, 花岡文雄^{*1,3}, 小川久美子: 損傷乗り越え型DNAポリメラーゼ イータ・イオタ・カッパ三重欠損細胞を用いた新規遺伝毒性試験法の研究.

第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2017.9.16)

*¹ 学習院大学

*² 神戸大学

*³ 筑波大学

豊田武士, 三好規之*, 小川久美子: *o*-トルイジンおよび*o*-アニシジンはラット膀胱粘膜に γ H2AX形成を誘導する.

第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.29)

* 静岡県立大学

石井雄二, 高須伸二, 木島綾希, 能美健彦, 小川久美子, 梅村隆志: 肝発がん物質EstragoleのDNA修飾に対するDNA Polymerase ζ の作用.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.6)

小川久美子, 曹永晩, 石井雄二, 豊田武士: 病理からみた遺伝毒性.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

Tajima Y*, Toyoda T, Matsushita K, Hashidume T*, Wakabayashi K*, Miyoshi N* : Analysis of genotoxic activities of urinary bladder carcinogenic aromatic amines.

12th International Conference on Environmental Mutagens (2017.11.15)

* University of Shizuoka

赤木純一, 曹永晩, 豊田武士, 水田保子, 横井雅幸^{*1,2}, 花岡文雄^{*1,3}, 大森治夫^{*1}, 小川久美子 : ベンゾ [a] ピレン混餌投与によるマウス前胃腫瘍発生に対するPol κ の寄与.

2017年度生命科学系学会合同年次大会 (2017.12.7)

^{*1} 学習院大学

^{*2} 神戸大学

^{*3} 筑波大学

豊田武士, 松下幸平, 曹永晩, 赤木純一, 曾根瑞季, 西川秋佳, 小川久美子 : γ -H2 AX免疫染色による膀胱発がんリスク早期検出法の開発.

第34回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2018.1.25)

山田貴宣, 松下幸平, 豊田武士, 森川朋美, 高橋美和, 井上薫, 小川久美子 : ラットを用いたバニリンプロピレングリコールアセタール (バニリンPGA) の90日間亜慢性反復経口投与毒性試験.

第34回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2018.1.25)

赤木純一, 曹永晩, 水田保子, 小川久美子 : イソオイゲンルメチルエーテルのF344ラットにおける90日間反復投与毒性試験.

第34回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2018.1.25)

西村次平*, 野中瑞穂*, 直田みさき*, 角田聡*, 三枝由紀恵*, 堂口裕士*, 小野寺博志*, 笹木修*, 篠田和俊*, 小川久美子, 西川秋佳 : 医療用医薬品のがん原性試験に関する調査-その1-.

第34回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2018.1.25)

* (独) 医薬品医療機器総合機構

時亮, 石井雄二, 高須伸二, 土屋卓磨, 木島綾希, 小川久美子, 西川秋佳, 梅村隆志 : F344ラットにおける

2-Furanmethanethiolの13週間反復経口投与による毒性評価.

第34回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2018.1.25)

曹永晩, 水田保子, 赤木純一, 豊田武士, 小川久美子 : 経皮曝露感作性試験におけるコレラトキシン及びコレラトキシンBサブユニットのアジュバント作用.

第34回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2018.1.26)

松下幸平, 木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 黒田顕, 能美健彦, 小川久美子, 梅村隆志 : F344系*gpt delta*ラットの自然発生病変スペクトラム.

第34回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2018.1.26)

高須伸二, 石井雄二, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志 : 異なる挙動を示すFuran及びDEN誘発GST-P陽性細胞巢の網羅的遺伝子発現解析.

第34回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2018.1.26)

Cho YM, Akagi J, Mizuta Y, Toyoda T, Ogawa K : Adjuvant effects of transcutaneously exposed cholera toxin and its B sub-unit.

57th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2018.3.12)

Toyoda T, Matsushita K, Morikawa T, Yamada T, Miyoshi N*, Ogawa K : γ -H2AX formation induced by the bladder-carcinogenic aromatic amines *o*-toluidine and *o*-anisidine in the urinary bladder of rats.

57th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2018.3.13)

* University of Shizuoka

Ishii Y, Takasu S, Kijima A, Ogawa K, Umemura T : The role of DNA polymerase ζ to benzo[a]pyrene-induced DNA damage in the lungs of mice.

57th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2018.3.15)

Takasu S, Ishii Y, Kijima A, Ogawa K, Umemura T : Comprehensive gene expression analysis for two different types of GST-P positive foci in terms of their kinetics after cessation of carcinogen treatment.

57th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2018.3.15)

赤木純一, 曹永晩, 豊田武士, 水田保子, 横井雅幸^{*1,2}, 大森治夫^{*1}, 花岡文雄^{*1,3}, 小川久美子: ベンゾ[a]ピレン誘発発がんに対するPol κ の寄与の解析.

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

^{*1} 学習院大学

^{*2} 神戸大学

^{*3} 筑波大学

本間正充: IWGT, ICEM

JEMS・MMS研究会 第70回定例会 (2017.5.19)

堀端克良: *Pig-a* 試験

JEMS・MMS研究会 第70回定例会 (2017.5.19)

佐々彰^{*}, 安井学, 本間正充, 浦聖恵^{*}: ヒト細胞DNA中のリボヌクレオチドが引き起こすゲノム不安定性の解析.

第11回日本エピジェネティクス研究会年会 (2017.05.22)

^{*} 千葉大学大学院 理学研究院

増村健一, 豊田尚美, 鵜飼明子, 能美健彦, 本間正充: NGSを用いた遺伝毒性試験の新時代.

NGS現場の会第5回研究会 (2017.5.22)

杉山圭一, 古沢博子, グルーズ ピーター, 本間正充: 酵母凝集反応を指標としたエピ変異原スクリーニング系の開発.

第11回日本エピジェネティクス研究会年会 (2017.5.23)

増村健一: 化学物質の生殖細胞変異原性と次世代影響.

第44回日本毒性学会 (2017.7.10)

大杉直弘^{*1}, 野崎祐次^{*1}, 和田邦生^{*2}, 松元郷六^{*2}, 増村健一, 山田雅巳, 落合敏秋^{*1}, 高木久宜^{*1}: *gpt* delta ラットを用いた*gpt*アッセイおよび*Pig-a*アッセイによるニトロフラントインの*in vivo*変異原性の検討.

第44回日本毒性学会 (2017.7.12)

^{*1} 日本エスエルシー (株)

^{*2} 一般財団法人残留農薬研究所

Sassa A^{*1}, Çağlayan M^{*2}, Rodriguez Y^{*2}, Beard WA^{*2}, Wilson SH^{*2}, Nohmi T, Honma M, Yasui M, Ura K^{*1}: Effect of Sugar Backbone on Translesion Synthesis, Repair, and Mutagenic Potential of 7, 8-Dihydro-8-

oxoguanine,

Environmental Mutagenesis & Genomics Society 48th Annual Meeting (2017.09.11)

^{*1} 千葉大学大学院 理学研究院

^{*2} NIEHS, National Institutes of Health

Takasawa H^{*}, Hamada S^{*}, Taquahashi Y, Horibata K, Nakagawa M^{*}, Honma M: *In vivo* genotoxicity assessment of multi-wall carbon nanotubes using *in vivo* / *in vitro* lung micronucleus assay in mice.

Environmental Mutagenesis & Genomics Society 48th Annual Meeting (2017.9.10)

^{*} LSIメディアエンス (株)

Sugiyama K, Furusawa H, Grúz P, Honma M: Detection of epigenetic mutagens by GFP reporter activity driven by yeast *FLO I* promoter.

Environmental Mutagenesis & Genomics Society 48th Annual Meeting (2017.9.11)

増村健一: 生殖細胞変異原性試験と次世代影響.

第33回生殖・発生毒性学東京セミナー (2017.9.29)

堀端克良, 本間正充: Evaluation of the genotoxicity of Acrylamide by *in vivo* *Pig-a* gene mutation assay.

第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.29)

本間正充: TK6 細胞を用いる *in vitro* 遺伝毒性評価.

JEMS・MMS研究会 第71回定例会 (2017.11.5)

堀端克良: *Pig-a*アッセイ.

JEMS・MMS研究会 第71回定例会 (2017.11.5)

グルーズ ピーター, 清水雅富, 杉山圭一, 古沢博子, 本間正充: 非発がん性変異原物質アジドグリセロールの突然変異誘発機構の解明.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.6)

中村真生^{*1}, 鵜飼明子, 佐々彰^{*2}, 高部道仁^{*1}, 福田隆之^{*1}, 高村岳樹^{*3}, 本間正充, 安井学: TK 6 及び変異株を用いたヌクレオチド除去修復機構におけるゲノム全体修復と転写共役修復を区別する方法の開発.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.6)

^{*1} (株) ボゾリサーチセンター 東京研究所

*² 千葉大学大学院 理学研究院

*³ 神奈川工科大学 応用化学科

佐々彰^{*1}, 安井学, 笹沼博之^{*2}, 武田俊一^{*2}, 菅澤薫^{*3}, 本間正充, 浦聖恵^{*1}: リボスクレオチドが誘発する突然変異の抑制におけるDNA修復機構の役割.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.6)

*¹ 千葉大学大学院 理学研究院

*² 京都大学大学院 医学研究科

*³ 神戸大学バイオシグナル総合研究センター

増村健一: 生殖細胞突然変異と次世代影響.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

杉山圭一: エピジェネティック変異原試験系の開発.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

本間正充: トキシコロジストとジェノトキシコロジスト.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

福田隆之^{*1}, 中村真生^{*1}, 佐藤亮佑^{*1}, 藤原聖^{*1}, 佐々彰^{*2}, 鶴飼明子, 武田俊一^{*3}, 安井学, 本間正充: TK 6 及びそのDNA修復遺伝子破壊変異体を用いた高感度遺伝毒性試験法の開発.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

*¹ (株) ボゾリサーチセンター 東京研究所

*² 千葉大学大学院 理学研究院

*³ 京都大学大学院 医学研究科

堀端克良, 鶴飼明子, 小縣昭夫^{*1}, 中江大^{*1,2}, 安藤弘^{*1}, 久保喜一^{*1}, 長澤明道^{*1}, 湯澤勝廣^{*1}, 本間正充: F344 *gpt* delta ratsを用いた多層カーボンナノチューブ単回気管内投与による *in vivo* 遺伝毒性評価.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

*¹ 東京都健康安全研究センター 環境保健部

*² 東東京農業大学 応用生物科学部

高沢博修*, 志賀野美幸*, 高橋祐次, 田中亜矢子*, 中館記代子*, 堀端克良, 安永勝昭*, 中川宗洋*, 濱田修一*, 本間正充: *In vivo-in vitro* マウス肺小核試験を用いたカーボンナノチューブの*in vivo* 遺伝毒性評価.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

* LSIメディエンス (株)

Yasui M, Sassa A*, Ukai A, Honma M: Trial for establishment of a locus-specific mutation assay system.

12th International Conference and 5th Asian Congress on Environmental Mutagens (ICEM-ACEM 2017), (2017.11.13)

* 千葉大学大学院 理学研究科

Fukuda T^{*1}, Nakamura M^{*1}, Fujiwara S^{*1}, Sasa A^{*2}, Takeda S^{*3}, Yasui M, Honma M: Development of high-sensitive TK gene mutation assay for detection of Ames-positive compounds by using DNA repair deficient TK6 mutant.

12th International Conference and 5th Asian Congress on Environmental Mutagens (ICEM-ACEM 2017), (2017.11.13)

*¹ (株) ボゾリサーチセンター 東京研究所

*² 千葉大学大学院 理学研究院

*³ 京都大学大学院 医学研究科

Honma M: AOP-based evaluation of chemical mutagenicity and development of new endpoints and models.

12th International Conference and 5th Asian Congress on Environmental Mutagens (ICEM-ACEM 2017), (2017.11.14)

Sassa A^{*1}, Yasui M, Sasanuma H^{*2}, Takeda S^{*2}, Sugasawa K^{*3}, Honma M, Ura K^{*1}: Effect of ribonucleotide backbone on mutagenic potential and repair mechanism of 7,8-dihydro-8-oxoguanine,

The 44th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry. (2017.11.14)

*¹ 千葉大学大学院 理学研究院

*² 京都大学大学院 医学研究科

*³ 神戸大学バイオシグナル総合研究センター

Honma M: *In silico* approaches in genetic toxicology: progress and future.

12th International Conference and 5th Asian Congress on Environmental Mutagens (ICEM-ACEM 2017), (2017.11.15)

Masumura K, Ukai A, Toyoda-Hokaiwado N, Nohmi

T, Honma M: Estimation of the frequency of *de novo* germline mutations induced by chemical mutagen by whole exome sequencing.

12th International Conference and 5th Asian Congress on Environmental Mutagens (ICEM-ACEM 2017), (2017.11.15)

Horibata K, Ukai A, Honma M: Mice mutagenicity on the next generation and effect on the differences of both age and sex detected by the *Pig-a* assay.

12th International Conference and 5th Asian Congress on Environmental Mutagens (ICEM-ACEM 2017), (2017.11.15)

佐々彰^{*1}, 安井学, 笹沼博之^{*2}, 武田俊一^{*2}, 菅澤薫^{*3}, 本間正充, 浦聖恵^{*1}: DNA中のリボヌクレオチドが引き起こす突然変異とその抑制機構

2017年度生命科学系学会合同年次大会 (2017.12.06)

^{*1} 千葉大学大学院 理学研究院

^{*2} 京都大学大学院医学研究科

^{*3} 神戸大学バイオシグナル総合研究センター

杉山圭一, 古沢博子, グルーズ ピーター, 本間正充: 出芽酵母の凝集関連遺伝子*FLO1* プロモーターにおけるDNAメチル化の影響.

2017年度生命科学系学会合同年次大会 (2017.12.6)

Honma M: In silico approach in genetic toxicology – progress and future –

17th National Conference of Chinese Environmental Mutagen Society (2017.12.7)

佐々彰^{*1}, 安井学, 笹沼博之^{*2}, 武田俊一^{*2}, 菅澤薫^{*3}, 本間正充, 浦聖恵^{*1}: リボヌクレオチドが引き起こすゲノム不安定性とその抑制機構.

第35回染色体ワークショップ・第16回核ダイナミクス研究会 (2017.12.21)

^{*1} 千葉大学大学院 理学研究院

^{*2} 京都大学大学院医学研究科

^{*3} 神戸大学バイオシグナル総合研究センター

Honma M: Mutator Phenotype and DNA Double Strand Break Repair in BLM Deficient Human Cells
XXXXII Annual Conference of Environmental Mutagen Society of India (EMSI) (2018.1.25)

杉山圭一, 古沢博子, グルーズ ピーター, 本間正充: カビ毒オクラトキシンAが示すエピジェネティック変異原活性の可視化検出.

日本農芸化学会 (2018.3.17)

田邊思帆里, 大原匡史^{*}, 伊藤雅也^{*}, 野田篤^{*}, 小林克己, 松本真理子, 広瀬明彦: N-phenyl-1-naphthylamine ラット28日間反復経口投与時の毒性.

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

^{*} 生物科学安全研

五十嵐智女, 芹澤英樹^{*1}, 小林克己, 鈴木洋, 松本真理子, 磯貴子, 川村智子, 井上薫, 小野敦^{*2}, 山田隆志, 広瀬明彦: ビスフェノールF構造類似体4-ベンジルフェノールの有害性評価.

日本薬学会第138年会 (2018.3.26)

^{*1} ボゾリサーチセンター

^{*2} 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

村上将登^{*}, 赤木隆美^{*}, 小島肇, 明石満^{*}: LbL 3D Skinモデルを用いた皮膚刺激性試験代替法の国際標準化に向けて.

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.21)

^{*} 大阪大学大学院生命機能研究科

田邊思帆里, 青柳一彦^{*1}, 横崎宏^{*2}, 佐々木博己^{*1}: 間葉系幹細胞及び胃がんにおける上皮間葉転換関連遺伝子発現ネットワークパスウェイの組み合わせ

第17回日本再生医療学会総会 (2018.3.21)

^{*1} 国立がん研究センター研究所

^{*2} 神戸大学大学院医学研究科

Hirose A, Kawamura T, Igarashi T, Yamada T, Inoue K, Nishimura T^{*}, Matsumoto M: Expansion of the sub-acute reference doses for non-quality-standard chemicals in drinking water.

57th SOT (2018.3.14)

^{*} Teikyo Heisei University

Yamada T, Hirose A, Yang C^{*1,2}, Rathman J^{*3}: Evaluation of Genotoxicity and Carcinogenicity Profile for the TTC Database Used to Develop

Safety Thresholds of Industrial Chemicals. Society of Toxicology Society, 57th Annual Meeting and ToxExpo (March 2018, San Antonio, USA) .

57th Annual meeting of Society of Toxicology (2018.3.13)

*¹ Molecular Networks GmbH, Nürnberg Germany

*² Altamira LLC, Columbus OH USA

*³ The Ohio State University, Columbus OH USA

Kojima H, Furukawa M*, Itoh K*, Sakakibara T*, Matsuura M*: An approach for assessing mild irritants with the bovine corneal opacity and permeability test method.

57th Annual meeting of Society of Toxicology (2018.3.12)

* Safety Research Institute for Chemical Compounds Co., Ltd

坂本義光^{*1}, 北條幹^{*1}, 鈴木俊也^{*1}, 猪又明子^{*1}, 広瀬明彦, 中江大^{*2}: 多層カーボンナノチューブの経気管反復投与によりラット肺に誘発された増殖性病変の免疫組織学的解析.

第34回日本毒性病理学会学術集会 (2018.1.26)

*¹ 東京都健康安全センター

*² 東京農業大学

El-Gazzar AM^{*1}, Abdelgied M^{*1}, Alexander DB^{*1}, Alexander WT^{*1}, Numano T^{*1}, Iigo M^{*1}, Naiki A^{*1}, Takase H^{*1}, Hirose A, Taquahashi Y, Kannno J^{*2}, Takahashi S^{*1}, Nazem AM^{*1}, Elokke OS^{*1}, Tsuda H^{*1}: Comparative Pulmonary toxicity of DWCNT and MWCNT-7 in Rats.

第34回日本毒性病理学会学術集会 (2018.1.26)

*¹ 名古屋市立大学

*² 日本バイオアッセイ研究センター

Abdelgied M^{*1}, El-Gazzar AM^{*1}, Alexander DB^{*1}, Alexander WT^{*1}, Numano T^{*1}, Iigo M^{*1}, Naiki A^{*1}, Takase H^{*1}, Abdou KA^{*1}, Hirose A, Taquahashi Y, Kannno J^{*2}, Takahashi S, Tsuda H^{*1}: Potassium octatitanate fiber (K₂O · 8TiO₂) fiber is a potent inducer of lung and pleural injury in male Fischer 344 rats: A comparative study of titanium dioxide

nanoparticles

第34回日本毒性病理学会学術集会 (2018.1.26)

*¹ 名古屋市立大学

*² 日本バイオアッセイ研究センター

北條幹^{*1}, 坂本義光^{*1}, 山本行男^{*1}, 村上詩歩^{*1}, 長谷川悠子^{*1}, 前野愛^{*1}, 五十嵐海^{*1}, 湯澤勝廣^{*1}, 生嶋清美^{*1}, 多田幸恵^{*1}, 清水本武^{*1}, 長澤明道^{*1}, 久保喜一^{*1}, 安藤弘^{*1}, 海鋒藤文^{*1}, 田中和良^{*1}, 矢野範男^{*1}, 鈴木俊也^{*1}, 猪又明子^{*1}, 守安貴子^{*1}, 広瀬明彦, 中江大^{*2}: ラットにおける多層カーボンナノチューブおよびクリソタイル誘発中皮腫の病理学的性状の比較.

第34回日本毒性病理学会学術集会 (2018.1.25)

*¹ 東京都健康安全センター

*² 東京農業大学

広瀬明彦: ナノ化学物質のリスク評価の国際動向と慢性試験の必要性.

第34回日本毒性病理学会学術集会 (2018.1.25)

田邊思帆里, 青柳一彦^{*1}, 横崎宏^{*2}, 佐々木博己^{*1}: ひまん型胃がん及び間葉系幹細胞におけるERBBの遺伝子発現及びネットワークパスウェイ解析.

2017年度生命科学系学会合同年次大会 (第40回日本分子生物学会年会・第90回日本生化学大会) (ConBio2017) (2017.12.8)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² 神戸大学大学院医学研究科

小島肇, 黒澤努^{*1}, 鈴木真^{*2}, 武吉正博^{*3}, 諫田泰成, 竹内小苗^{*4}, 佐久間めぐみ^{*5}, 中村牧^{*6}, 寒水孝司^{*7}: 日本動物実験代替法学会 国際交流委員会報告.

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

*¹ 鹿児島大学

*² 沖縄国際大学

*³ (一財) 化学物質評価研究機構

*⁴ P&G

*⁵ (株) コーサー

*⁶ 小林製薬 (株)

*⁷ 東京理科大学工学部

古川正敏*, 榊原隆史*, 伊藤浩太*, 松浦正男*, 小島肇: ウシ摘出角膜を用いる眼刺激性試験 (BCOP試験)

における病理組織学的検査を用いた弱刺激性物質判定の検討。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

* (株) 化合物安全性研究所

謝丹^{*1}, 九十九英恵^{*1}, 山下邦彦^{*2}, 小島肇, 板垣宏^{*1}: タンパク質のアレルギー性を評価試する *in vitro* 試験法の開発, I. 偽陽性評価の原因究明。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

^{*1} 横浜国立大学

^{*2} (株) ダイセル

九十九英恵^{*1}, 謝丹^{*1}, 山下邦彦^{*2}, 小島肇, 板垣宏^{*1}: タンパク質のアレルギー性を評価試する *in vitro* 試験法の開発, II. 試薬中のLPSの影響除外に関する検討。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

^{*1} 横浜国立大学

^{*2} (株) ダイセル

平松範子^{*1}, 山本直樹^{*1}, 加藤義直^{*2}, 佐藤淳^{*2}, 磯谷澄都^{*1}, 今泉和良^{*1}, 谷川篤宏^{*1}, 平野耕治^{*1}, 堀口正之^{*1}, 小島肇: 不死化ヒト角膜上皮細胞株 (iHCE-NY1) を用いて作製した三次元角膜構築モデルの眼刺激性試験代替法に関する研究。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

^{*1} 藤田保健衛生大学

^{*2} 日本メナード化粧品 (株)

小島肇, 森梓^{*1}, 小林真弓^{*1}, 篠田伸介^{*2}, 萩原沙織^{*2}, 山本裕介^{*3}, 笠原利彦^{*3}, 山口典子^{*4}, 佐藤亮佑^{*4}, 福田隆之^{*4}, アミシアレクサンドラワタル^{*5}, 加藤雅一^{*5}, 真下奈々^{*6}, 大森崇^{*1}: LabCyteEPI-Model24皮膚腐食性試験バリデーション研究。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

^{*1} 神戸大学

^{*2} (株) 薬物安全性試験センター

^{*3} 富士フイルム (株) 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター

^{*4} (株) ボゾリサーチセンター

^{*5} (株) ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

^{*6} 同志社大学

木村裕^{*1}, 安野理恵^{*2}, 渡辺美香^{*3}, 小林美和子^{*3}, 岩城友子^{*4}, 藤村千恵^{*1}, 近江谷克裕^{*2}, 山影康次^{*3}, 中島芳浩^{*2}, 小林真弓^{*4}, 大森崇^{*4}, 小島肇, 相場節也^{*1}: Multi-immuno Tox Assay (MITA): データセットの作成およびバリデーション研究の結果。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

^{*1} 東北大学大学院医学研究科

^{*2} 産業技術総合研究所

^{*3} (一財) 食品薬品安全センター 秦野研究所

^{*4} 神戸大学大学院医学研究科

木村裕^{*1}, 渡辺美香^{*2}, 鈴木紀之^{*3}, 岩城友子^{*4}, 山影康次^{*2}, 斎藤幸一^{*3}, 藤村千鶴^{*1}, 近江谷克裕^{*4}, 中島芳浩^{*4}, 大森崇^{*5}, 小島肇, 相場節也^{*1}: DMSOを用いない *in vitro* 感作性試験。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

^{*1} 東北大学大学院医学研究科

^{*2} (一財) 食品薬品安全センター 秦野研究所

^{*3} 住友化学 (株)

^{*4} 産業技術総合研究所

^{*5} 神戸大学大学院医学研究科

成田和人^{*}, 石井悠貴^{*}, 小島肇, 板垣宏^{*}: 皮膚感作性試験h-CLATの偽陰性評価改善に関する検討 (第二報)。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

* 横浜国立大学

洪水麻衣^{*}, 三田地隆史^{*}, 目崎美紀^{*}, 丸山諒^{*}, 小島肇, 板垣宏^{*}: *in vitro* 皮膚感作性試験におけるNLRP3インフラマソームの影響。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

* 横浜国立大学

三田地隆史^{*}, 目崎美紀^{*}, 洪水麻衣^{*}, 丸山諒^{*}, 小島肇, 板垣宏^{*}: *in vitro* 皮膚感作性試験h-CLATにおけるCD86, CD54の発現変動の検討。

日本動物実験代替法学会第30回大会 (2017.11.24)

* 横浜国立大学

Morita T, Shigeta Y, Kawamura T, Fujita Y^{*}, Honda H^{*}, Honma M: Comparison of three QSAR models for prediction of chromosome damage.

12th International Conference on Environmental Mutagenicity (2017.11.15)

* Kao Corporation

Yamada T: Toxicity databases of chemical substances in Japan to improve in silico approaches for regulatory safety assessment. 12th International Conference and 5th Asian Congress on Environmental Mutagens (2017.11.14)

Fujita Y^{*1}, Honda H^{*1}, Matsumura S^{*1}, Morita T, Matsuda T^{*2}, Yamane M^{*1}, Morita O^{*1}: Development of new in silico cytogenicity evaluation tools and integrated testing strategy for carcinogenicity based on genotoxicity data and chemical space.

12th International Conference on Environmental Mutagenicity (2017.11.14)

^{*1} Kao Corporation

^{*2} Kyoto University

Beevers C^{*1}, Morita T, LeBaron M^{*2}, Kirkland D^{*3}: Presentations on approaches to verify bone marrow exposure in the MN test, acceptable levels of exposure and issues relating to route of administration.

8th International Workshop on Genotoxicity Testing (2017.11.9)

^{*1} Exponent Ltd.

^{*2} Dow Chemical Ltd.

^{*3} Kirkland Consulting

森田健, 重田善之, 川村智子, 藤田侑里香*, 本田大士*, 本間正充: 染色体異常誘発性の*in silico*予測. 日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

* 花王

森田健, 濱田修一*: 小核: 発がん性との関りと遺伝毒性試験における展望.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

* LSIメディエンス

大野彰子, 山田隆志, 能美健彦, 福原潔*, 広瀬明彦: *In silico*を用いたニトロアレーンの変異原性評価: ニト

ロ基の還元特性と立体構造.

日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.7)

* 昭和大学薬学部

森田健: 遺伝毒性試験法の最適化と国際標準への貢献. 日本環境変異原学会第46回大会 (2017.11.6)

田邊思帆里, 青柳一彦^{*1}, 山口鉄生^{*2}, 横崎宏^{*3}, 佐々木博己^{*1}: びまん型胃がん及び間葉系幹細胞におけるEFNA1の発現変化及びネットワークパスウェイ解析. 第76回日本癌学会学術総会 (2017.9.29)

^{*1} 国立がん研究センター研究所

^{*2} 徳島大学総合科学部

^{*3} 神戸大学大学院医学研究科

坂本義光^{*1}, 広瀬明彦, 中江大^{*2}: 多層カーボンナノチューブ(MWCNT)の経気管投与ラットに見られた肺胞過形成病変の免疫組織学的性状.

第76回日本癌学会学術総会, 横浜 (2017.9.28)

^{*1} 東京都健康安全センター

^{*2} 東京農業大学

Yamada T, Hirose A, Yang C^{*1,2}, Rathman J^{*3}: Development of a new database of non-cancer toxicity endpoints of industrial chemicals for improving TTC approach.

53_{rd} EUROTOX (2017.9.12)

^{*1} Molecular Networks GmbH, Nürnberg Germany

^{*2} Altamira LLC, Columbus OH USA

^{*3} The Ohio State University, Columbus OH USA

Matsumoto M, Miura M, Kawamura T, Yamada T, Kobayashi N, Suzuki T^{*1}, Nishimura T^{*2}, Hirose A: Derivation of health advisory values for sub-acute exposure of contaminants in drinking water.

53_{rd} EUROTOX (2017.9.11)

^{*1} Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

^{*2} Teikyo Heisei University

Morita T, Toda M, Inoue K: Contribution of mouse carcinogenicity study for safety assessment of pesticide approved in Japan.

The 53rd Congress of the European Society of Toxicology, Eurotox 2017 (2017.9.11)

Yamada T, Hayahshi, M*, Honma, M: Toxicity databases of chemical substances in Japan to improve *in silico* approaches for regulatory safety assessment. 53rd EUROTOX (2017.9.11)

* Makoto International Consulting

Fujita Y^{*1}, Honda H^{*1}, Matsumura S^{*1}, Kawamoto T^{*1}, Morita T, Matsuda T^{*2}, Ito Y^{*1}, Yamane M^{*1}, Morita O^{*1}: Refinement of *in silico* cytogenicity evaluation and development of an integrated testing strategy for carcinogenicity based on data science. The 53rd Congress of the European Society of Toxicology, Eurotox 2017 (2017.9.10)

^{*1} Kao Corporation

^{*2} Kyoto University

Kojima H: The status of cosmetic safety regulation in Japan. 2017 China Cosmetics (Bayun) International Summit Forum (2017.9.2)

広瀬明彦：健康リスク評価におけるベンチマークドース法。
フォーラム2017 衛生薬学・環境トキシコロジー (2017.9.1)

Yamada T, Hirose A, Honma M: Our recent experiences for development of read-across approach for chemical safety assessment. 10th World Congress of Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2017.8.23)

Kojima H, Nishikawa A: JaCVAM update. 10th World Congress on Alternatives and Animals in the Life Sciences (WC10) (2017.8.21)

Sakai Y*, Kojima H: Latest activities and future directions of JSAAE for Asian cooperation toward 3Rs. 10th World Congress on Alternatives and Animals in the Life Sciences (WC10) (2017.8.21)

* Graduate School of Engineering, University of Tokyo

Tennant RE*, Canipa S*, Drewe W*, Cayley A*, Guesne S*, Stalford SA*, Williams RV*, Masumura K, Morita T, Hirose A, Honma M: Extrapolation of *in vitro* mutagenicity alerts to the *in vivo* endpoint in Derek Nexus.

Tenth World Congress on Alternatives and Animal use in the life sciences (2017.8.20)

* Lhasa Limited

Kojima H: Revision of judgment criteria for poisonous and deleterious substances -Utilizing knowledge of effective alternatives to animal testing. NC3R, Toward global elimination of the acute toxicity 'six-pack' (2017.8.20)

Sakai Y*, Kojima H: Latest activities and future directions of JSAAE for 3R. 14th Annual Meeting of Korean Society of Alternatives to Animal Experiments (KSAAE) (2017.8.11)

* Graduate School of Engineering, University of Tokyo

Tanabe S, Kawabata T^{*1}, Aoyagi K^{*2}, Yokozaki H^{*3}, Sasaki H^{*2}: Gene expression and pathway analysis of CTNBN1 in cancer and stem cells. Gordon Research Conference, Wnt Signaling: A Pathway Implicated in Animal Development, Stem Cell Control and Cancer (2017.8.9-10)

^{*1} Institute for Protein Research, Osaka University

^{*2} National Cancer Center Research Institute

^{*3} Kobe University Graduate School of Medicine

田邊思帆里, 青柳一彦^{*1}, 川端猛^{*2}, 山口鉄生^{*3}, 横崎宏^{*4}, 佐々木博己^{*1}: 間葉系幹細胞及びがん細胞における上皮間葉転換及びがん幹細胞関連分子に関するシグナルパスウェイ解析。
第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.12)

^{*1} 国立がん研究センター研究所

^{*2} 大阪大学蛋白質研究所

^{*3} 徳島大学総合科学部

^{*4} 神戸大学大学院医学研究科

広瀬明彦：発がん性の定量的リスク評価における閾値判定の意義。

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.12)

森田健, 重田善之: 中毒事故起因物質のLC50値とAEGL値の比較.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.11)

津田洋幸^{*1}, 徐結荷^{*1}, Alexander WT^{*1}, Alexander DB^{*1}, Abdelgied MAM^{*1}, El-Gazzar AMM^{*1}, 沼野琢旬^{*1}, 酒々井眞澄^{*1}, 二口充^{*1}, 深町勝巳^{*1}, 広瀬明彦, 菅野純^{*2}: 気管内噴霧投与方法による各種のMWCNTの毒性と発がん性試験結果の比較.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

^{*1} 名古屋市立大学

^{*2} 日本バイオアッセイ研究センター

鈴木俊也^{*1}, 小杉有希^{*1}, 渡邊喜美代^{*1}, 保三継^{*1}, 西村哲治^{*2}, 広瀬明彦: 都市河川水中のヒト用医薬品の実測濃度と予測濃度.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

^{*1} 東京都健康安全センター

^{*2} 帝京平成大学

Abdelgied M^{*1}, El-Gazzar A^{*1}, Alexander D^{*1}, Alexander W^{*1}, Numano T^{*1}, Takahashi S^{*1}, Takase H^{*1}, Hirose A, Taquahashi Y, Kanno J^{*2}, Tsuda H: Potassium octatitanate (K₂O · 8TiO₂) fiber is a potent inducer of lung and pleural injury – A comparative study to titanium dioxide nanoparticles.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

^{*1} 名古屋市立大学

^{*2} 日本バイオアッセイ研究センター

古川正敏^{*}, 伊藤浩太^{*}, 榊原隆史^{*}, 越田美^{*}, 奥村宗平^{*}, 立野沙香^{*}, 河村公太郎^{*}, 松浦正男^{*}, 小島肇: ウシ摘出角膜を用いる眼刺激性試験 (BCOP試験) におけるPAS染色の有用性.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.11)

^{*} (株) 化合物安全性研究所

Kojima H: AOPs are development by Japan in the OECD process.

2017 The 3rd International Conference on Toxicity Testing Alternative & Translational Toxicology

(2017.7.10)

藤田侑里香^{*1}, 本田大士^{*1}, 松村奨士^{*1}, 川本泰輔^{*1}, 森田健, 松田知成^{*2}, 伊藤勇一^{*1}, 山根雅之^{*1}, 森田修^{*1}: データサイエンスに基づいた染色体異常誘発性の高精度予測と発がん性予測への展開.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

^{*1} 花王

^{*2} 京都大学

松本真理子, 古川正敏^{*}, 小林克己, 川村智子, 五十嵐智女, 磯貴子, 山田隆志, 広瀬明彦: 殺虫剤共力剤として用いられるN-(2-エチルヘキシル)-1-イソプロピル-4-メチルピシクロ[2.2.2]オクタ-5-エン-2,3-ジカルボキシミドのラットにおける28日間反復経口投与毒性試験.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

^{*} (株) 化合物安全性研究所

山田隆志: 全身毒性の予測へ向けた毒性データベースー透明性・データの共有・国際動向ー.

第44回日本毒性学会学術年会 (2017.7.10)

小島肇: 試験法開発におけるGood Cell Culture Practice (GCCP) の重要性.

日本組織培養学会第90回大会 (2017.7.1)

平松範子^{*1}, 加藤義直^{*2}, 佐藤淳^{*2}, 谷川篤宏^{*1}, 平野耕治^{*1}, 堀口正之^{*1}, 小島肇, 山本直樹^{*1}: 不死化ヒト角膜上皮細胞株 (iHCE-NY1) を用いて作製した三次元角膜再構築モデルの眼刺激性試験代替法に関する研究.

日本組織培養学会第90回大会 (2017.7.1)

^{*1} 藤田保健衛生大学

^{*2} 日本メナード化粧品 (株)

森田健, 重田善之: 急性曝露ガイドラインレベル (AEGL) を活用した化学物質中毒事故の削減.

第39回日本中毒学会総会・学術集会 (2017.6.30)

Hirose A: Quality risk assessment and management for the application of the single-use systems.

6th FIP Pharmaceutical Sciences World Congress (2017.5.22)

Hirose A, Kurimoto M, Shiraishi H^{*1}, Yamamoto H^{*1}, Tatarazako N^{*1}, Nishimura T^{*2}, Yamada T: Applicability of the in silico ecotoxicity prediction tool for pharmaceuticals in environment.

Society of Environmental Toxicology and Chemistry (2017.5.8)

^{*1} National Institute for Environmental Studies

^{*2} Teikyo Heisei University

Yamada T, Kurimoto M, Shiraishi H^{*1}, Yamamoto H^{*1}, Tatarazako N^{*1}, Nishimura T^{*2}, Hirose A:

Development of threshold of ecotoxicological concerns (eco-TTC) for assessing the environmental safety of industrial chemicals and pharmaceuticals.

Society of Environmental Toxicology and Chemistry (2017.5.8)

^{*1} National Institute for Environmental Studies

^{*2} Teikyo Heisei University

Kojima H: The application of in vitro skin absorption test in the safety assessment of cosmetic and medical.

7th Conference of Alternative Methods (2017.4.12)